

平成 24 年度 木津川上流管内河川レンジャー懇談会

次 第

日時：平成 24 年 6 月 11 日(月) 15:00～

場所：近畿地方整備局木津川上流河川事務所 3F 会議室

★タイトルをクリックすると、会議資料にジャンプします。

●議事要旨

●会員名簿

1. 平成 23 年度運営報告について
2. 平成 24 年度河川レンジャー年間活動計画について
3. 平成 24 年度実施スケジュールについて
4. 運営要領(案)および審査要領(案)の改正について
5. 平成 24 年度募集要領について
6. その他

平成 24 年度 木津川上流管内河川レンジャー懇談会 議 事 要 旨

(開催要領)

開催日時：平成 24 年 6 月 11 日(月) 15:00～

開催場所：国土交通省木津川上流河川事務所 3F 会議室

(議事次第)

1. 平成 23 年度運営報告について
2. 平成 24 年度河川レンジャー年間活動計画について
3. 平成 24 年度実施スケジュールについて
4. 運営要領(案)および審査要領(案)の改正について
5. 平成 24 年度募集要領について
6. その他

(会議状況)

<p>全体状況</p> 	<p>荒賀副所長挨拶</p> 	<p>木本会長進行</p> 
<p>河川レンジャー説明①</p> 	<p>河川レンジャー説明②</p> 	<p>河川レンジャー説明③</p> 
<p>会議状況①</p> 	<p>会議状況②</p> 	<p>会議状況③</p> 

(議事内容)

1. 開会

事務局より配布資料の確認ならびに出席会員の紹介後、近畿地方整備局木津川上流河川事務所長代理、荒賀副所長より懇談会開催に際しての挨拶が行われた。

2. 平成 23 年度運営報告について

本会長の議事進行のもと、資料-1に基づき、事務局より平成23年度の運営報告が行われ、その後、廣岡・溝延・西田河川レンジャーより平成23年度に実施された13件の河川レンジャー活動および年間活動計画外の活動1件の報告が行われた。補足として事務局より、平成23年度河川レンジャー活動のアンケート分析結果や参加者よりの感想・意見の報告を行った。

本議題に関しての会員の主な意見は以下のとおりとし、今後の河川レンジャーの運営に反映させていくこととした。

○H23-④「名張川ホタル再生に向けて(ホタル鑑賞会)」について、失敗したというのは、どのような事だったのか？

→ 親ホタルを採取し、産卵まではうまくいったが、非常に小さく、9月頃まで水を換え、12月まで様子を見たが大きくなっていなかった。専門家に見てもらったところ、水質に問題があったのか、成長していなかった。

餌として与えるカワニナの大きさや飼育にも気をつけないといけない。何人かで飼育をしていたがうまくいかなかった。今年はもう一度挑戦したい。

○『アンケート集計結果』の調査項目”活動をどこで知ったか”について、「事務局からの案内」と「レンジャーからの案内」については口コミなのか、「チラシで知った」という項目もあるが、どのような方法の違いがあるのか。

→ 「事務局からの案内」については、過年度参加者に事務局よりチラシを送付している。また「レンジャーからの案内」というのは、主催レンジャーがチラシおよび口コミで案内している。

○H23-③「河川内竹林観察」について、名張川は竹林が堤防の役割を果たしているというものもあるが、ある程度、バンブーバスターという形で計画的に伐採して、景観をよくして、整備されたところを見せていく必要があると思っている。

個人活動ではなく、バンブーバスターに参加して川の様子を見比べて、川の様子を知ってもらうのも重要である。個人活動を通して調査していくのも重要であると思うが、個人で活動を実施していた大きな理由はあるか。

→ 参加者を集めるため、タケノコが生える時期に活動を実施したが、計画や広報の時期が合わなかったので個人活動とした。

○写真は全てバンブバスターを実施した時のものか、溝延レンジャーが撮った写真もあるのか。個人活動でなく参加者を集めた大勢で行った場合は危険があるか。

→ バンブーバスターではなく、自分が撮った写真である。竹林の中は危険な箇所もあるので、改修で作業道を確保してもらえるとありがたい。

○教育プログラムへの取り込みについて、H23-⑨「新居小学校における、遊水地・樋門見学と防災学習」について実施されているが、実施された学校の参加した小学生ではなく、教育者サイドはどのように評価されているのか、また、平成24年度への継続はできなかったのか？

→ 参加してもらった子供たちにはアンケート等で感想をもらっている。学校よりも、非常に子どもたちが楽しそうで良かったという、いい評価をいただいている。継続については、3月の段階では担任の先生の異動があるので確約してもらえなかったが、今年に入って、先生方の異動が決まってから再度確認したら、今年も実施したいという返事してもらったので、計画に入れて実施していきたい。

○H23-⑧「洪水を防ぐ&川の水を調べてみよう」について、特定の小学校に打診されて、スケジュールがいっぱいで昨年度は調整できなかったという事だが、今年はどうか。

→ 昨年度は、学年担任の先生が積極的でなかった。担任が変わっていただければいいが、去年と同じ道を踏むのもどうかと思い、今年は学校を変えてPRに行こうと計画している。学校へ直接案内ではなく、保護者へまず説明に行き、保護会などから学校に声をかけてもらうよう計画している。

3. 平成24年度河川レンジャー年間活動計画について

木本会長の議事進行のもと、はじめに事務局より平成24年度河川レンジャー年間活動計画の概要説明を行い、続いて廣岡・溝延・西田河川レンジャーより、個々の活動について計画の説明が行われた。(資料-2)

本議題に関しての会員の主な意見は以下のとおり。

○子どもたちが参加できる活動は非常にいい事だと思う。今年も小学校を対象とした活動を計画していただいているという事だが、定着させてもらいたい。

H24-⑪「久米川(木津川)クリーンウォーキング」についても、小さい頃から子どもたちがそのような事を体験すれば継続するのではないかと思う。子供会活動など、学校外の特別活動などにも組み込む事ができたら大いに発展すると思う。

○H24-⑫⑬の活動について、マップの作成等を計画されているが、自分たちで観察しながら見つけた花などを記入できる地図をつくる事をすると印象に残る。記憶に残る物をつくっていかれるのがいいと思う。

○H24-⑤⑥の活動について、子どもたちに、ひざまで、太ももまでなど水深の違いを体験してもらい、ここまで浸かったら歩行が困難などを学習する、または、上流の川に行く際は、礫の浄化効果、コロニーが下水処理のひとつの原理となっている事などを、学習に取り込めないか？

→ 水深の違いによる体感については、1km くらい川の中を歩く中で、瀬や淵、深いところ、浅いところなど、川にはいろいろな違いがあることを体験してもらえるように計画している。礫の浄化効果については、レンジャー自身も勉強しながら、活動の中に取り込んでいきたい。

○H24-⑧⑨「水防技術講習会」に非常に期待している。

○H24-⑭「学校教育プログラムへの組み込み」について、教育の内容が合っているかなどを教育委員会に相談されるといいのではないかと。イベントの内容に教育的要素がある場合は、教育委員会の後援などをいただくことも可能ではないかと。

→ 教育委員会の方にも相談させていただき、学校を対象とした活動を継続実施できるように検討していきたい。

○レンジャーの説明より、活動名に興味をもってもらえるようなタイトルにするのもひとつの方法であると思う。広報についても、HP や市の広報誌等に掲載、チラシも配布していただいているが、一人でも多くの方に知ってもらい、多くの方に参加いただける事が大切と思うので、関連の催しで、次回の活動の開催PRをする事もひとつの案として提案する。

→ 広報誌掲載に関しても、あまり長い活動名はわかりにくいので、興味をひくわかりやすい活動名をつけるようにしている。活動を実施した後に、アンケートご協力をお願いと次回の活動案内も紹介などを行っている。多くの参加者に集まってもらえるよう広報等を検討していきたい。

○個人活動を実施されている時は、看板を立てるなど、調査をしているということをPRしているか、どのような方法で実施しているのか。

→ 河川レンジャーのロゴ入りの帽子とブルゾンを用意いただき着用して調査している。のぼりもたてて調査している。

○H24-⑤「川下り・カヌー体験」は川を知る、川に直接ふれるにはいい活動と思うが、今はこのような活動は危険と思われなかなか出来ない。教育委員会や保護者への説明や安全管理など大変と思うが、子どもたちがこのような体験をせずに大人になるのは非常に残念と思う。子どもが参加するのはいいことだという意見も出ているので、是非実現してほしい。H24-④「遊んで学ぼう！水のはたらき」について、ダムの啓蒙の活動をしていただければ非常にありがたい。協力出来ることがあれば協力させていただきたい。

H24-②「ホテル再生に向けて」について、ホテルを飼育する機材があるが非常に難しいと思う。6月21日・22日に比奈知ダム親水公園のところで、毎年、自然再生するのはめずらしいが、ホテルの鑑賞会を実施している。名張市内・町の中で自然再生のホテルが飛び交うということは、自然環境や河川環境が良くなったという象徴であると思うので、ぜひ活動を成功させていただきたい。

4. 平成24年度実施スケジュールについて

木本会長の議事進行のもと、事務局より平成24年度実施スケジュールの説明が行われ、原案のとおり承認された。(資料-3)

本議題に関しての会員の意見は以下のとおり。

○事務所の都合、事務局の都合、レンジャーの都合といろいろが重なりあい、スケジュールを決めるのは非常に難しいと思う。

○年度早々にレンジャー活動を実施するとなると、3月のレンジャー会議で年間活動計画が決定されれば、4月以降に実施いただける。事務的な問題として、国交省から委託する等の手続きがあり、契約が遅れると4月から活動ができないという事があるが、年度当初より活動していただけるよう、契約等を早くできるように進めていく。

5. 運営要領(案)および審査要領(案)の改正について

木本会長の議事進行のもと、事務局より昨年度の推薦委員会からの提案に基づく議事結果や、河川レンジャー再任希望者の審議の追加などに基づく運営要領(案)の改正ならびに審査要領(案)の改正についての説明が行われ、原案のとおり承認された。(資料-4・5)

○運営要領(案)および審査要領(案)とも、改正日を平成24年6月11日とする。

6. 平成24年度募集要領について

木本会長の議事進行のもと、事務局より募集要領の説明が行われ、原案のとおり承認された。(資料-6)

本議題に関しての会員の意見は以下のとおり。

○応募資格として「木津川上流発見講座の受講を終了」という項目があるが、募集要領には講座の内容の記載はないのか。

→ 別途、「河川レンジャー募集」の内容で広報チラシを配布予定としており、講座の内容を掲載するよう検討している。

○前年度はたくさんの方から応募いただき、今年度も多くの河川レンジャー応募者が集まる事を期待している。

7. その他

木津川・名張川でクリーン作戦を実施いただいております、河川レンジャーも参加させていただいているが、レンジャー活動として報告できるにはもう少し時間がかかると思う。レンジャー活動もそのような地域での活動と連携して、きれいな川になるよう進めて行きたいと思っている。昨年度レンジャー会議の時、行政が開催する活動についての情報をいただいたが、連携した活動を行っていききたいので、引き続き、情報提供やご協力をお願いをしたい。

8. 閉会

事務局より閉会の挨拶が行われ、「平成24年度 木津川上流管内河川レンジャー懇談会」を閉会した。

[次第に戻る](#)

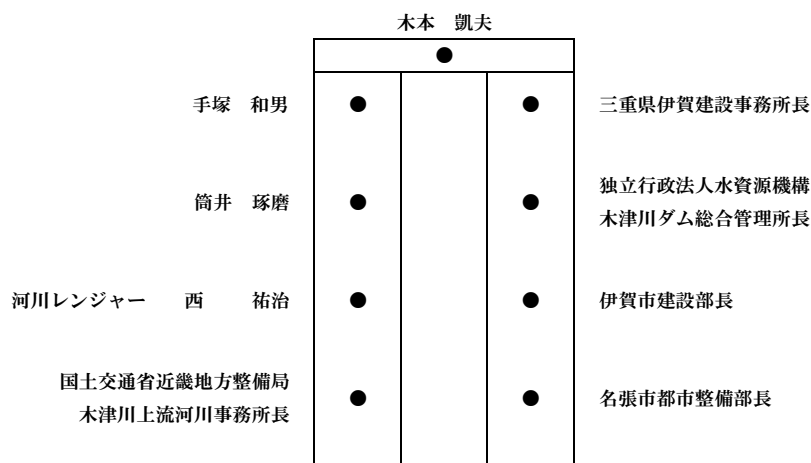
平成24年度 木津川上流管内河川レンジャー懇談会 会員名簿

日時：平成24年 6月11日(月) 15:00～

場所：近畿地方整備局木津川上流河川事務所 3F会議室

	分類	氏名	所属等	備考
懇談会会員	学識経験者 及び見識者	木本 凱夫	元三重大学大学院生物資源学共生環境学	
		手塚 和男	三重大学教育学部教育学科教授	
		筒井 琢磨	皇學館大学社会福祉学部教授	
	河川レンジャー	西 祐治	レンジャー会議座長	
	自治体	館 敏彦	三重県伊賀建設事務所長	
		柴田 和昭	独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所長	
		澤井 成之	伊賀市建設部長	
		前田 芳久	名張市都市整備部長	
	国土交通省	寺井 喜之	国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所長	

【配席表】



事務局

オブザーバー

[次ページに戻る](#)

平成23年度木津川上流管内河川レンジャー運営報告について

[次第に戻る](#)

平成 23 年度 木津川上流管内河川レンジャー運営報告

1. 平成 23 年度木津川上流管内河川レンジャー運営内容

1) 平成 23 年度木津川上流管内河川レンジャーの運営状況

平成 23 年度の木津川上流管内河川レンジャーの運営状況は次表のとおりです。

河川レンジャー活動は、平成 22 年度第 3 回レンジャー会議(平成 23 年 3 月 24 日開催)での年間活動計画の決定を受け、4 名の河川レンジャーによる全 10 件の活動が実施されました。

また、平成 23 年 6 月には年間活動計画以外の活動として、名張市旧細川邸やなせ宿で開催された「やなせ祭り」での河川レンジャーの PR 活動(やなせ祭り)が実施されました。

各種会議や講座などの開催状況は、懇談会、レンジャー会議、推薦委員会、発見講座、養成講座(講習会)がそれぞれ 1 回ずつ開催されました。

(表 - 平成 23 年度木津川上流管内河川レンジャーの運営状況)

年月日	運営内容
平成 23 年 6 月 4 日	☆名張市旧細川邸やなせ宿での PR 活動の実施
平成 23 年 6 月 ^{※1}	★「河川内竹林観察」の実施 (※1: 全 3 回実施)
平成 23 年 6 月 18 日	★「名張川ホタル再生に向けて(ホタル鑑賞会)」の実施
平成 23 年 7 月～ ^{※2}	★「水質調査」の実施 (※2: 平成 24 年 2 月までの間に全 8 回実施)
平成 23 年 7 月 31 日	★「名張川ウォーキング・バードウォッチング & ビオトープ生物確認」の実施
平成 23 年 8 月～ ^{※3}	★「名張川護岸遊歩道の植生環境調査と除草作業の軽減化試行」の実施 (※3: 平成 23 年 9 月までの間に全 2 回実施)
平成 23 年 8 月 22 日	「平成 23 年度 木津川上流管内河川レンジャー(試行)懇談会」の開催
平成 23 年 9 月 30 日	★「新居小学校における、遊水地・樋門見学と防災学習」の実施
平成 23 年 10 月 22 日	★「岩倉峽散策と歴史文化学習」の実施
平成 23 年 11 月 24 日 ^{※4}	河川レンジャーの募集開始(※4: 募集期間は平成 24 年 1 月 10 日まで)
平成 23 年 12 月 4 日	★「上野遊水地見学と食文化学習」の実施
平成 24 年 1 月 14 日	「木津川上流発見講座」の開催
平成 24 年 2 月 20 日	「平成 23 年度 木津川上流管内河川レンジャー推薦委員会」の開催
平成 24 年 2 月 25 日 ^{※5}	★「河川レンジャー活動写真展と川遊び学習会」 (※5: 活動写真展は平成 24 年 2 月 10 日～3 月 7 日まで実施)
平成 24 年 3 月 3 日	★「久米川(木津川)クリーンウォーキング」の実施
平成 24 年 3 月 11 日	「河川レンジャー養成講座」「簡易水質調査と応急手当講習会」の開催
平成 24 年 3 月 14 日	「平成 23 年度 木津川上流管内河川レンジャー会議の開催」の開催

★: 年間活動計画に基づく河川レンジャー活動 ☆: 年間活動計画外の河川レンジャー活動

2. 運営内容詳細

2-1. 各種会議の開催状況

平成 23 年度に開催した懇談会などの各種会議の開催状況は以下のとおりです。

1) 平成 23 年度 木津川上流管内河川レンジャー(試行)懇談会

(1) 開催日時: 平成 23 年 8 月 22 日(月) 15:00～17:00

- (2)開催場所：名張産業振興センターASPIA（1F アスピアⅡ）
- (3)議事内容：1.平成23年度河川レンジャー年間活動計画について
2.運営要領(案)の改正について
3.審査要領(案)の改正について
4.平成23年度実施スケジュールについて
5.平成23年度募集要領について
6.関係機関と河川レンジャーとの連携方策について
7.その他
- (4)決定事項：・運営要領(案)および審査要領(案)の改正については、河川レンジャー応募者ならびに再任希望者の選考規定の改正(平成22年度第2回懇談会申し送り事項)や、河川レンジャーの応募要件の緩和などに関する事務局提案が原案のとおり承認されました。
・平成23年度の募集要領ならびに実施スケジュールについては、上記の運営要領(案)および審査要領(案)の改正内容を反映させた事務局提案が原案のとおり承認されました。
・関係機関と河川レンジャーとの連携方策については、連携方策に関する事務局提案に、河川レンジャーと行政機関実務担当者による担当者会議(仮称)の設置や、大学・研究所等との連携などを盛り込むことが決定しました。
- (5)その他：木津川上流管内河川レンジャーの運営に関して「試行」を外すことが決定しました。

2) 平成23年度 木津川上流管内河川レンジャー推薦委員会

- (1)開催日時：平成24年2月20日(月) 16:00~20:00
- (2)開催場所：近畿地方整備局木津川上流河川事務所 3F 会議室
- (3)議事内容：1.審査要領(案)について
2.河川レンジャー応募者並びに再任希望者によるプレゼンテーション
3.審査
4.河川レンジャー予定者の決定
5.その他
- (4)決定事項：・河川レンジャー応募者4名によるプレゼンテーション、再任希望者4名による活動報告などが行われ、再任希望者4名、河川レンジャー応募者1名が河川レンジャー予定者として決定されました。
- (5)その他：再任希望者の採択規定に関する審査要領(案)の改正を行うことが、懇談会への申し送り事項として決定しました。

3) 平成23年度 木津川上流管内河川レンジャー会議

- (1)開催日時：平成24年3月14日(水) 18:30~20:30
- (2)開催場所：上野遊水地集中管理センター 2F 会議室
- (3)議事内容：1.平成23年度河川レンジャー活動報告
2.平成24年度河川レンジャー年間活動計画の決定
3.今後のスケジュール
4.その他
- (4)決定事項：・平成24年度の河川レンジャー年間活動計画が承認されました。
また、平成24年度は地域連携の活性化を図っていくため学校教育プログラムでの活動実施や行政機関が主催する行事や催しに積極的に参加していくが決定しました。
・今後のスケジュールについては、平成25年度の河川レンジャー年間活動計画作成に十分な期間が確保できるよう、事務局にて実施工程の見直しを行うことが決定しました。

2-2. 講座の開催状況

平成23年度に開催した講座ならびに講習会の開催状況は以下のとおりです。

1) 木津川上流発見講座

- (1)開催日時：平成 24 年 1 月 14 日(土) 10:00～15:30
 (2)開催場所：上野遊水地集中管理センター 2F 会議室
 (3)参加者：15 名
 (4)カリキュラム：次表のとおり

(表 - 発見講座カリキュラム)

講義内容	講義時間	講師
①木津川上流の歴史・文化	10:10～10:55	門田 了三 (名張市教育委員会生涯学習室室長)
②木津川上流の自然環境	11:05～11:50	木津川上流管内河川レンジャー事務局
③木津川上流域の水環境	13:00～13:45	木本 凱夫 (元三重大学大学院生物資源学共生環境学)
④河川の防災入門	13:55～14:40	木本 凱夫 (元三重大学大学院生物資源学共生環境学)
⑤木津川上流の防災対策	14:50～15:20	大下 正和 (近畿地方整備局木津川上流河川事務所副所長)

2) 河川レンジャー養成講座・簡易水質調査と応急手当講習会

- (1)開催日時：平成 24 年 3 月 11 日(日) 13:00～17:30
 (2)開催場所：上野遊水地集中管理センター 2F 会議室
 (3)参加者：17 名(内、河川レンジャー予定者(再任含む)5 名)
 (4)カリキュラム：次表のとおり

(表 - 養成講座・簡易水質調査と応急手当講習会カリキュラム)

講義内容	講義時間	講師
①簡易水質調査講習 「川の水を調べてみよう!!」	13:00～14:00	木津川上流管内河川レンジャー事務局
②応急手当講習 「応急手当を身につけよう!!」	14:00～15:30	伊賀市消防本部中消防署
③河川管理について	15:45～16:25	井村 誠之 (元国土交通省近畿地方整備局河川部水政課長)
④平成 24 年度年間活動計画作り	16:30～17:30	木津川上流管内河川レンジャー事務局

①②は「簡易水質調査と応急手当講習会」

平成23年度 木津川上流管内河川レンジャー活動報告 総括表

上段:計画 下段:実施

No	活動名	実施河川レンジャー	実施日	備考
H23-①	名張川護岸遊歩道の植生環境調査と除草作業の軽減化試行	溝延 【個人活動】	平成23年5月・10月 4日間予定 13:00～16:00 (計12時間)	・4月～5月の間に事前調査を7回実施
	変更なし	変更なし	①平成23年8月26日(金) 13:00～16:00 (3時間) ②平成23年9月28日(水) 13:00～16:00 (3時間)	
H23-②	水質調査	西田 【個人活動】	平成23年5月～平成24年2月 毎月1回実施予定 9:00～12:00 (計30時間)	・5月に事前調査を実施
	変更なし	変更なし	平成23年7月～平成24年2月 毎月1回(計8回) 13:00～18:00 (作業各3時間)	
H23-③	(仮称) 河川内竹林観察会及び筍採集	溝延	平成23年5月下旬 10:00～15:00 (5時間)	・個人活動に変更して実施 ・5月に事前調査を3回実施
	河川内竹林観察	溝延 【個人活動】	①平成23年6月1日(水) 9:00～9:30 (0.5時間) ②平成23年6月4日(土) 9:00～9:30 (0.5時間) ③平成23年6月9日(木) 9:00～9:30 (0.5時間)	
H23-④	(仮称) 名張川ホタル再生に向けて	廣岡	平成23年6月11日(土) 13:30～16:30 (3時間)	・名張地区まちづくり推進協議会・まちなか交流部会との連携活動 ・当日雨天のため、活動内容を縮小して実施
	名張川ホタル再生に向けて (ホタル鑑賞会)	変更なし	平成23年6月18日(土) 19:00～20:00 (1時間)	
H23-⑤	(仮称) 名張川ウォーキング・バードウォッチング &ヒトツブ 生物確認	溝延	平成23年7月・10月 2日間予定 13:00～16:00 (計6時間)	・10月30日に予定していた第2回活動は、当日雨天のため中止
	名張川ウォーキング・バードウォッチング &ヒトツブ 生物確認	変更なし	平成23年7月31日(日) 13:00～15:30 (2.5時間)	
H23-⑥	(仮称) 川下り・カヌー体験	西・廣岡 【合同活動】	平成23年7月24日(日) 10:00～15:00 (5時間)	・台風の影響による水位上昇のため、活動を中止
	川下り・カヌー体験 ★活動中止	変更なし	-	

平成23年度 木津川上流管内河川レンジャー活動報告 総括表

上段:計画 下段:実施

No	活動名	実施河川レンジャー	実施日	備考
H23-⑦	(仮称) 洪水対策学習	溝延	平成23年8月中旬 13:00~16:00 (3時間)	・参加申込者なしのため、 活動を中止 (参加対象者変更)
	洪水対策学習会 ★活動中止	変更なし	-	
H23-⑧	(仮称) 川の洪水を防ぐ& 川の水を調べてみよう	西田	平成23年7月16日(土) 13:00~17:00 (4時間)	・伊賀市立久米小学校と の調整(6月~10月)を行 っていたがスケジュールがあ わず中止
	川の洪水を防ぐ& 川の水を調べてみよう ★活動中止	変更なし	-	
H23-⑨	(仮称) 水生生物調査in木津川	西	平成23年8月13日(土) 13:00~16:00 (3時間)	・伊賀市立新居小学校5年生 の教育プログラム(環境学習) での実施
	新居小学校における、 遊水地・樋門見学と防災学習	変更なし	平成23年9月30日(金) 8:45~11:45 (3時間)	
H23-⑩	(仮称) 岩倉峡散策と歴史文化学習	西	平成23年10月22日(土) 9:30~12:30 (3時間)	
	岩倉峡散策と歴史文化学習	変更なし	平成23年10月22日(土) 9:15~12:15 (3時間)	
H23-⑪	(仮称) 上野遊水地見学と食文化学習	西	平成23年12月4日(日) 10:00~16:00 (6時間)	
	(仮称) 木津川『いい川づくり』意見交換会	西・廣岡・溝延・西田 【合同活動】	平成23年12月中旬 13:00~16:00 (3時間)	
	上野遊水地見学と食文化学習	西	平成23年12月4日(日) 10:00~15:00 (5時間)	

平成23年度 木津川上流管内河川レンジャー活動報告 総括表

上段:計画 下段:実施

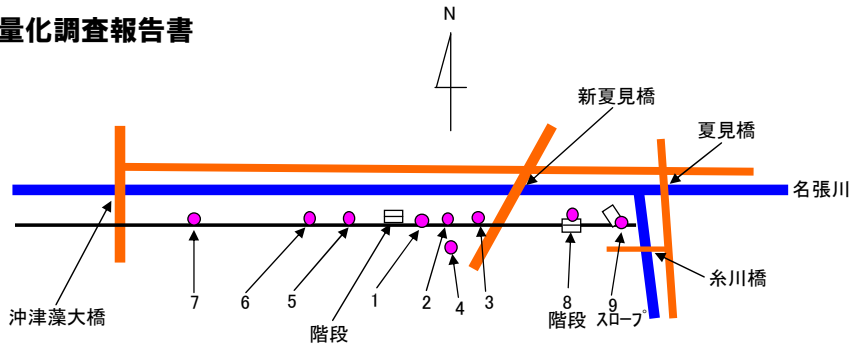
No	活動名	実施河川レンジャー	実施日	備考
H23-⑫	(仮称) 名張川ホタル再生に向けて	廣岡	平成23年9月18日(日) 9:30~12:30 (3時間)	・ 活動内容を一部変更して 実施
	(仮称) 大人の川遊び(指導者研修)	廣岡	平成23年7月9日(土) 9:00~12:00 (3時間)	
	河川レンジャー活動写真展と 川遊び学習会	変更なし	(川遊び学習会) 平成24年2月25日(土) 13:00~16:00 (写真展示会) 平成24年2月10日(金) ~平成24年3月7日(水)	
H23-⑬	(仮称) 木津川クリーン作戦	西・廣岡・溝延・西田 【合同活動】	平成23年6月19日(日) 9:00~11:00 ※準備~片付け 7:00~16:00 (8時間)	
	(仮称) 久米川クリーンウォーキング	西田	平成23年11月初旬 10:00~12:00 (2時間)	
	久米川(木津川)クリーンウォーキング	西田	平成24年3月3日(土) 9:00~12:00 (3時間)	
H23-外	やなせ祭り (やなせ宿主催・河川レンジャー協力 活動)	西・廣岡・溝延	平成23年6月4日(土) 9:00~17:00 (8時間)	

活動No	H23-①	実施河川レンジャー	溝延河川レンジャー
活動名	名張川護岸遊歩道の植生環境調査と除草作業の軽減化試行 (個人活動)		
実施日	平成23年8月26日(金) 13:00～16:00 平成23年9月28日(水) 13:00～16:00		
実施場所	名張川河川敷 (糸川橋～沖津藻大橋)		
活動目的	名張川の護岸遊歩道のコンクリート接合部にヨシが繁茂しており、ヨシが捕捉した土壌の根元に菫、スギナ、タンポポ等の植物を植え付けヨシが大量に繁茂しないようにできないか調査・テストするとともに、クズの早期除草を行い、除草作業の軽減化が図れないか調査・テストする。		
参加者	個人活動のため、参加者なし。		
活動内容	<p>①護岸継目のヨシ生育防止減量テスト (8月26日)</p> <p>コンクリート護岸の継目にヨシが繁茂し、遊歩道の歩行障害となっているので、背丈の低い植物に置き換えて、草刈作業の省力化ができないかテストするとともに、遊歩道で身近な植物で花壇化し、川に親しみやすい環境とした。</p> <hr/> <p>②護岸の葛生育の減量化テスト (9月28日)</p> <p>護岸上部に葛が繁茂し、遊歩道まで覆う状態になっている部分があったが、葛のツルを根元より除去することにより、葛の生育減量化できないかテストし、除草作業の軽減化に繋げるとともに、川に親しみやすい環境とした。</p> <hr/> <p>③河川内遊歩道の環境改善</p> <p>上記①、②のテストにより、河川内の遊歩道の歩行環境の改善を行った。</p>		
講師	なし		
感想考察	<p>①今回の調査は、ヨシの繁茂している状況を観察し、ヨシが生えにくい状況(雨水による水分の補給を減少させることにより、ヨシの生育を防止でき、刈り取り作業の省略化の可能性)を調査するものである。また、葛については、根元の除去により、繁茂量の削減を図ることができないか調査。</p> <p>②調査として、護岸接合部の繁茂しているヨシを一旦根元より除去した後、中間部に石積み枠をつくり、その中に川の土を満たし、そこに背丈の低い植物を植え付けて、接合部の後半部に前半部の水分が補給されないようにした。</p> <p>③②の対策を実施することにより、ヨシの生育の削減を図れた箇所があったが、8月の大雨時の川の水流量により、護岸の対策実施部が水没し、対策した石積み・植生が流されてしまったので、効果の確認が十分に行なえなかった。花壇化では、彼岸華の着生がうまくいった箇所があった。葛については、根元の除去を実施した場合でも、繁茂力が強く(ランナーが四方に伸びて根が大量に発生するので、削減は大変困難である。)</p> <p>④上記作業で、遊歩道の環境をよくするために、護岸接合部中間部に小さな花壇をつくり、接合部下部に水分の補給がされないように工夫することにより、ヨシの生育が削減されるものと判断される。葛については、引き続き根っこの除去で生育の削減可能性を探る必要があると考える。(報告書参照)</p>		

河岸植生減量化調査報告書

2011.10.7
作成: 河川レンジャー 溝延克彦

① 調査箇所



② 地点別経過状況

地点	処置前状況(5月)	処置後状況(5月)	8月26日時点	9月28日時点(台風により遊歩道水没)
1	 ヨシが繁茂している	 ヨシを除去し、堰・花壇設置	 花壇の生育状況	 台風の増水で花壇が喪失
2	 雑草が繁茂	 雑草を除去し、堰・花壇設置	 花壇の生育状況	 台風の増水で花壇が喪失
3	 雑草が繁茂	 雑草を除去し、堰・花壇設置	 花壇の生育状況	 台風の増水にも拘わらず花壇維持
4	 調査地の葛繁茂状況 一部 葛除草	 調査地の葛つるを除草した	 除草したにも拘わらず 再繁茂	 一段と葛が繁茂 除草効果?
5	 ヨシの繁茂状況	 ヨシを除草	 除草した効果がでている	 除草した効果がでている
6	 ヨシの繁茂状況	 ヨシを除草	 除草した効果がでている	 除草した効果がでている

7



雑草が繁茂



雑草を除去



除草した効果がでている



除草した効果がでている

8



堤防上の植生状況



葛のツルを撤去(一部)



葛が繁茂している



繁茂している葛を除草

ランナー調査のため刈り取り処置実施

9



スロープの葛の生育状況



葛を土とともに撤去



土砂の撤去により、雑草が少量生育 除草の効果あり



土砂の撤去により、雑草が少量生育 除草の効果あり

③ 【 考察 】

1. 護岸接合部に水分が補給されることにより、ヨシの着生が容易化する。
2. ヨシの着生により、土砂が堆積し、更なるヨシの繁殖が進む。
3. 上記条件が維持されると、ヨシが繁茂する状態が継続するので、刈り取り作業が必要となる。
4. ヨシ、葛はランナーが縦横に展開し、繁殖力が旺盛である。

ヨシランナー



葛ランナー



【 対策 】

1. 護岸接合部に水分の補給量が削減されるよう接合部中間部に堰をつくり、雨水の堤上の流れ方を改善する。
上記、3地点の処置が良い例(タンポポ、スマレ、ヒガンバナの植生により、遊歩道に潤いがもたらされる。)
2. ヨシが着生した場合、根より抜き取る・・・9地点の事例参照。
3. 葛は縦横に展開して繁茂するので、冬季に雨後地面の軟らかい時根より抜き取り易いが、作業量大である。
ランナーの茎中間部より新たな根が張り着生するので、こまめに根を除去することが必要。

活動No	H23-②	実施河川レンジャー	西田河川レンジャー
活動名	水質調査 (個人活動)		
実施日	平成23年 7月14日(木) 13:00～18:00 (内 3.0H) 平成23年 8月16日(火) 13:00～18:00 (内 3.0H) 平成23年 9月16日(金) 13:00～18:00 (内 3.0H) 平成23年10月18日(火) 13:00～18:00 (内 3.0H) 平成23年11月15日(火) 13:00～18:00 (内 3.0H) 平成23年12月15日(木) 13:00～18:00 (内 3.0H) 平成24年 1月13日(金) 13:00～18:00 (内 3.0H) 平成24年 2月15日(水) 13:00～18:00 (内 3.0H)		
実施場所	久米川および往古川 7地点		
活動目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年を通して測定地点の家庭排水の水質がどのように変化するか、また指定外の汚水、油類などが排水されていないかを監視すると同時に川の水質がどれだけ汚染されているかの傾向を数値により判断する。 ・ 測定結果について発生元地域自治会に注意喚起や啓発、地方情報誌に「川の健康状態」等の記事を掲載依頼し、住民に汚染状態を訴える。 		
参加者	個人活動のため、参加者なし。		
活動内容	観察水採取 13:00～14:10 自宅出発～友生～芝床橋の順序で7ヶ所の採取地点より測定水採取 <hr/> パックテスト 16:00～17:30 7ヶ所の測定水を所定の温度に保った後、PH測定開始 7ヶ所の測定水を希釈して一定の室内温度に保ち、COD測定開始 <hr/> 結果取りまとめ・測定用具片付け 17:30～18:00 測定結果記録、測定用具水洗、後片付け		
講師	なし		

◆活動全般について

※水質検査結果の詳細については、別紙参照

- ・測定値のデータの誤差が大きくなったのは予定外。
- ・一年を通しての同じ地点の河川の顔が見えた。河川状態(汚れ・生態系)の変動を感じ取る事ができた。
- ・往古川水系は主に下水道の流入で家庭排水の実態が観察できた。(オイル・洗剤・染料類)

◆活動目的の達成状況について

※個人活動のため、参加者意見なし。

- ・支給されたCODパックテストが低濃度品と混在しており、希釈して測定したため測定数値に大きな誤差が出たが、測定ポイントの水質の汚染度合いは年間を通じて同じ傾向を示している。
- ・河川の水の状態が観察月により大きく変動していくのが観察できた。
- ・次回からは精度の高い測定器械により信頼のおける測定値にしたい。(買取り又はリース)

※今回の取り組みの反省について

- ・今回は、初めての取り組みでもあり、不慣れなことで測定結果のバラツキが発生などの要素が大きく、予定していた関係団体等には資料提供はせず、レンジャーの基礎データとて今後の観測の参考にすることとした。
- ・久米川、往古川の7地点の観測を実施していることを伊賀市環境政策課の水質検査担当者に連絡しており、新年度の早い時期(4月)に面会して水質測定に関する情報提供と水質調査結果の今後の活用方法について協議する。
- ・これをふまえ、ケーブルテレビ・自治会・地元紙などに「川の健康状態」として発信していきたい。

◆活動運営状況について

※個人活動のため、協力スタッフなし。

- ・測定機器メーカーからの情報やアドバイスをいただき精度の高い測定値に近づける技術指導を受け、全国の同じ活動しているメンバー同士の情報交換やデータの交換を行うネットワークの紹介も得られた。

活動状況

採取状況



採取状況



保管容器



採取用具



簡易測定器



簡易測定器



7月14日

1	木興池ベリ	水質:乳白色、綿のような浮遊物有り、水流は早く感じる
2	J A 木興	水質:灰色、綿のような浮遊物とヘドロ、泡有り、水流はゆったり、下水が臭う
3	小田団地	水質:透明、川底には長い藻が多く見られ、水流に藻がゆったり流れている 上流は周囲に悪臭漂っている。
4	久保河原橋	水質:透明、河川幅細く、水流はやや早く感じる、
5	白鳳高G横	緑ヶ丘の下水と合流、川底黒く濁り見えず、本流は透明度高い。下水臭う
6	天神橋上	水質:少し黄色味、川底確認出来る、鯉・ナマズ・亀の大型生物確認
7	芝床橋上	水質:透明度高い、水流早い、ウグイのような小さな群れが見られる

8月16日

1	木興池ベリ	水質:乳白色、綿のような浮遊物多く刺激臭有り、水流少なく濁り感あり
2	J A 木興	7月14日よりも濁り濃く水量減少、ヘドロ浮遊物量多く悪臭漂う
3	小田団地	水質の透明度低下、水量減少、藻が黒緑に変色しヘドロ付着
4	久保河原橋	水量減少、前回より少し透明度低下
5	白鳳高G横	前回と水量は大きく変化なし、茶色大型がま蛙生息
6	天神橋上	水量減少、少し透明度低下濁りあり、川底確認できる、小型魚確認できず
7	芝床橋上	水流低下、川底汚れ透明度低下、ウグイのような魚確認、浮遊物混在

9月16日

全体に水量多く、流れ早く感じる（台風12号の影響？）

1	木興池ベリ	水質:綿のような浮遊物多い、水流早く乳白色の濁り少ない
2	J A 木興	先月よりも濁り薄く水量増加、ヘドロ浮遊物量少なく悪臭漂う
3	小田団地	水質の透明度やや回復、水量多く、藻が深緑に変色
4	久保河原橋	水量多く、前回より少し透明度改善する
5	白鳳高G横	周囲に刺激臭あり、排出口付近の透明度少し改善
6	天神橋上	水量多く少し透明度よくなる、川底確認できるが水、薄黄色味で魚種確認できず
7	芝床橋上	水流早く、川底汚れ改善されウグイのような小魚確認

10月18日

13日からの降雨増水のため河川は比較的綺麗

1	木興池ベリ	水質:綿のような浮遊物あり、水量多く乳白色の濁り少ない
2	J A 木興	先月よりも濁り薄く水量増加、ヘドロ浮遊物量少なく悪臭漂う
3	小田団地	水質の透明度やや回復、水量多く、藻が深緑に変色
4	久保河原橋	水量多く、前回より少し透明度改善する
5	白鳳高G横	周囲に刺激臭あり、排出口付近の透明度少し改善
6	天神橋上	水量多く少し透明度よくなる、川底確認でき小魚の群れ確認
7	芝床橋上	水流早く、川底汚れ改善されウグイのような小魚確認

11月15日

今月は降雨量少ない

1	木興池ベリ	乳白色から一変して赤紫色となり綿状の浮遊物あり、水量少なく水流早い
2	J A 木興	水量少なく濁りなく、油膜が確認された。ヘドロ浮遊物量少なく悪臭しない
3	小田団地	水量少なく水質の透明度やや良、藻が少し深緑色で流れ穏やか
4	久保河原橋	前回より少し透明度改善するが水少し黄色みが増している、魚確認できず
5	白鳳高G横	強風のため刺激臭感じない、排出口付近の透明度少し改善
6	天神橋上	水量少く透明度よくなる、川底綺麗で小魚の存在確認出来る
7	芝床橋上	水量少なく少し水が黄色みを帯びている、小魚の群れ確認出来ず

12月15日

一ヶ月間降雨無し

1	木興池ベリ	先月の赤紫水の原料と思われる固まり沈殿。水量少なく浮遊物ナシ。
2	J A 木興	水量少なく濁りなく、ヘドロ浮遊物も量少なく悪臭しない、川床真っ黒。
3	小田団地	水量少なく水質の透明度やや良、藻が少し深緑色で流れ穏やか
4	久保河原橋	前回より水量減少、透明改善黄色みが減少している、魚確認できず
5	白鳳高G横	近づくと刺激臭感じる、排出口付近の透明度少し改善
6	天神橋上	水量少く透明度悪化、河床見えにくい小魚の存在確認出来ず
7	芝床橋上	水量少なく少し水が濁った感じ、陶器類の放棄あり小魚の群れ確認出来ず

1月13日 本年に入り降雨1日

1	木興池ベリ	水質:乳白色、綿のような浮遊物多く有り、水量は減少している
2	J A木興	水質:グレー色、水量減少綿のような浮遊物とヘドロ堆積露出
3	小田団地	水質:黄色みを帯びている、川底一面乳白色ヘドロ付着、藻は確認できず
4	久保河原橋	水量減少、前回より少し透明度低下、水黄色み
5	白鳳高G横	前回と水量は大きく変化なし、水質も変わらず、刺激臭減少
6	天神橋上	水量減少、少し透明度低下濁りあり、川底確認でき汚れ目立つ、
7	芝床橋上	水量低下により川底汚堆積が露出してきた

2月15日 今日まで降雨無し

1	木興池ベリ	水質:紺色気味、綿のような浮遊物少ない、水量は少な目
2	J A木興	水質:グレー色、水量少ない、綿のような浮遊物とヘドロ堆積
3	小田団地	水質:ブルーグレー気味、水量少なく川底確認できる
4	久保河原橋	水量減少、前回より少し透明度改善、水流早い
5	白鳳高G横	前回と水量は大きく変化なし、水質グレーで濁り気味、刺激臭無し
6	天神橋上	水量減少、少し透明度改善、川底確認できヘドロ汚れ目立つ
7	芝床橋上	水量低下により川底汚堆積が露出してきた、水流は早く感じる

パックテスト測定数値

項目	測定日		7月 14日		8月 16日		9月 16日		10月 18日		11月 15日		12月 15日		1月 13日		2月 13日	
	気温	水温	30℃	晴れ	32℃	<曇り	28℃	<曇り	23℃	晴れ	16℃	晴れ	12℃	晴れ	8℃	晴れ	7℃	<曇り
No	採取地・採取時間	pH	COD	pH	COD	pH	COD	pH	COD	pH	COD	pH	COD	pH	COD	pH	COD	
1	木興池ベリ (13:50)	7.5	20	7.5	20	7.5	20	7.0	20	6.5	20	7.0	20	7.0	20	7.0	20	
2	J A 木興 (13:55)	7.5	20	7.5	50	7.5	13	7.5	30	7.0	30	7.0	20	7.0	20	7.0	20	
3	小田団地 (14:05)	7.5	13	7.5	13	7.5	20	7.0	20	7.0	20	7.0	20	7.0	13	7.0	13	
4	久保川原橋 (13:10)	8.0	10	7.0	10	7.5	13	7.5	13	7.0	10	7.0	10	7.0	10	7.0	10	
5	白鳳高G横 (13:25)	7.5	20	7.5	20	8.0	20	8.0	30	7.5	30	7.0	20	7.5	20	7.0	20	
6	天神橋上 (13:35)	8.0	10	7.5	10	8.0	13	8.0	13	7.5	13	7.0	10	7.5	13	7.0	13	
7	芝床橋上 (13:45)	8.0	13	7.5	10	7.5	13	7.5	13	7.0	13	7.0	10	7.0	13	7.0	10	

採取出発時間
誤差10分以内

低濃度器に変更


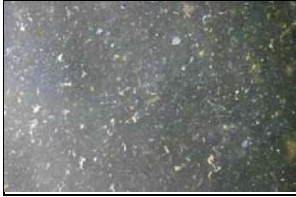






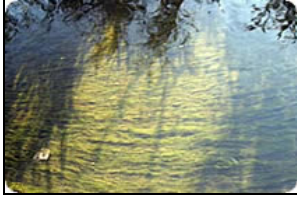









使用測定器 WAK-pH WAK-COD
測定は室内にて7ヶ所一斉に実施



久米川河川環境写真

	久保川原橋 ①	伊賀白鳳G横 ②	天神橋 ③	芝床橋 ④
六月十五日撮影				
八月十六日撮影				
十一月十五日撮影				
十二月十五日撮影				
一月十三日撮影				
二月十三日撮影				

往古川河川環境写真

	木興池ペリ ⑤	JA木興入口 ⑥	小田団地 ⑦
六月十五日撮影			
八月十六日撮影			
十一月十五日撮影			
十二月十五日撮影			
一月十三日撮影			
二月十三日撮影			

活動No	H23-③	実施河川レンジャー	溝延河川レンジャー
活動名	河川内竹林観察 (個人活動)		
実施日	平成23年6月1日(水) 9:00～9:30 平成23年6月4日(土) 9:00～9:30 平成23年6月9日(木) 9:00～9:30 ※個人活動に変更して実施		
実施場所	名張川河川敷 (大屋戸地区他)		
活動目的	バンブーバスターの実施されている竹林で、竹の生育を調査し、竹林管理の問題点を考察する。		
参加者	個人活動のため、参加者なし。		
活動内容	<p>①観察区域での竹の子発芽確認</p> <p>バンブーバスターを実施した竹林で新たな竹の発芽数を確認し、間引きすべき本数の確認を行った。</p> <hr/> <p>②バスター実施跡の竹林推移観察</p> <p>バンブーバスターを実施した跡地がどういう状況になっていくか確認を行った。</p> <hr/> <p>③調査結果とりまとめ</p> <p>観察区域での竹の子発芽調査及びバンブーバスター跡地での竹再発生状況の調査を行い、竹再発生状況の調査のとりまとめを行った。</p>		
講師	なし		
感想考察	<p>河川河畔の竹林が管理不在状況にあり、景観・防犯・堤防保護の観点より問題が生じており、最近バンブーバスター事業で竹林の伐採がなされているが、対症療法的な措置で、永続的で安定的な竹林管理を行なうことができないか、竹林の竹の子発生の状況について観察を行いました。</p> <p>調査区間は竹の伐採されている場所と竹の生育している場所の2ヶ所で調査を行いました。1区間2m四方4㎡の面積内に何本の竹の子が発芽するか観測しました。</p> <p>結果的に、3本と5本の竹の子の発芽があり、1㎡あたり1本の竹の子が発芽したことが判明しました。竹の子の生長は6年で成長がとまり、それ以後は老化するとのことで、健全な竹の生育を持続するには、適当な竹の間引きをおこなわなければなりません。石油製品万能の時代で、一昔前の竹材利用が激減し、その余波が河畔の竹林環境に影響を与えています。また、河畔での民有地と国有地の区画が漠然としている地域もあり、管理責任者の不明確な状況が環境の悪化に一層拍車をかけていると思います。</p> <p>竹の子採集の機会を一般市民に与え、伐採材の処分作業の削減に取り組むことにより、省エネルギーでの竹林管理ができるのではないかと考えます。</p>		

活動状況

事前調査：観測区域①状況 (5月13日)



・竹の子発生なし

事前調査：観測区域②状況 (5月13日)



・竹の子発生なし

事前調査：観測区域①状況 (5月21日)



・竹の子発生なし

事前調査：観測区域②状況 (5月21日)



・竹の子発生なし

事前調査：観測区域①状況 (5月26日)



・竹の子発生なし

事前調査：観測区域②状況 (5月26日)



・竹の子発生なし

活動状況

バンブーバスター跡地状況 (6月1日)



- ・観測区域周辺に、竹の子の発生を確認

観測区域①状況 (6月1日)



- ・観測区域①には、竹の子の発生なし

観測区域②状況 (6月1日)



- ・観測区域②には、竹の子の発生なし

バンブーバスター跡地状況 (6月4日)



- ・バスター後の跡地に、竹の子の群生を確認

活動状況

観測区域①状況 (6月4日)



観測区域①に、竹の子1個発生

観測区域②状況 (6月4日)



観測区域②には、竹の子の発生なし

バンブーバスター跡地状況 (6月9日)



・バスター後の竹林群生部が成長

観測区域①状況 (6月9日)



・観測区域①に、竹の子3個発生

観測区域②状況 (6月9日)



・観測区域②に、竹の子5個発生

活動状況

バンブーバスター跡地状況 (6月9日) ※事後調査



・バスター後の竹林が再繁茂

調査区域図



活動No	H23-④	実施河川レンジャー	廣岡河川レンジャー
活動名	名張川ホタル再生に向けて「ホタル鑑賞会」 (名張地区まちづくり推進協議会・まちなか交流部会との連携活動)		
実施日	平成23年6月18日(土) 19:00～20:00 ※当日雨天のため、活動内容を縮小して実施		
実施場所	名張市旧細川邸やなせ宿		
活動目的	名張川・町なかホタルの再生に向け、平成22年度に引き続いて名張市まちづくり推進協議会・まちなか交流部会との連携による活動として、現在の状況（ホタル飛翔等）の観測、今後の課題及び進行中のカワニナ・ホタルの飼育状況を説明することにより、今後の活動への理解協力を求める。		
参加者	37名（大人27名、小学生・幼児10名）		
活動内容	<p>①ホタルの生態・ホタル飼育状況の説明 19:00～19:30</p> <p>やなせ宿にて、まちづくり推進協議会の竹中氏より、ホタルの生態説明、カワニナの飼育状況、昨年までのホタル再生にむけての取り組み状況の説明を行った。</p> <hr/> <p>②ホタルの鑑賞会 19:30～20:00</p> <p>当日雨天のため、活動内容を変更し、やなせ宿内において事前に捕獲しておいたホタルの観察と生態の説明等を行った。(名張川河川敷でのホタル観察会は中止)</p>		
講師	なし（まちづくり推進協議会 竹中氏他協力）		
感想 考察	<p>◆活動全般について</p> <p>ホタル鑑賞会当日は、あいにくの雨で当初参加予定は48名であったが実際に来ていただいた人数は37名とスタッフ15名でした。</p> <p>朝から雨が降ったりやんだりして気をもみながら準備に入りました。</p> <p>電話での問い合わせもあり、説明会だけでもと実施を決定した結果、たくさんの子供に参加いただき、自然体験や観察会には親も子供を参加させたいという気持ちを感じとれました。</p> <p>親ポタルの採取、えさとなるカワニナの飼育に質問もいただきながら説明をし、今後の活動に対する理解と協力をお願いできました。</p> <p>アドバンスコープからも、今回の活動に先立ち実施した勉強会や親ほたる採取・観察会等のホタル再生に向けての活動や、川づくりに熱心なまちづくり推進協議会の役員（竹中氏）の密着取材を行っていただき、活動が放映された結果、名張市民に対しアピールできていると思われます。</p> <p>今後の産卵状況を慎重に観察し、成長の中間報告が出来る様協力していきたいと思っております。</p>		

感想
考察

◆活動目的の達成状況について(参加者意見等より)

現在進行中のカワニナ・ホタルの飼育状況や、名張川のホタル再生に向けた取り組み内容を説明し、今後の活動への理解協力を求めることができましたと思います。

意見交換や感想を頂くなかで、昔の川の様子やホタルの飛翔の様子を聞くことができ、ホタルが飛び交う将来の川の姿をみんなで想像し共有できたことから、今後の活動への参加や人工飼育を共同で行っていくなど、地域全体の取り組みに発展していく1歩となったように思います。

◆活動運営状況について(要員間の連絡体制や安全管理体制の評価)

名張地区まちづくり推進協議会・まちなか交流部会との連携活動ということもあり、協議会や交流部会の方々に中心に動いていただき、スタッフ間の連絡調整や降雨による内容変更の判断等、円滑に実施できたと思います。

参加者
意見

実際に近くで見たことも触ったこともなかったので良かった。

オス・メスの区別が解って楽しかった。

来年は一緒に飼育してみたい。

※内容変更によりアンケートを実施できなかったため参加者から聞き取り

活動状況

ホタルの生態・ホタル飼育状況の説明



ホタルの生態・ホタル飼育状況の説明



ホタルの生態・ホタル飼育状況の説明



ホタル鑑賞



活動状況

ホタル鑑賞



ホタル鑑賞



ホタル鑑賞



左大:メス 右小:オス
オスは第6腹節と第7腹節が発光するが、メスは第6腹節だけが発光する。

ホタル鑑賞



飼育箱



カワニナ飼育状況



カワニナ飼育状況



繁殖期は春と秋で、雌は卵ではなく微小な仔貝を300-400匹ほど産み落とす。

アドバンスコープ取材



活動No	H23-⑤	実施河川レンジャー	溝延河川レンジャー
活動名	名張川ウォーキング・バードウォッチング&ビオトープ生物確認		
実施日	平成23年7月31日(日) 13:00～15:30		
実施場所	名張川河川敷 (糸川橋～沖津藻大橋)		
活動目的	名張川の川沿いを散策し、身近な川での自然体験を行なうとともに、平成22年度の活動で設置したビオトープを観察、水生生物や植物の調査を行い、川への一層の関心をもってもらう。		
参加者	5名 (大人5名)		
活動内容	<p>①名張川ウォーキング・バードウォッチング 13:00～14:00 平尾山カルチャーパークに集合し、カルチャーパークから新夏見橋、糸川橋、沖津藻大橋の区間約2kmを徒歩で移動し、名張川の様子や河川に生息している鳥類の観察を行った。</p> <hr/> <p>②ビオトープ観察 14:00～15:00 昨年度名張川の河川敷内に設置したビオトープで、棲息している魚介類や水生昆虫の観察、生物指標による水質の確認を行った。</p> <hr/> <p>③まとめ・アンケートの記入 15:00～15:30 生物確認で見つけた魚や水生生物の種類と個数等を確認し、調査票にまとめた。 また、今後の活動への参考となるよう、アンケート調査を行った。</p>		
講師	なし		
感想考察	<p>◆活動全般について 今回は、安全対策を十分に行なうとの見地より、実施可否の判断をビオトープの水位(通常時より0.15m上昇時)により決定することとしており、数日前のゲリラ降雨により、河川の水位が増した状況であったが、開催日は中止条件をクリアしていたので当初予定通り実施しました。 事前参加申込のあった小学生2名が前日確認で不参加となり、大人だけのイベントとなりました。 夏休みに入る直前のチラシ作成となったのと、市への広報誌掲載依頼のタイミングが悪く(1ヶ月前に持ち込み要)広報誌への掲載が不可となり、名張小学校区放課後児童クラブへの配布も不可でした。名張市広報誌には、8月のイベントが目白押しで、8月開催は、気候条件よりも避けた方がよいのではと思います。また、小学生の参加を改善する工夫が今後、必要と思います。 ビオトープは2月作成時の状況がほぼ維持されており、今後も多少手入れを加え、水辺に親しみやすいイベント実施場所として継続利用を希望します。 ビオトープ内の水生生物の種類は少なかったですが、カワニナが多数生息していることが確認されました。 身近な見慣れた場所でのイベントでありましたが、参加者の中には、川べりを歩いたことも無く新鮮な体験ができたとの感想もあり、今後、川べりを散策し、憩いを得る環境の整備が必要と感じられました。当日の天候は、30度程度のうす曇りの状況で熱中症になる人もなく無事に終了しました。</p>		

感想
考察

◆活動目的の達成状況について(参加者意見等より)

川に親しみをもってもらい、河川環境を守ることに前向きな考えを持っていただいたと思います。

◆活動運営状況について(要員間の連絡体制や安全管理体制の評価)

イベント実施可否の判断基準として、ビオトープの水位が通常時より15cm上回った場合に設定したのは適切であったと思います。安全管理の強化では、連絡体制、緊急搬送車の現場付近への配置を行った。また、熱中対策として、冷たい飲み物、休憩用の椅子を事前に木陰に配置し適切な安全管理が行えたと思います。

参加者
意見

回答者数 : 6 名

○活動は楽しかったか?

すごく楽しかった(2) 楽しかった(4)

○活動時間はどうだったか?

ちょうど良かった(6)

○活動に参加して「川」に興味や関心を持ったか?

はい(6)

○川についてもっと知りたいと思ったか?

すごく知りたいと思った(3) 知りたいと思った(3)

○今までに「川」に関する活動や学習会に参加したことがあるか?

はい(4) いいえ(2)

○今までに「河川レンジャー」の活動に参加した事があるか?

はい(4) いいえ(2)

○活動に参加しての感想や意見

- ・いつも通っている所ですがよく見ると色々楽しくいがいにびっくりすることが多かった。
- ・子供に帰ることが出来て楽しく過ごさせて頂きました。
- ・時間帯をかんがえると、もう少し早くてもよい。

○今後、参加してみたい活動や勉強会は?

ウォーキング 野鳥観察会 水生生物調査 自然学習 防災学習

○「川」について感じていることや思っていることは?

・ゴミが多い。背の高い草木が多い。 ・川のせせらぎ、滝。 ・きれい

○これから、どんな「川」になったらいいと思うか?

・安全で楽しく談話できる場所作り。 ・きれいな川。 ・泳げる川

○きれいな「川」にするためにみんなができることは?

・生活のごみや水を汚さない事。 ・川に汚い水を流さない。 ・ごみ拾い。

○多くの方に活動に参加してもらうために、どのような広報を希望するか?

- ・市民が寄ってくるイベントで配布する。
- ・友人に話す。
- ・名張広報誌にのせる事。

活動状況

注意事項等の説明



名張川ウォーキング・バードウォッチング



名張川ウォーキング・バードウォッチング

名張川ウォーキング・バードウォッチング



名張川ウォーキング・バードウォッチング

名張川ウォーキング・バードウォッチング



名張川ウォーキング・バードウォッチング

名張川ウォーキング・バードウォッチング



活動状況

ビオトープ生物観察



ビオトープ生物観察



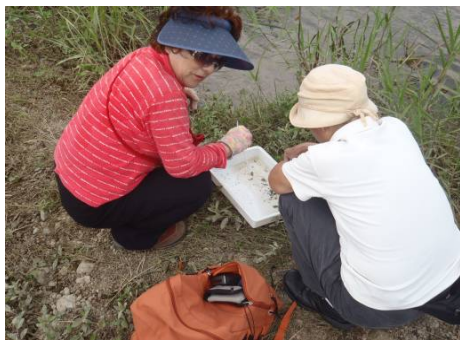
ビオトープ生物観察



ビオトープ生物観察



ビオトープ生物観察



ビオトープ生物観察



ビオトープ生物観察(カワニナ)



まとめ・アンケート





参加者募集

名張川ウォーキング・バードウォッチング &ピオトープ生物確認

平成23年
7月31日(日)
10月30日(日)
参加無料

～みんなで歩いて名張川の再発見とピオトープの生物観察をしませんか～

日時	平成23年7月31日(日) 13:00～16:00 平成23年10月30日(日) 13:00～16:00
場所	名張川河川敷(新夏見橋付近)
定員	20名(先着順)
参加費	無料
対象者	小学生以上 ※小学校低学年以下の方は、保護者もしくは引率者の同伴が必要です。



活動内容 (予定)	名張川の川沿いを散策し、2月にみんなで作ったピオトープにすむ水生生物や植物の観察を通して、名張川を再発見しましょう!!	
	12:45～	受付開始(下地図をご覧ください)
	13:00～13:15	開会の挨拶
	13:15～13:30	集合場所より名張川の河岸に移動します
	13:30～14:30	河岸でのバードウォッチングとウォーキング
	14:30～15:30	ピオトープでの生物観察
	15:30～15:40	アンケート
	15:40～16:00	集合地に移動して閉会の挨拶
	16:00～	解散

持ち物	<ul style="list-style-type: none"> 動きやすい服装で起こし下さい。 バードウォッチング用双眼鏡 ※双眼鏡の無い方は事務局準備分利用可 ピオトープ観察で川中に入りたい人は運動靴、タオルを準備下さい。
-----	--

その他	川の水位が高くなっている場合や当日雨天の場合は活動を中止します。(活動前日17:00または当日9:00に決定します)
-----	--

申込方法	TEL: 溝延河川レンジャー 090-2184-9666 FAX: 参加申込書より申込下さい。 申込期限: 平成23年7月28日(木)まで
------	---

集合 平尾山カルチャーパーク入口付近 12:45受付開始

【住所】三重県名張市桜ヶ丘3088-1 (市立図書館より東に徒歩100m)

【会場までのアクセス】

- 鉄道の場合 近鉄名張駅下車 東に徒歩約12分
- 車の場合 平尾山カルチャーパーク内の駐車場をご利用できます。

参加申込書 FAXでお申込みいただく場合は、以下に必要事項をご記入の上、事務局まで送付下さい。
送付先: 木津川上流管内河川レンジャー(試行)事務局 FAX 0595-62-0477

参加活動	参加を希望される活動日を選んで下さい。	1. 平成23年7月31日(日)	2. 平成23年10月30日(日)
参加者氏名	(学校: _____ 学年: _____)		
参加者住所	〒 _____		
保護者 引率者氏名	_____	連絡先 (電話番号)	_____

支援: 国土交通省近畿地方整備局木津川上流河川事務所

活動No	H23-⑤	実施河川レンジャー	溝延河川レンジャー
活動名	名張川ウォーキング・バードウォッチング&ビオトープ生物確認		
実施日	平成23年10月30日(日) 13:00~15:30 ※当日雨天のため、活動を中止		
実施場所	名張川河川敷 (糸川橋~沖津藻大橋)		
活動目的	名張川の川沿いを散策し、身近な川での自然体験を行なうとともに、平成22年度の活動で設置したビオトープを観察、水生生物や植物の調査を行い、川への一層の関心をもってもらおう。		
参加者	-		
活動内容	<p>①名張川ウォーキング・バードウォッチング 平尾山カルチャーパークに集合し、カルチャーパークから新夏見橋、糸川橋、沖津藻大橋の区間約2kmを徒歩で移動し、名張川の様子や河川に生息している鳥類の観察を行う。</p> <hr/> <p>②ビオトープ観察 昨年度名張川の河川敷内に設置したビオトープで、棲息している魚介類や水生昆虫の観察、生物指標による水質の確認を行う。夏の活動で見つけた水生昆虫との比較。</p> <hr/> <p>③まとめ・アンケートの記入 生物確認で見つけた魚や水生生物の種類と個数等を確認し、調査票にまとめ。今後の活動への参考となるようアンケート調査を行う。</p>		
講師	なし		
感想考察	<p>◆活動全般について 今回小学生の参加が3名予定されていたが、イベント実施直前に雨が降り出し、天気図、アメダスの降雨状況より中止決定し、参加予定者に連絡をとった。事前準備をしていたにもかかわらずイベント中止となったのは残念であった。情報誌「ユー」の記者が取材予定であったが、取りやめとなった。今回、市広報の欄外にイベントの記事を掲載いただいたが、応募者は前回よりも下回った。前回の参加者は、小生の知人が半数以上を占めていて、一般の人の応募は少なかった。イベント自体に魅力がないのかなどの思いである。 名張市広報部との関係では、掲載記事については、1.5ヶ月前にイベント記載の記事を提供して下さいとのこと（欄外でない部分に掲載され、記事は後日修正可なので、正式なチラシでなくても良い）と、「ビオトープ」というような言葉は一般の読者が理解するのは難しく、用語の解説が必要なので容易なことばを用いる必要がある。</p>		

活動No	H23-⑥	実施河川レンジャー	西・廣岡河川レンジャー (合同活動)
活動名	川下り・カヌー体験		
実施日	平成23年7月23日(土) 10:00～15:00 ※台風の影響による水位上昇のため、活動を中止		
実施場所	伊賀市依那古地区 木津川河川敷		
活動目的	<p>参加者に川の中を歩いてもらい、川底が滑る事や急に深さが変わる事、流れの強さなどを体験してもらうとともに、その体験の中からどうすれば安全に川と付き合えるのか、川を楽しむ事が出来るかを考えてもらう。</p> <p>また、川遊びとしてカヌー体験も行い、川と触れ合い、川の事や環境の事を考えるきっかけ作りを行う。</p>		
参加者	-		
活動内容 (計画時)	<p>①川下り体験 伊賀市沖地区から市部地区までの約1.5km区間の川下りを行う。 (例年は猪田地区までの約2.0kmとしているが今回は短縮して実施)</p> <hr/> <p>②河川敷での昼食 関係者(協力団体等)にてカレーを作り、昼食を取る。</p> <hr/> <p>③カヌー体験と水際観察 参加者を2班に分け、カヌー・カヤックに乗って川遊び体験を行う。 また、箱メガネでの水際観察も行う。</p>		
講師	なし		
感想 考察	<p>当日の天候は回復したが前夜の雨もあり水量と濁りが解消しなかったため、カヌー体験を出来る状態ではなく、川下りも未経験者にとっては厳しい状況であると判断し、中止を決定しました。 水量の多い中での川の流れを体験するには良い機会という意見もあったが、中止判断は適切であったと考えます。</p> <p>事前申込者は約50名となっており、参加者が川に直接触れることのできる活動は、多くの方の参加が見込まれ、今後の活動計画の参考にしていきたいと思います。</p>		

木津川上流管内
河川レンジャー

参加者募集

川下り・カヌー体験

川を感じ 川を感じ

- ・川は楽しい所、でも遊び方を知らない。
- ・知らないから危ない、だから近づかない。
- ・近づかないから、川の大切さを知らない

川と友達になる事から始めませんか！！

川を楽しむ 川を楽しむ

7/23 (土)

10:00~15:00

伊賀市依那古地区 木津川河川敷

河川レンジャー

～川を感じ、川を楽しむ～

『川下り・カヌー体験』

7月23日(土)
参加費
1人500円

日時	平成 23 年 7 月 23 日 (土) 10 : 00 ~ 15 : 00
場所	伊賀市依那古地区 木津川河川敷
定員	70名(先着順)
参加費	1人500円 ※保護者・引率者の方もお願いします
対象者	小学生以上 ※小学校低学年以下の方は、保護者もしくは引率者の同伴が必要です。



活動内容 (予定)	みんなで川の中を歩き、川底がすべることや急に深さが変わること、流れの強さなどを体験し、どうすれば安全に川と付き合えるのか、川を楽しむ事が出来るかを考えましょう！ また、カヌー体験や水生生物調査を通して川とふれあい、川の事や環境の事をみんなで考えましょう！															
	<table border="1"> <tr> <td>9 : 45 ~</td> <td>受付開始 (下地図をご覧ください)</td> </tr> <tr> <td>10 : 00 ~ 10 : 30</td> <td>開会挨拶、準備体操</td> </tr> <tr> <td>10 : 30 ~ 11 : 30</td> <td>川下り (沖地区から市部地区までの約1.5km区間) 浮かんだり、流されたりしながら川下りを体験します！</td> </tr> <tr> <td>11 : 30 ~ 12 : 00</td> <td>出発地に移動</td> </tr> <tr> <td>12 : 00 ~ 13 : 00</td> <td>昼食 (カレーを作ってみみんなで食べましょう！)</td> </tr> <tr> <td>13 : 00 ~ 14 : 30</td> <td>カヌー体験と水際観察 カヌーやゴムボートで川面をすべり、気持ちよさを体験します！ 川の中にいる魚や水生生物を観察しましょう！</td> </tr> <tr> <td>14 : 30 ~ 15 : 00</td> <td>着替え、終了準備、アンケート記入</td> </tr> <tr> <td>15 : 00 ~</td> <td>閉会挨拶、解散</td> </tr> </table>	9 : 45 ~	受付開始 (下地図をご覧ください)	10 : 00 ~ 10 : 30	開会挨拶、準備体操	10 : 30 ~ 11 : 30	川下り (沖地区から市部地区までの約1.5km区間) 浮かんだり、流されたりしながら川下りを体験します！	11 : 30 ~ 12 : 00	出発地に移動	12 : 00 ~ 13 : 00	昼食 (カレーを作ってみみんなで食べましょう！)	13 : 00 ~ 14 : 30	カヌー体験と水際観察 カヌーやゴムボートで川面をすべり、気持ちよさを体験します！ 川の中にいる魚や水生生物を観察しましょう！	14 : 30 ~ 15 : 00	着替え、終了準備、アンケート記入	15 : 00 ~
9 : 45 ~	受付開始 (下地図をご覧ください)															
10 : 00 ~ 10 : 30	開会挨拶、準備体操															
10 : 30 ~ 11 : 30	川下り (沖地区から市部地区までの約1.5km区間) 浮かんだり、流されたりしながら川下りを体験します！															
11 : 30 ~ 12 : 00	出発地に移動															
12 : 00 ~ 13 : 00	昼食 (カレーを作ってみみんなで食べましょう！)															
13 : 00 ~ 14 : 30	カヌー体験と水際観察 カヌーやゴムボートで川面をすべり、気持ちよさを体験します！ 川の中にいる魚や水生生物を観察しましょう！															
14 : 30 ~ 15 : 00	着替え、終了準備、アンケート記入															
15 : 00 ~	閉会挨拶、解散															

持ち物	<ul style="list-style-type: none"> 川下り用の長袖・長ズボン・はきなれた靴 (サンダルは不可) 着替え・タオル・替えの靴 お茶などの飲料水 軍手は当日配布します。
その他	雨天時や川の水量が多い場合は、安全を考慮して活動を中止または、活動内容を変更する場合がありますのでご了承下さい。(活動前日17:00または当日6:00に決定します)
申込方法	TEL: 西河川レンジャー 090-3382-9903 廣岡河川レンジャー 090-3169-1038 FAX: 参加申込書より申込下さい。 申込期限: 平成23年7月19日(火)まで

集合 伊賀市沖・木津川河川敷 9:45受付開始

【場所】三重県伊賀市沖地区 木津川東側の河川敷

【会場までのアクセス】

- 鉄道の場合
伊賀鉄道依那古駅下車 西に徒歩約5分
- 車の場合
上野原ICよりR422を南に約10分
R165青山交差点より約10分
駐車場は、会場河川敷もしくは対岸の河川敷を予定しています。

参加申込書 FAXでお申込みいただく場合は、以下に必要事項をご記入の上、事務局まで送付下さい。
送付先: 木津川上流管内河川レンジャー(試行)事務局 FAX 0595-62-0477

参加者氏名	(学校:)	学年:)
参加者住所	〒	
保護者 引率者氏名	連絡先 (電話番号)	

支援：国土交通省近畿地方整備局木津川上流河川事務所

活動No	H23-⑦	実施河川レンジャー	溝延河川レンジャー
活動名	洪水対策学習会		
実施日	平成23年8月7日(日) 13:00~16:00 ※参加申込者なしのため、活動を中止		
実施場所	名張市旧細川邸やなせ宿 名張川水位観測所		
活動目的	名張川の上流に設置されている室生・青蓮寺・比奈知ダムをはじめ、名張市や国土交通省が洪水に備えてどのような活動をされているか学習し、防災や減災について考える機会とする。		
参加者	-		
活動内容 (計画時)	<p>①水位観測所見学 やなせ宿近辺の水位観測所を訪れ、水位観測・情報送信の仕組みを実地見学する。</p> <hr/> <p>②洪水対策に対する各機関の実務学習 水資源機構、国土交通省、名張市危機管理室が洪水に備えてどのような活動をされているか学習し、質疑・応答や意見交換会を通じて防災や減災について考える。</p>		
講師 (計画時)	水資源機構、国土交通省、名張市危機管理室担当者		
感想 考察	<p>近年の局所的ゲリラ降雨の発生などにより、河川流域の住民が、洪水の災害に遭遇する危険性が增大しているとの見地より、地域住民が洪水への対策がどうなされているか事前学習しておくことは、危険回避のために大いに参考になると判断され、今回の学習会を企画しました。</p> <p>当初の企画は参加対象者を一般市民・自治会防災担当者としていましたが、国土交通省の要請により、小学生高学年・中学生に対象を切り替えました。結果として、参加者は0名となり、初期の目的を達することができなくて残念でした。</p> <p>チラシの配布をお願いしたテニス同好会のメンバーより、まず、親が学習してから、子供に教えるという順序になるのではないかと指摘を受けました。</p> <p>洪水に対しては、居住している地理的地域特性により関心度が異なると思われるので、次回開催を予定するなら、旧名張市街で洪水の危険性の可能性のある名張小学校・中学校の区域住民を対象に募集を行なうことが適切でないかと考察されます。</p>		



防災・減災を考えよう
洪水対策学習会

日時 8月7日(日)午後1時～4時
 場所 やなせ宿(新町)
 対象 小学4年生～中学生
 定員 30人 ※先着順
 申込 8月4日(木)までに電話で問
 い合わせ先へ ◎参加無料
 河川レンジャー(溝延)
 ☎ 090-2184-9666

←名張市広報誌
「広報なばり」(7-4号)

河川レンジャー
参加者募集

『洪水対策学習会』

平成23年
8月7日(日)
参加無料

～みんなで防災や減災について考えましょう～

日時	平成23年8月7日(日) 13:00～16:00		
場所	名張市旧細川邸やなせ宿・名張川水位観測所ほか		
定員	30名(先着順)	参加料	無料
対象者	小学校高学年～中学生		

名張川の上流に設置されているダムや、名張市や国土交通省が洪水に備えてどうしているかを学習し、みんなで防災や減災について考えましょう！！

活動内容(予定)

12:45～13:00	受付開始(下地図をご覧ください)
13:00～13:10	開会の挨拶
13:10～13:45	名張川の水位観測所の見学(川の水の高さを測る機械を見てみよう！)
13:45～14:15	雨量計測・水位計測・ダム放流のお話
14:15～14:45	国土交通省の洪水対策のお話
14:45～15:15	名張市の洪水対策のお話
15:15～15:45	意見交換会(みんなで防災や減災について考えましょう！)
15:45～16:00	アンケートと閉会の挨拶
16:00～	解散

持ち物

水位観測所の現地見学を実施しますので、動きやすい服装で起こして下さい。また、降雨に備え、雨具等の準備もお願いします。

集合 名張市旧細川邸やなせ宿 12:45受付開始

【住所】三重県名張市新町136

【会場までのアクセス】
 ●鉄道の場合
 近畿名張駅下車 西に徒歩約14分
 ●車の場合
 イオン名張店もしくは
 安岩神社の駐車場をご利用できます。

その他

活動当日に、降雨等の気象警報が発令された場合は活動を中止します。(当日朝9:00決定)

申込方法

TEL: 溝延河川レンジャー 090-2184-9666
 FAX: 参加申込書より申込下さい。
 申込期限: 平成23年8月4日(木)まで

参加申込書

FAXでお申込みいただく場合は、以下に必要事項をご記入の上、事務局まで送付下さい。
 送付先: 木津川上流管内河川レンジャー(試行)事務局 FAX 0595-62-0477

参加者氏名		
	(学校:)	(学年:)
参加者住所	〒	
保護者 引率者氏名		連絡先 (電話番号)

支援: 国土交通省近畿地方整備局木津川上流河川事務所

活動No	H23-⑧	実施河川レンジャー	西田河川レンジャー
活動名	川の洪水を防ぐ&川の水を調べてみよう		
実施日	平成23年9月～10月頃(13:00～17:00) 実施予定 ※参加対象の伊賀市立久米小学校とのスケジュールがあわず、活動を中止		
実施場所	<ul style="list-style-type: none"> ・上野遊水地集中管理センター資料室 ・現地(上野遊水地、久米川、木津川) 		
活動目的	<p>久米川小学校の児童を対象に、防災・減災意識を高めてもらうため、遊水地や河川堤防の目的や役割等についての学習会と現地見学(遊水地・小田陸間他)を行う。</p> <p>さらに、樋門操作室内で、実際の災害時の樋門操作について学習する。</p> <p>また、久米川と木津川本川の河川水を採水し、パックテストを用いた水質調査を行い、水質環境への関心を高めてもらう。</p>		
参加者	-		
活動内容 (計画時)	<p>①防災・減災学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊水地や河川堤防の目的や役割等についての学習(集中管理センター会議室) ・樋門操作室内での災害時の樋門操作学習 ・現地見学(遊水地・小田陸間) <hr/> <p>②水質調査(パックテスト)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・久米川と木津川本川の河川水の採水体験 ・集中管理センター会議室でのパックテスト体験 		
講師	なし		
感想 考察	<p>今回の活動は、伊賀市立久米小学校の教育プログラム(環境学習)として実施計画を立案し、6月頃から久米小学校への依頼や日程調整を行っていた。</p> <p>10月まで交渉を続けていたが、学校よりスケジュールがいっぱいでカリキュラムに組み込めないという回答があったため、活動を中止せざるを得なくなった。</p> <p>小中学校の教育プログラムとしての活動実施は、たくさん子どもたちに川に興味を持ってもらう上で効果的であるが、学校側のスケジュール等の問題もあり、次回からは年度当初からの依頼や交渉を行っていく必要があると感じた。</p>		

活動No	H23-⑨	実施河川レンジャー	西河川レンジャー
活動名	新居小学校における、遊水地・樋門見学と防災学習		
実施日	平成23年9月30日(金) 8:45~11:45 ※伊賀市立新居小学校5年生の教育プログラム(環境学習)での実施		
実施場所	上野遊水地集中管理センター、小田陸間および遊水地		
活動目的	新居小学校における教育プログラムの中で、5年生の環境学習として、遊水地や樋門が自分達の生活とどのように関わっているのかを、集中管理センターでの学習や現地で樋門等を見学する中で学んでもらう。		
参加者	新居小学校5年生 42名 (小学生38名、引率4名)		
活動内容	<p>上野遊水地集中管理センターにて遊水地学習 8:45~10:05 学習室での遊水地や樋門・集中管理システムに関する学習 監視操作室の見学</p> <hr/> <p>服部川・東高倉川の水質調査 10:05~10:40 パックテストで服部川・東高倉川の水質調査</p> <hr/> <p>樋門等見学 10:40~11:45 小田陸間(内部含む)の見学と遊水地見学</p>		
講師	木津川上流河川事務所 森下係長		
感想 考察	<p>◆活動全般について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森下係長からの説明に対して、児童からの質問も多く、活発な学習会になったと考える。 ・時間配分としては、学習会が予定より長くなり、学習室での説明を割愛せざるを得なかった。その為パックテストの準備が出来ずに、スムーズな進行が出来なかった。 ・小田陸間までは歩いて移動したが、児童もバラバラにならず問題なく移動できた。 <p>◆活動目的の達成状況について(参加者意見等より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊水地や樋門が自分達の生活とどのように関わっているのかを学習し、その後現地見学する事で、子ども達に理解しやすく、学校の評価も好評であったと感じる。今後も5年生の学習テーマにあわせた「継続した環境活動」のひとつとして学校等へアプローチしていきたい。 		

感想
考察

◆活動運営状況について(要員間の連絡体制や安全管理体制の評価)

- ・学校側の引率、他レンジャー等の協力、児童も従ってくれた為、安全な活動につながったと思う。
- ・天候も心配されたが、事前に中止の判断基準を決めていたので、小学校担当教諭との実施決定の連絡が遅滞なくでき、活動進行もスムーズに行うことができた。
- ・バス移動に関して大型バスを使用したか、新居小学校前の乗降に制約があり注意が必要であった。

参加者
意見

回答者数 : 37 名

○活動は楽しかったか？

すごく楽しかった(12) 楽しかった(24) つまらなかった(1)

○活動時間はどうだったか？

ちょうど良かった(18) 長かった(2) 短かった(17)

○活動に参加して「川」に興味や関心を持ったか？

はい(30) いいえ(7)

○川についてもっと知りたいと思ったか？

すごく知りたいと思った(7) 知りたいと思った(29) 思わなかった(1)

○活動に参加して「遊水地」に興味や関心を持ったか？

はい(36) いいえ(1)

○遊水地についてもっと知りたいと思ったか？

すごく知りたいと思った(7) 少し知りたいと思った(29) 思わなかった(1)

○活動に参加して「防災」に興味や関心を持ったか？

はい(31) いいえ(6)

○防災についてもっと知りたいと思ったか？

すごく知りたいと思った(10) 少し知りたいと思った(26) 思わなかった(1)

○活動に参加しての感想や意見は？

- ・楽しかった。勉強になった。
- ・知らなかった事が良く解かった。
- ・もう少し知りたかった。また色々教えてほしい。
- ・川の生物について教えてほしい。
- ・遊水地の人は大変だと思った。
- ・小田陸閣に登って楽しかった。
- ・小田陸閣は思ったより高かった。
- ・監視操作室がすごかった。
- ・今度は樋門にも登りたい。
- ・樋門を下げる場所も見たい。
- ・川が危険だという事が解かった。
- ・パックテストが楽しかった。面白かった。
- ・パックテストで川の汚れが解かった。

○今までに「川」に関する活動や学習会に参加したことがあるか？

はい(5) いいえ(32)

○今までに「河川レンジャー」の活動に参加した事があるか？

はい(1) いいえ(35)

○今後、参加してみたい活動や勉強会は？

が-体験(28) 川下り(23) 自然学習(23) 水生生物調査(18)
野鳥観察会(11) ウォーキング(7) 防災学習(7) 歴史・文化学習(6)

参加者
意見

- 『川』について感じていることや思っていることは？
 - ・川は危険。 ・急にあふれるので怖い。 ・伊賀の川はきれい。
 - ・川が汚くなっている。 ・きれいな川にしたい。して欲しい。
 - ・外来種が多く減らしてほしい。 ・川で遊びたい。
 - ・川で遊ばない方がいい。
- これから、どんな『川』になったらいいと思うか？
 - ・安全な川 ・ゴミのない、きれいな川
 - ・遊べる川、泳げる川 ・魚がいっぱい棲む川
- きれいな『川』にするためにみんなができることは？
 - ・川をきれいにする。 ・汚い水を流さない。
 - ・汚い水を流さない。 ・ゴミを捨てない。
 - ・生き物を大切にする。
- 多くの方に活動に参加してもらうために、どのような広報を希望するか？
 - ・チラシを配布する。 ・ポスターをはる。
 - ・新聞に載せる。 ・テレビで宣伝する。
 - ・楽しい事を宣伝する。

活動状況

開催挨拶・注意事項説明



遊水地学習



遊水地学習



監視操作室見学



活動状況

監視操作室見学



パックテストでの水質調査



パックテストでの水質調査



パックテストでの水質調査



小田陸閘見学



小田陸閘見学



小田陸閘と遊水地見学



バス内より遊水地および樋門見学



活動No	H23-⑩	実施河川レンジャー	西河川レンジャー
活動名	岩倉峡散策と歴史文化学習		
実施日	平成23年10月22日(土) 9:15~12:15		
実施場所	伊賀市 岩倉峡周辺		
活動目的	伊賀市岩倉峡の散策を行う中で、岩倉峡にまつわる歴史や岩倉峡で採掘された石に関わる歴史を学び、木津川の歴史や下流とのつながり、伊賀市の歴史について学習する。		
参加者	10名		
活動内容	<p>岩倉峡散策と歴史文化学習 9:15~12:15</p> <p>岩倉峡に関わる歴史について、岩倉峡を散策しながら、歴史・文化の学習を実施した。</p>		
講師	伊賀の國地名研究会 中平 勝 氏		
感想 考察	<p>◆活動全般について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早朝までの降雨で現地散策の中止も考えたが、開始前に天候が回復し予定通り実施する事ができた。 ・参加者も小学生から年配の方まで参加され、それぞれに有意義であったと思う。 ・岩倉峡に関する歴史や下流とのつながりなどの話も聞け、レンジャーとしても参考になった。 ・水力発電の現状なども少し話をして川の役割なども感じてもらえたと思う。 <p>◆活動目的の達成状況について(参加者意見等より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に岩倉峡の岩などを見て講師の話聞く事ができたので、自分たちが住んでいる地域の川にまつわる歴史を勉強する事ができた。 ・下流からの参加者もあり、上下流の川の違いを体感していただいた。 「川をつながり」を意識でき、上下流の交流を考えていくキッカケとなったと思う。 今後も積極的に上下流の交流ができる様な活動を計画していきたい。 		

感想
考察

◆活動運営状況について(要員間の連絡体制や安全管理体制の評価)

- ・天候は回復したが、遊歩道の状態などは水たまりもあり、散策時に注意が必要であった。事前に現地調査を2回実施し、注意が必要な所等を把握していたので、スタッフ間で情報共有をし安全管理等問題なく実施できたのでよかったと思う。
- ・遊歩道周辺は、草刈などが実施されており活動に際しては特に問題はなかった。
- ・雨天時の対応として集中管理センターでの学習会を準備していたが不要になった。雨天時の学習内容を決めておくことで、活動を中止とせず実施できるので、今後の活動においても計画していきたい。

参加者
意見

回答者数 : 9名

○活動は楽しかったか？

すごく楽しかった(7) 楽しかった(2)

○活動時間はどうだったか？

ちょうど良かった(8) 短かった(1)

○活動に参加して「川」に興味や関心を持ったか？

はい(9) いいえ(0)

○川についてもっと知りたいと思ったか？

すごく知りたいと思った(7) 知りたいと思った(2)

○活動に参加しての感想や意見は？

- ・風景を見ながら歴史を学べたことが良かった。
- ・川と歴史や文化のつながりが学べて良かった。
- ・川の現状に興味があり、気軽に楽しめた。
- ・大きい石がごろごろあり眺めが良かった。色々勉強になった。
- ・岩にも色々な種類があるんだな~と思った。
- ・栗が拾えて楽しかった。

○今までに「川」に関する活動や学習会に参加したことがあるか？

はい(7) いいえ(2)

○今までに「河川レンジャー」の活動に参加した事があるか？

はい(7) いいえ(2)

○今後、参加してみたい活動や勉強会は？

カヌー体験(7) 川下り(6) 水生生物調査(5) 野鳥観察会(5)
自然学習(5) ウォーキング(4) 防災学習(2) 歴史・文化学習(2)

○『川』について感じていることや思っていることは？

- ・川下りなどで遊びたい ・海みたいに泳ぎたい。 ・ゴミが多い。泳ぎたい。
- ・遊びたい所だけど、雨が降るたびちゅうちょしてしまう所。 ・やすらぎ、いこい
- ・きれいだなー ・地域の防災は十分できているのか興味がある。
- ・ゴミが多い。個人個人のモラルが低下したのか、川だけでなくゴミが落ちてますね。

○これから、どんな『川』になったらいいと思うか？

- ・泳げる川 ・アユが生息する河川 ・生き物がいっぱいいる川
- ・みんなが近づける川 ・安全な川 ・きれいな川 ・ゴミのない川
- ・川の両端にくずなどのつる性の植物がはえていない川。

○きれいな「川」にするためにみんなができることは？

- ・下水管理に各家庭への呼びかけ(油ものを流さない)
- ・ゴミ拾い ・魚にえさをあげたり、ふれあいがあればいいと思う。
- ・ゴミをすてない ・川の魚を食べる。
- ・みんなにもゴミを捨てない様訴えかける(特に子どもに意識を高めてもらう)
- ・あまり洗剤をつかわない。 ・川に汚い水を流さない。 ・生き物を大切にする
- ・川の水をきれいにするには個人々の家庭における水に対して台所から汚れものは流さない。

○多くの方に活動に参加してもらうために、どのような広報を希望するか？

- ・近鉄の駅、市内スーパーでの広報。
- ・学校にチラシを配布する。
- ・メール

活動状況

開催挨拶・注意事項等説明



歴史文化学習(岩倉峡入口)



歴史文化学習(岩倉峡入口)



歴史文化学習(芭蕉句碑前)



活動状況

歴史文化学習(御殿岩付近)



散策状況



歴史文化学習(旧発電所前)



歴史文化学習(旧発電所前)



歴史文化学習(旧発電所前)



散策状況



岩倉峡について学習



歴史文化学習



岩倉峽散策と歴史文化学習

伊賀市の北西にある「岩倉峽(いわくらきょう)」。緑あふれる山にはさまれて、大きな岩の間を流れる木津川はまさに絶景です！
みんなで岩倉峽を散策しながら、木津川の歴史や文化を学習しましょう！

開催日時／平成 23 年 10 月 22 日(土) 9:30～12:00

参加定員／30 名(先着順)

参加料／無料

申込期限／平成 23 年 10 月 20 日(木)

開催場所 伊賀市岩倉峽

集合場所 上野遊水地集中管理センター資料室(9:15 受付開始)

対象者 小学生以上

※小学生低学年以下の方は、保護者もしくは引率者の同伴が必要です。

持ち物 ①動きやすい服装でお越し下さい。

②**双眼鏡**

※事務局準備分も利用できます。(数量に限りあり)

その他 当日雨天の場合は活動を中止します。

※活動前日 17:00 または当日 7:00 に決定します。

※少雨の場合は内容を変更して実施します。

申込方法 TEL の場合 090-3382-9903(西河川レンジャー)

FAX の場合 「参加申込書」を事務局まで

【住所】三重県伊賀市小田町 242(木津川上流河川事務所伊賀上野出張所構内)



【会場までのアクセス】

●伊賀鉄道上野市駅下車
北西に徒歩約 12 分

●JR 関西線伊賀上野駅下車
南に徒歩約 15 分

※お車でお越しの方は、
駐車場をご利用できます。
(台数に限りあり)

参加申込書

FAX でお申込みいただく場合は、以下に必要事項をご記入の上、事務局まで送付下さい。

送付先 木津川上流管内河川レンジャー事務局 / FAX : 0595-62-0477

参加を希望される活動 (番号に○を付けて下さい)	1. 岩倉峽散策と歴史文化学習 2. 名張川ウォーキング・バードウォッチング&ピオトープ生物確認		
参加者氏名	(学校名: _____)		
参加者住所	〒 _____	_____	_____
保護者・引率者氏名	_____	連絡先(電話番号)	_____

活動No	H23-⑪	実施河川レンジャー	西河川レンジャー
活動名	上野遊水地見学と食文化学習		
実施日	平成23年12月4日(日) 10:00~15:00		
実施場所	上野遊水地集中管理センターおよび長田橋東詰周辺		
活動目的	<p>上野遊水地に関する学習と見学を行い、遊水地の目的と治水を学ぶとともに、川魚の試食を行い、川に関わる食文化学習を行う。</p> <p>また今回は下流の淀川管内・木津川出張所管内河川レンジャーとの合同活動として、上流域の住民としての下流とのつながりを考え、上下流の交流を行う機会とする。</p>		
参加者	44名		
活動内容	<p>上野遊水地の学習 10:00~11:20 木津川上流河川事務所 森下係長より遊水地に関する説明をしてもらい、遊水地の目的と治水について学習した。</p> <hr/> <p>食文化学習 11:20~12:30 西レンジャーより食文化に関する昔の様子を説明し、川魚の試食を行った。</p> <hr/> <p>淀川遡航終点の碑と遊水地見学・服部川での水生生物調査 12:30~14:00 長田橋周辺で淀川遡航終点の碑と遊水地を見学し、舟運について学習した。 その後、服部川に移動し水生生物を観察した。</p> <hr/> <p>下流参加者との交流 14:00~15:00 上流管内河川レンジャー活動報告と、下流から親子水辺の学校の活動状況を聞かせてもらった。</p>		
講師	木津川上流河川事務所 森下係長		
感想 考察	<p>◆活動全般について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下流のレンジャーとの交流を兼ねた活動として実施したので有意義な活動になったと思う。 ・上野・名張からの初めての参加者もいて、遊水地や食文化、下流とのつながりについて知ってもらう事ができた。 ・下流の活動報告は、子ども達がしっかりと目的と考えを持って活動しており、今後の活動の参考にしたい。 ・下流のレンジャーとの交流では、“木津川は一つである”という事を認識でき、今後も交流をしていきたい。 		

◆活動目的の達成状況について(参加者意見等より)

- ・遊水地の意義や上下流間の思いやりの心、共存について知ってもらう事ができたので、目的は達成できたと思う。
- ・下流の子ども達の活動報告より、活動実施も大切だが、活動の記録を発表をしていく事も必要であるという事が分かった。今後は発表方法も考えながら上下流交流を続けていきたい。

◆活動運営状況について(要員間の連絡体制や安全管理体制の評価)

- ・参加人数44名となったが、上流管内河川レンジャーと下流河川レンジャーや協力スタッフにも役割分担と補助をしてもらい、特に問題なく活動する事ができた。
- ・木津川に入ってみたいという要望より調整を行ったが、当初の調査地点はぬかるんでいた為、急遽服部川に変更した。その際バスの駐車や川まで徒歩移動をせざるを得なくなった。変更する際の実施方法や移動手段も周到に計画する必要がある事を再認識した。

回答者数 : 25名

○活動は楽しかったか?

すごく楽しかった(11) 楽しかった(14)

○活動時間はどうだったか?

ちょうど良かった(17) 長かった(8)

○活動に参加して「川」に興味や関心を持ったか?

はい(23) いいえ(2)

○川についてもっと知りたいと思ったか?

すごく知りたいと思った(16) 知りたいと思った(5) 思わなかった(3) 未記入(1)

○活動に参加しての感想や意見は?

(上流参加者の感想) ※抜粋、詳細は別途アンケート集計表に記載

- ・木津川下流の活動報告、大変すばらしかった。 ・水生生物が沢山いるのにビックリした。
- ・水に入るのはたのしかった。いろんな魚をみれてよかった。
- ・水をきれいにしないとイケないと思った。日々汚れた水を流さない様につけたい。
- ・私達に出来る事は何か?何気なく流していた物についてとても反省している。
- ・水生生物が住める環境を作っていかなばならないと思った。
- ・川に深い所とかがあることが分かった。

(下流参加者の感想) ※抜粋、詳細は別途アンケート集計表に記載

- ・ナマズ、モロコ天ぷらおいしかった。「食べる」ということも大切。「遊水地」の役目、下流の洪水を防ぐ効果もあり、上流の人達の工夫・努力に感謝。上流の水はとてもきれい。川らしいなあと思った。 ・子どもが遊べる川辺空間がもっと多いと幸せなのに。
- ・上野へ下流の子供達を連れて行きたいと思った原点
- ・下流は上流に"してもらわないとイケない"立場。共存について今後考え実行していきたい。

○今までに「川」に関する活動や学習会に参加したことがあるか?

はい(17) いいえ(8)

○今までに「河川レンジャー」の活動に参加した事があるか?

はい(20) いいえ(5)

○今後、参加してみたい活動や勉強会は？

川下り(17) ｶﾞ-体験(10) 防災学習(9) 歴史・文化学習(9) 自然学習(8)
水生生物調査(7) ウォーキング(7) 野鳥観察会(5)

○『川』について感じていることや思っていることは？

- ・魚をとりたい。 ・生き物がいっぱい。 ・ゴミが多い ・きれい
- ・川は楽しいから、きれいであってほしい。泳いだり遊んだりしたい。 ・遊び場
- ・いま水質低下、子供達が水遊びの出来る安全な川に。
- ・川は生きていることを実感している。 ・水に身近に接することが大事。
- ・川=汚いと感じていた。ゴミが多く近づけないくらい足場が悪い所が多い。
- ・下流の親子川の学校の活動に感動した。上流でも親子の活動や勉強会が盛んになると良い。
- ・子どもが毎年川でなくなっている。痛ましいことだ。
- ・治水を優先してきたところから、それ以外にも世間が動けば良いと思う。
- ・下流にくらべてゴミが少なく、水もきれいだった。
- ・上流の川に関して、非常にたくさん魚がとれそうな地点がいっぱいあるので、できればもっと川にアプローチできる場所が多くあればもっと川ガキが増えると思う。
- ・もっと親しみたいけれど親自身に経験がなく、お世話にして下さる方がいないと楽しめない。自信をもって川とつき合えるようになったらいい。
- ・たくさんの方は川は危険だと思っている。昔みたいにもっとあそびたい。

○どんな「川」になったらいいと思うか？

- ・ゴミのない川 ・きれいで遊べる川 ・きれいな川 ・安全な川
- ・安心して泳げる川 ・泳げる川 ・生物種が保全されている川 ・生物の住める川
- ・昔は川で泳いでいた記憶がある。 ・安全性を考え勉強会があれば良いと思う。
- ・遊べる川 ・子どもがなくなることのない川と社会、家庭づくりが求められている。
- ・子どもたちのフィールドになるような場所に。 ・安全で魚がたくさんすんでいる川。
- ・川魚を食べても安心なくらいきれいな川になってほしい。
- ・下流も遊べる場所がいっぱい。今も開拓中。上流はいっぱいありますね！！うらやましい。
- ・安全第一だがとりつく島のないｺﾝｸﾘｰﾄだらけでは「大事にしよう」という意識が育たない。子供たちの心の原形として残せる風景であってほしいと思う。

○きれいな「川」にするためにみんなができることは？

- ・ゴミをすてない ・ゴミ拾い ・みんなで協力をする。 ・下水処理場の完備
- ・川をよごさない ・外来生物を放さない。 ・生き物を大切にする
- ・子供が常に遊んでいること ・汚水を川に流さない ・みんなで川を知ること
- ・家庭では汚れた食器等はまずふき取る。洗剤等は自然に近い物、不要に何でも流さない。
- ・毎日の食器洗いのとき油汚れなどを拭きとってから洗う。
- ・川の水を飲んでいることを忘れない。 ・川に興味を持つこと！

○多くの方に活動に参加してもらうために、どのような広報を希望するか？

- ・学校にチラシを配布(5) ・口コミ ・新聞や情報誌に掲載(2)
- ・地域のフェスティバルや学校の文化祭等で紹介
- ・いろいろな団体へ案内

活動状況

開催案内・注意事項等説明



川魚の観察



遊水地学習



食文化学習



川魚試食の調理



川魚試食



淀川遡航終点の碑にて学習



遊水地見学



活動状況

遊水地見学



遊水地見学



遊水地見学



水生生物調査



水生生物調査



水生生物調査



下流河川レンジャー活動報告



下流河川レンジャー活動報告



木津川上流管内河川レンジャー活動

上野遊水地見学と 食文化学習

参加者募集

うえのゆうすいちけんがくと
しょくぶんかがくしゅう

上野遊水地見学

上野遊水地は、大雨などで川がはんらんしないように、川からあふれた水を一時的にためておくためにつくられた大きな池です。今回の活動では、遊水地のしくみやはたらきを学習し、実際にみんなで外に出て遊水地に水を入れる越流堤や、たまった水を川に戻す排水門の見学を行います。私たちが災害から守ってくれる遊水地について学んでみませんか!!



食文化学習

今のように車や電車のない時代に暮らしていた人たちは、食べ物や材木などを運ぶために、川の中を舟で行き来していました。また、昔は川に漁師がいて、川魚をつかまえて食べていました。今回の活動では、「淀川遊航終点の碑」の見学や、昔の人の川とのつながりについて学習します。お昼には、みんなでお弁当を食べながら、川魚の試食を行います! この機会にぜひ昔の人たちの食文化を体験してみませんか!!



参加者交流会

今回の活動は、下流の淀川管内からもたくさんのお友達が参加します。みんなで仲良く学習して交流を深めましょう!!

開催日時 / 平成 23 年 12 月 4 日 (日) 10:00 ~ 15:00 ※雨天実施

参加定員 / 20 名 (先着順) 参加費 / 無料

集合場所 上野遊水地集中管理センター (9:30 受付開始)

申込期限 / 平成 23 年 12 月 1 日 (木)

開催場所 上野遊水地集中管理センター 他

対象者 小学生以上
※小学生低学年以下の方は、保護者もしくは引率者の同伴が必要です。

持ち物 お弁当、水筒、筆記具、防寒具
※動きやすい服装でお越し下さい。
※川魚の試食は、昼休み中の自由参加としております。個人の責任でご参加下さい。

申込方法 TEL の場合 → 090-3382-9903 (西河川レンジャー)
FAX の場合 → 「参加申込書」を事務局まで



参加申込書

FAX でお申込みいただく場合は、以下に必要事項をご記入の上、事務局まで送付下さい。

送付先 木津川上流管内河川レンジャー事務局 / FAX : 0595-62-0477

参加者氏名	(学校名: _____ 学年: _____ 年)	
参加者住所	〒 _____ - _____	
保護者・引率者氏名	連絡先 (電話番号)	

支援 / 国土交通省木津川上流河川事務所・淀川河川事務所

活動No	H23-⑫	実施河川レンジャー	廣岡河川レンジャー
活動名	河川レンジャー活動写真展と川遊び学習会		
実施日	(写真展示会) 平成24年2月10日(金)～平成24年3月7日(水) (川遊び学習会) 平成24年2月25日(土) 13:00～16:00		
実施場所	名張市旧細川邸 やなせ宿 中蔵		
活動目的	<p>名張市のやなせ宿で、これまでに行ってきた活動写真の展示会を行い、一般の方に河川レンジャーに関心を持っていただく。(展示期間：平成24年2月10日～3月7日)</p> <p>また、展示期間中に一般来場者を対象とした学習会(水生生物の観察用アクリルボックスの製作や魚クイズなど)を行い、川遊びの楽しさを知ってもらう。</p> <p>さらに、昨年度よりやなせ宿と連携して行っているホテルの再生に向けた取り組みの報告や今後の活動計画についての紹介を行う。</p>		
参加者	9名 (生き物観察用ケース製作 5名)		
活動内容	<p>写真展示会(展示期間：平成24年2月10日～3月7日の9:00～17:00)</p> <p>これまでに行ってきた活動の写真や、河川レンジャーの説明パネルなどを展示。それぞれの活動について説明を行った。</p> <hr/> <p>川遊び学習会 13:00～16:00</p> <ul style="list-style-type: none"> 水生生物の種類や魚の種類の見分け方などを、魚クイズで子どもたちに説明した。 その後、簡単にできる水生生物の調査方法についての学習や、観察用アクリルボックスの製作を行った。 さらに、今年度実施したホテルの人工飼育状況の説明と来年度の活動計画についても紹介した。 		
講師	なし		
感想 考察	<p>◆活動全般について</p> <ul style="list-style-type: none"> 観察ケース作りは子供でも思った以上にきれいにできた。 子供がアクリルをカッターで切るのは難しいと思い、1人分ずつのパーツにしておいたので、作業を円滑に進められて良かった。 活動写真展示については、これまでに行ってきた活動の紹介をしたが、このような活動をやっている事を知らなかったとの意見が大半で、広報について検討しないといけないと思った。 事前申込でなく当日受付とする事は、気軽に参加していただけるが、実施するまで人数の把握ができないので、少人数の場合や一度に多数の参加者が集まった場合など、計画を周到にする必要がある。 今回は天候の都合で、フィールドワークができなかったが、次回は、工作と水生生物調査などを絡めた活動を計画したい。 		

感想
考察

◆活動目的の達成状況について(参加者意見等より)

- ・活動写真展を見学された方から、川下り・カヌー体験をやってみたいという意見がでていた。
- ・観察ケースの作成で、実際に魚を入れた時の楽しそうな顔から"川遊びの楽しさを知ってもらおう"という目的は達成できたと思う。
- ・直接、参加者の意見を聞くことができた事は「参加者が希望する活動」の把握につながると思う。今後は、参加者のニーズに答えられるような活動を計画し、集客に努めたい。
- ・観察用ケース作成に参加された大半が「小学校で活動の情報を知った」との意見であった。活動の内容により、対象を決めて個別に学校へ広報をする事も検討する必要がある。
- ・夏にフィールドワークを行い、冬に活動報告や写真展などを計画する事で、年間を通して活動ができる。今後は、工作教室や学習会など、屋内でできる活動なども計画していきたい。

◆活動運営状況について(要員間の連絡体制や安全管理体制の評価)

- ・参加人数が少なかった事が、参加者それぞれに丁寧に作成方法等を説明できた。安全面等も余裕を持って管理する事ができた。
- ・活動の内容によって違いはあるが、参加人数に対する安全管理スタッフの配置というのは、活動を円滑かつ安全に進めるためには、特に大切である。今後も万全に計画したい。

参加者
意見

回答者数 : 5名

○活動は楽しかったか?

すごく楽しかった(4) 楽しかった(1)

○活動時間はどうだったか?

ちょうど良かった(3) 長かった(1) 短かった(1)

○活動に参加して「川」に興味や関心を持ったか?

はい(5) いいえ(0)

○川についてもっと知りたいと思ったか?

すごく知りたいと思った(2) 知りたいと思った(3)

○活動に参加しての感想や意見は?

- ・魚のかんさつするアクリル板をつくって水を入れて水がもれなくてよかった。
- ・すごくきれいにできてよかったです。
- ・初めての経験で、細かい作業が意外で楽しかった。
- ・子供と一緒にやらせてもらって、とても良い時間でした。

○今までに「川」に関する活動や学習会に参加したことがあるか?

はい(1) いいえ(4)

○今までに「河川レンジャー」の活動に参加した事があるか?

はい(0) いいえ(5)

○今後、参加してみたい活動や勉強会は?

川下り(3) 自然観察(3) カヌー体験(2) 水生生物調査(2) 歴史・文化学習(1)
野鳥観察会(1) ウォーキング(1)

参加者
意見

- 『川』について感じていることや思っていることは？
 - ・安全で危険がない川(滝)
 - ・ゴミが多い
 - ・きれいなときけん
 - ・遊んでも危険でないところで遊びたい。
- どんな「川」になったらいいと思うか？
 - ・きれいな川 ・きれいな川と安全な川
 - ・生物、植物、野鳥、人が共存できる豊かな自然であってほしい。
 - ・子供が安全に遊べるところがある川
- きれいな「川」にするためにみんなができることは？
 - ・生き物をたいせつにする。
 - ・ゴミ拾い
 - ・水を汚さない。水を大切にする。
- 多くの方に活動に参加してもらうために、どのような広報を希望するか？
 - ・集合場所は名張市内であってほしい。
 - ・学校にチラシを配布してほしい。

活動状況

写真展示会



写真展示会



写真展示会



展示写真見学状況



活動状況

川遊び学習会



魚クイズ



魚クイズ



観察ケースの作成



観察ケースの作成



観察ケースの作成



水もれの確認



観察ケース完成



木津川上流管内河川レンジャー

活 動 写 真 展

期間：平成 24 年 3 月 7 日(水)まで
場所：名張市旧細川邸やなせ宿 中蔵

住民の皆さまに『川』への興味や関心を深めてもらうために活動する『河川レンジャー』のこれまでの活動記録を写真とともに振り返ります！！



★期間中に、学習会も開催します！！

2/25(土) 『川遊び』学習会 ～生き物観察用ケースを作ってみよう～

開催日時：平成 24 年 2 月 25 日(土) 13:00～16:00

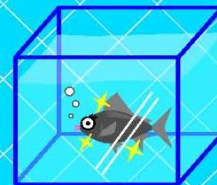
開催場所：やなせ宿

定員：当日先着順 30 名



みんなでアクリルを使った観察用のケースを作って、簡単な川の生き物調査の方法や、生き物の見分け方などを学習しましょう！！

- ※観察用ケースの製作は、30名(先着順)とさせていただきます。
- ※参加受付は当日12:30より、やなせ宿中蔵前で行います。
- ※動きやすい服装でお越し下さい。



📞お問合せ先

- 木津川上流管内河川レンジャー事務局
- ・事務担当(社)近畿建設協会 名張支所内
- 〒518-0713 名張市平尾 2980-26 名張不動産ビル 3 階
- TEL : 0595-62-0476 (平日 AM10:00～PM5:00)
- FAX : 0595-62-0477
- ・国土交通省 木津川上流河川事務所 管理課
- TEL 0595-63-1611(代表)
- ※土日祝日の電話・窓口対応は行っていません。



名張市旧細川邸やなせ宿

【住所】
三重県名張市新町 136

【会場までのアクセス】
●近鉄名張駅下車
西に徒歩約 14 分

※駐車場に限りがありますのでできるだけ公共交通機関をご利用下さい。

活動No	H23-13	実施河川レンジャー	西田河川レンジャー
活動名	久米川(木津川)クリーンウォーキング		
実施日	平成24年3月3日(土) 9:00~12:00		
実施場所	芝床橋~大坪橋の間		
活動目的	久米川の河川クリーンウォーキングおよび久米川堤防の安全点検		
参加者	久米部消防団 (10名)		
活動内容	<p>指定場所集合 9:00</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防団員と西田レンジャーは久米地区市民センター9:00集合・・・1班 ・西、廣岡、溝延レンジャーは伊賀県民センターに9:00集合・・・2班 <hr/> <p>作業地点に移動、クリーンウォーキングおよび堤防の安全点検 9:15~11:00</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1班は大坪橋から八幡樋門に向けて両岸堤防を下る。(芝床橋下流はゴミ捨て場となり清掃割当班無し)消防団員にて清掃し、堤防の安全点検を行った。 ・2班は桑町橋より右岸堤防付近を上流に向けて住民に混じり清掃した。 <hr/> <p>集合場所へ撤収 11:00~12:00</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ回収車に分別ゴミを積み込み、集合場所に戻り掃除用具の返却、参加者にアンケートの記入、解散 		
講師	なし		
感想考察	<p>◆活動全般について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防団員の活動範囲が長く、集合場所に戻った時には地区住民は早く終了して誰もいなかった。 ・清掃前と清掃後では雲泥の差があり、随分きれいになった。 ・動員参加で形式的に歩いている所も見られたが、消防団員の方々は隅々まで丁寧に収集していたのが印象的。 ・活動の目的の一つである堤防法面の安全点検の項目は雑草の多い時期のため、細かい箇所の確認が難しく、堤防の草刈り完了直後が理想である。 		

- ※今回初めての企画のため問題点に気付かなかった。次回からこれらの経験を参考に、日時・内容・参加団体募集方法等、綿密に計画をしたい。
- ※今回依頼した団体は地域の行事であるため参加に対して非常に協力的であったが、結果、団体独自の行事と重複することになり参加を得られなかった。
中でも消防団員は連日の環境整備出動になるのに快く参加下さった。

◆活動目的の達成状況について(参加者意見等より)

- ・消防団員という特別団体の参加で与えられた任務に対し、忠実に完璧に近い状態で活動された。
- ・ゴミが多く川が汚い、定期的な掃除が必要。
- ・ゴミのないきれいな川にして子供たちの遊べる川、つりができ、泳げるきれいな川にしてほしい。
- ・流域の人たちへ、川に油や汚い物を流さないように警告が必要。
- ・好天の中ゴミ拾いの活動ができ、川がきれいになるという有意義な時間が過ごせた。

平素何気なく見ている久米川の汚れの状態を、ゴミの量の多さとヘドロの堆積で、再認識した。あらためて河川環境の大切さを考える機会となり、今後も定期的にこのような活動を続けていかなければならないと思った。今回は、伊賀市や地元自治会とタイアップして実施できたので、地域の方々に「河川レンジャー」を知っていただく機会となったと考える。

「毎年3月第1週」と慣習化された行事であるので、次回はレンジャー活動としても一般募集を行い、久米川下流の範囲を実施する、など流域がつながるような内容の検討が必要と感じた。今後も継続して、自治会に活動の協力依頼を行い、地域連携をふまえた活動を進めていきたい。

◆活動運営状況について(要員間の連絡体制や安全管理体制の評価)

- ・1班と2班の清掃範囲と内容が異なるため、終了時間が一緒にならず、2班のレンジャーさんには1班撤収まで長い時間待っていただいた。
- ・要員間の連絡体制については何ら支障なく行え、消防団は軽車両にて作業に同行しサポートしてくれた。
- ・作業行程中の下水口のヘドロが滑り、水辺は泥沼で危険、堤防の草・いばら・ススキが一面に生え、歩行に困難があったが事故無く完了できた。
- ・消防団員には早い段階より参加依頼をしたが、翌日4日は伊賀市全体で出身地域の町内清掃活動が予定されていたこと、土曜日出勤者や他の行事とバッティングして参加された団員は定員の半数になった。
- ・高校生の参加は学校側が協力的に参加要請をしていただいたが、当日は期末考査中と土曜日が重なり、参加者が集まらなかった。来年はいずれも違った方法での募集を検討する必要がある。

回答者数 : 10名

○活動は楽しかったか？

すごく楽しかった(2) 楽しかった(8)

○活動時間はどうだったか？

ちょうど良かった(8) 長かった(2)

○活動に参加して「川」に興味や関心を持ったか？

はい(9) いいえ(1)

- 川についてもっと知りたいと思ったか？
すごく知りたいと思った(2) 知りたいと思った(7) 思わなかった(1)
- 活動に参加しての感想や意見は？
- ・もっと、久米川の流域をきれいにしていきたい。
 - ・好天の中、時間をかけてゴミ拾いを行い、有意義な時間が過ごせた。
 - ・清掃したかいがあった。
- 今までに「川」に関する活動や学習会に参加したことがあるか？
はい(0) いいえ(10)
- 今までに「河川レンジャー」の活動に参加した事があるか？
はい(0) いいえ(10)
- 今後、参加してみたい活動や勉強会は？
か-体験(4) 川下り(3) 防災学習(2) 水生生物調査(2) 歴史・文化学習(2)
ウォーキング(1)
- 『川』について感じていることや思っていることは？
- ・ゴミが多い
 - ・釣りができる
 - ・きれいな川と汚ない川の差が激しいと思う。
 - ・ゴミが多く、草刈等も定期的に必要と思う。
 - ・橋の下にゴミが多い。
 - ・危険・ゴミが多い。
 - ・不法投棄が多い。
- どんな「川」になったらいいと思うか？
- ・子ども達が遊べる川になってほしい。 ・安全な川 ・遊べる川
 - ・ゴミのない川 ・ゴミ拾いの必要のない川 ・きれいな川
 - ・僕らの世代から見て、小さい子供さんが安心して遊べる川になったらいいと思う。
 - ・釣りのできる川
- きれいな「川」にするためにみんなができることは？
- ・ゴミ拾い ・ゴミをほかさない
 - ・油を流さない
 - ・川にきたない水を流さない
 - ・ゴミ拾いだけでなく伊賀市(上野)の下水整備なぜ進まないのか市民への説明を求む
- 多くの方に活動に参加してもらうために、どのような広報を希望するか？
- ・学校へチラシの配布
 - ・企業の参加
 - ・YOUに載せる。
 - ・市民センター等の掲示板での活動内容の掲示。
 - ・広報「いが市」でPR
 - ・もっと久米川流域の人々にアピールしてほしい。

活動状況

団員集合状況



主催者挨拶状況



収集作業状況



収集作業状況



堤防異状状況(作業中に確認)



堤防異状状況(作業中に確認)



土砂堆積状況(作業中に確認)



土砂堆積状況(作業中に確認)



※伊賀市消防団への案内

久米川クリーンウォーキング

参加者募集

ウオーキング

日時：3月3日(土)
9時集合

場所：伊賀県民局
庁舎玄関前

※金バサミをご持参下さい

少雨決行

河川を
きれいに
しよう

主催 久米川流域生活排水対策推進協議会
共催 木津川上流管内河川レンジャー

<http://www.jcl.ne.jp/~kk60>

活動No	H23-外 ※年間活動計画外	実施河川レンジャー	西・廣岡・溝延河川レンジャー
活動名	やなせ祭り (やなせ宿主催・河川レンジャー協力活動)		
実施日	平成23年6月4日(土) 9:00～17:00		
実施場所	名張市旧細川邸やなせ宿 名張川河川敷		
活動目的	やなせ宿主催の「やなせ祭り」に協力参加し、"名張川に生息する生き物にふれましょう!!"をテーマに開催される「名張川ウォッチング(水生生物調査)」の運営スタッフとして、親子で川に親しんでもらい、名張川的环境や水質を知ってもらうとともに、これからの名張川をどのようにしたらいいか考えていく機会とする。 また、同イベント内にて河川レンジャー活動のPRも行う。		
参加者	名張川ウォッチングの参加者：19名（大人6名、子供13名）		
活動内容	①名張川ウォッチング！！ 9:00～12:00 川に親しんでもらうキッカケとして、魚クイズやペットボトルで「もんどり(魚のしかけ)」の工作を行い、実際に名張川に仕掛けを行った。また、名張川新町橋付近で水生生物調査を行い、名張川的环境や水質についての学習を行った。		
	②やなせ祭り 12:00～17:00 河川レンジャー活動のPRとして、やなせ祭り参加者に「河川レンジャーについて」や「今までの河川レンジャー活動」の説明等を行った。		
講師	なし		
感想考察	やなせ宿からの協力要請で参加させていただきましたが、近隣の子ども達の参加もあり、水生生物の観察での川との触れ合いもでき、有意義な活動になったと思います。 ペットボトルでの工作は、親子で協力している姿もあり参加してくれた親子にとっても楽しい時間を過ごしてもらえたと思います。 やなせ宿との協力体制は河川レンジャーの活動を進めていく上で必要な連携と考えられ、今後も協力し合いながら、市民の皆さんの川との触れ合いの機会を増やしていきたいと考えます。		

活動状況

魚クイズ



ペットボトルで魚の仕掛け工作



ペットボトルで魚の仕掛け工作



ライフジャケットの準備



水生生物調査



水生生物調査



水生生物調査



河川レンジャー活動のPR



名張市旧細川邸やなせ宿
 おかげさまで3周年

やなせ祭り

陶芸市
 やなせ市
 名張川ウォッチング
 フリーマーケット
 ライブコンサート
 樽太鼓演奏
 模擬店

6月4日(土)・5日(日)
 午前9:00~午後5:00

6月4日(土)

- 陶芸・陶器の展示
- やなせテント市
 (野菜・花苗・若
 フリーマーケット)
- 模擬店
 (豆腐田楽・焼き
 赤飯・手作りお
 アイスクリーム)
- ワンデイレストア
 (レストランやな
 せ)
- 河川レンジャー展
 (国土交通省近畿地方
 河川事務所)
- ライブコンサート
 (室生音楽の森コ
 ンサート)

両方共無料

- 金魚すくい
 午前11:30~

名張川ウォ
 ● 名張川親子
 午前9:30~

主催:まちなか運
 ※ やなせ宿駐車場は

名張川ウォッチング!!



主催 まちなか運営協議会
 名張市旧細川邸やなせ宿
 共催 キッズスクウェア

当協議会では

「名張川に生息する生物に触れましょう!!」をテーマに、
 やなせ祭りのイベントとして、川辺の生物学習及び親子交流会
 「やなせ宿名張川ウォッチング」を計画致しました。
 みなさんお誘いあわせのうえどしどしご参加ください!!



日 時:平成23年 6月4日(土)
 午前 9:30 集合 受付
 午前 10:00 中庭水槽前での魚の観察
 午前 10:30 名張川中州でのふれ合い観察会

集合場所:新町 「旧細川邸やなせ宿」

内 容:川辺での生物観察

講 師:竹中 淑博さん 河川レンジャーの皆さん

参 加 費:100円(保険料 等) 金魚すくい無料券進呈(子供さん限定)

募集人員:親子15組程度 小雨決行(晴天でも水流量により判断致します)

持 ち 物:タオル、着替え等、濡れても良い靴又はビーチサンダル、帽子
 動きやすい服装でご参加下さい。(観察用具はご用意します。)

川に入りますので、濡れても良い服装でお越し下さい。

最終〆切:平成23年 6月1日(水曜日) 保護者同伴をお願いします。

お車でお越しの方は、

当日やなせ祭りイベントの為、やなせ宿駐車場はご利用いただけません。

イオン名張店・愛宕神社(新町橋付近)をご利用下さい。

※ 参加申し込み・お問い合わせの方は
 やなせ宿【電話 62-7760】までお願いします。

きりとりせん

「名張川ウォッチング」 参加申込

保護者同伴でご参加下さい。

保護者

お名前

年齢

才

お電話番号

ご住所

子供お名前

年齢

才

子供お名前

年齢

才

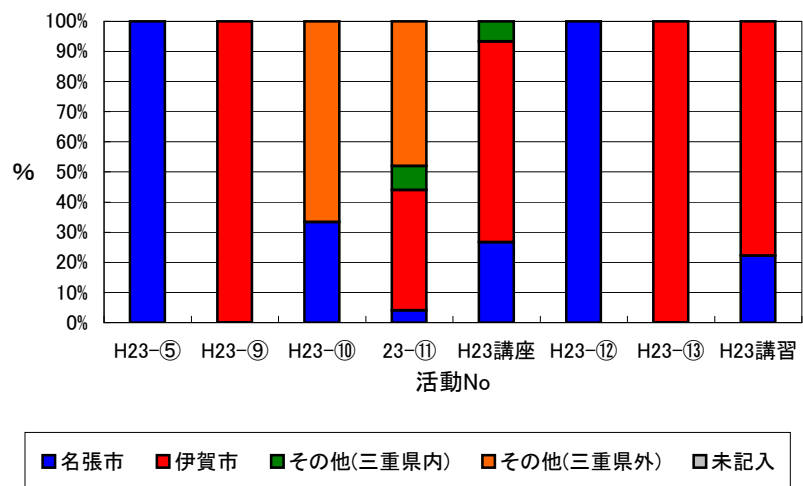
平成23年度 木津川上流管内河川レンジャー活動・講座等 アンケート集計結果

調査項目	回答	活動No								合計
		H23-⑤	H23-⑨	H23-⑩	23-⑪	H23講座	H23-⑫	H23-⑬	H23講習	
		名張川 ウォーキング・ パートウォッチ ング&ビオト プ生物確認	新居小学 校における、遊水 地・樋門見 学と防災 学習	岩倉峽散 策と歴史・ 文化学習	上野遊水 地見学と 食文化学 習	木津川上 流発見講 座	「川遊び」 学習会	久米川(木 津川)クリ ンウォーキ ング	簡易水質 調査・応 急手当講 習会	
参加者数		5	42	10	44	15	9	10	12	147
回答者数		5	37	9	25	15	5	10	9	115
回答率(%)		100.0	88.0	90.0	56.8	100.0	55.5	100.0	75.0	78.2
住まい	名張市	5	0	3	1	4	5	0	2	20
	伊賀市	0	37	0	10	10	0	10	7	74
	その他(三重県内)	0	0	0	2	1	0	0	0	3
	その他(三重県外)	0	0	6	12	0	0	0	0	18
	未記入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	5	37	9	25	15	5	10	9	115
性別	男性	3	16	3	11	14	3	10	3	63
	女性	2	21	6	14	1	2	0	6	52
	未記入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	5	37	9	25	15	5	10	9	115
年齢	～9	0	0	1	2	0	2	0	1	6
	10～19	0	37	2	8	0	1	0	2	50
	20～29	0	0	0	1	0	0	1	0	2
	30～39	0	0	2	2	0	2	6	1	13
	40～49	0	0	1	3	1	0	2	0	7
	50～59	0	0	0	2	4	0	1	2	9
	60～69	3	0	2	3	6	0	0	1	15
	70～	2	0	1	4	4	0	0	2	13
未記入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	5	37	9	25	15	5	10	9	115
活動をどこで知ったか	チラシで知った	1	0	0	3	6	5	0	1	16
	HPで知った	0	0	0	1	2	0	0	0	3
	知人に聞いた	2	0	2	11	3	0	1	2	21
	やなせ宿で知った	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	広報誌	0	0	0	0	3	0	0	0	3
	事務局からの案内	2	0	7	2	0	0	0	4	15
	レンジャーからの案内	0	0	0	3	0	0	7	0	10
	学校教育プログラム	0	37	0	0	0	0	0	0	37
	その他	0	0	0	3	1	0	2	1	7
未記入	0	0	0	2	0	0	0	1	3	
	小計	5	37	9	25	15	5	10	9	115
活動は楽しかったか	すごく楽しかった	2	12	7	11		4	2		38
	楽しかった	3	24	2	14		1	8		52
	つまらなかった	0	1	0	0		0	0		1
	未記入	0	0	0	0		0	0		0
	小計	5	37	9	25		5	10		91
活動時間	ちょうど良かった	5	18	8	17		3	8		59
	長かった	0	2	0	8		1	2		13
	短かった	0	17	1	0		1	0		19
	未記入	0	0	0	0		0	0		0
	小計	5	37	9	25		5	10		91
「川」に興味や関心を持ったか	はい	5	30	9	23	12	5	9	8	101
	いいえ	0	7	0	2	0	0	1	0	10
	未記入	0	0	0	0	3	0	0	1	4
	小計	5	37	9	25	15	5	10	9	115
「川」についてもっと知りたいと思ったか	すごく知りたいと思った	3	7	7	16	9	2	2	6	52
	知りたいと思った	2	29	2	5	3	3	7	1	52
	思わなかった	0	1	0	3	0	0	1	0	5
	未記入	0	0	0	1	3	0	0	2	6
	小計	5	37	9	25	15	5	10	9	115
「川」に関する活動や学習会に参加したことがあるか	はい	3	5	7	17	4	1	0	4	41
	いいえ	2	32	2	8	8	4	10	3	69
	未記入	0	0	0	0	3	0	0	2	5
	小計	5	37	9	25	15	5	10	9	115
河川レンジャー活動に参加したことがあるか	はい	3	1	7	20	3	0	0	3	37
	いいえ	2	35	2	5	10	5	10	4	73
	未記入	0	1	0	0	2	0	0	2	5
	小計	5	37	9	25	15	5	10	9	115

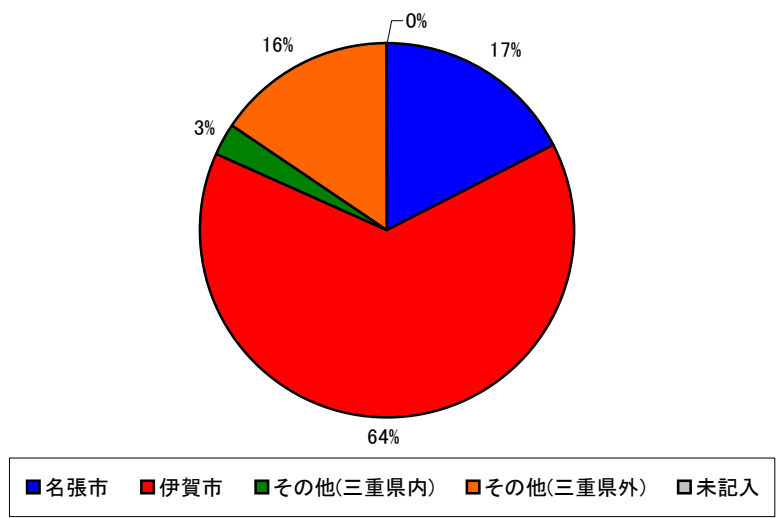
平成23年度 木津川上流管内河川レンジャー活動・講座等 アンケート集計結果

調査項目	回答	活動No								合計
		H23-⑤	H23-⑨	H23-⑩	23-⑪	H23講座	H23-⑫	H23-⑬	H23講習	
		名張川 ウォーキング・ パドウォッチ ング&ビトー プ生物確認	新居小学 校における、遊水 地・樋門見 学と防災 学習	岩倉峽散 策と歴史・ 文化学習	上野遊水 地見学と 食文化学 習	木津川上 流発見講 座	「川遊び」 学習会	久米川(木 津川)クリ ンウォー キング	簡易水質 調査・応 急手当講 習会	
参加してみたい活動や学習会	水生生物調査	2	18	5	7	5	2	2	5	46
	川下り	1	23	6	17	4	3	3	2	59
	カヌー体験	0	28	7	10	3	2	4	3	57
	野鳥観察会	3	11	5	5	6	1	0	3	34
	ウォーキング	4	7	4	7	4	1	1	1	29
	防災学習	1	7	2	9	6	0	2	2	29
	歴史・文化学習	0	6	2	9	6	1	2	3	29
	自然学習	1	23	5	8	6	3	0	4	50
その他	0	1	1	2	0	0	0	0	4	
	小計	12	124	37	74	40	13	14	23	337
「川」について感じていることや思っていること	きれい	1	6	1	4	1	1	1	0	15
	きれいになりたい	0	4	0	1	0	0	0	0	5
	楽しい	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	危険・恐い	0	12	1	0	0	1	1	1	16
	遊びたい・親しみたい	0	11	4	5	0	1	0	0	21
	ゴミが多い・汚い	0	11	2	7	4	1	8	3	36
	その他	1	0	2	6	2	1	1	0	13
	要望	1	5	0	4	4	0	1	0	15
	小計	3	50	10	27	11	5	12	4	122
どんな「川」になったらいいと思うか	きれいな川	1	24	2	10	1	2	1	2	43
	泳げる川	1	13	6	5	3	0	2	1	31
	遊べる川・楽しめる川	0	4	0	3	4	1	4	0	16
	安全・安心な川	0	15	5	7	2	2	3	1	35
	ゴミのない川	0	13	2	7	0	0	3	0	25
	生き物がたくさんいる川	0	4	3	3	2	1	0	1	14
	その他	0	0	0	1	1	0	0	0	2
	要望	2	0	0	3	0	0	0	0	5
	小計	4	73	18	39	13	6	13	5	171
きれいな「川」にするためにみんなができること	ゴミを捨てない	1	10	1	5	1	0	5	0	23
	ゴミ拾い	2	19	4	9	3	2	5	1	45
	生き物を大切に	0	10	2	3	0	1	0	0	16
	汚い水を流さない	1	12	4	10	4	1	2	3	37
	注意喚起	0	1	1	1	0	0	0	0	3
	その他	0	2	1	8	4	1	0	0	16
	要望	0	0	0	0	0	0	1	0	1
		小計	4	54	13	36	12	5	13	4
どのような広報を希望するか	他の催しでチラシ配布	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	口コミ	1	0	0	1	0	0	0	0	2
	学校にチラシ配布	0	8	1	4	0	1	1	0	15
	ポスターの掲示	0	6	0	0	0	0	1	0	7
	テレビCM	0	4	0	0	0	0	0	0	4
	広報誌への掲載	1	0	0	0	0	0	2	0	3
	チラシ配布	0	9	0	0	0	0	0	0	9
	新聞	0	1	0	1	0	0	0	0	2
その他	0	3	2	4	0	1	2	0	12	
	小計	2	31	3	11	0	2	6	0	55

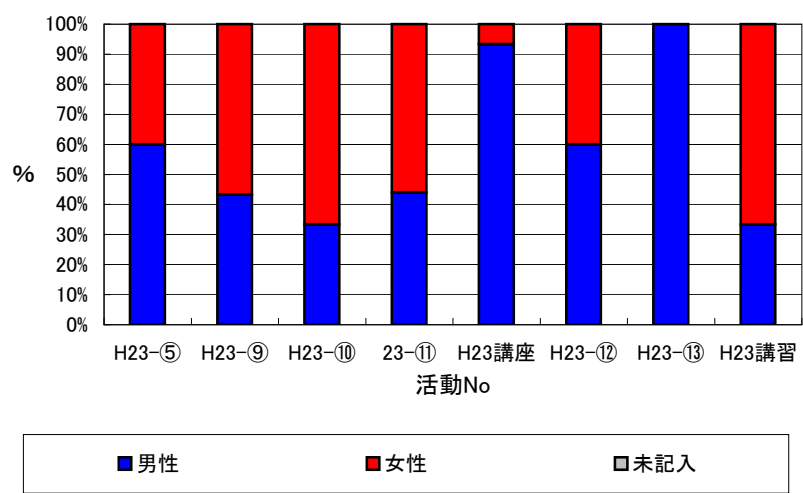
住まい



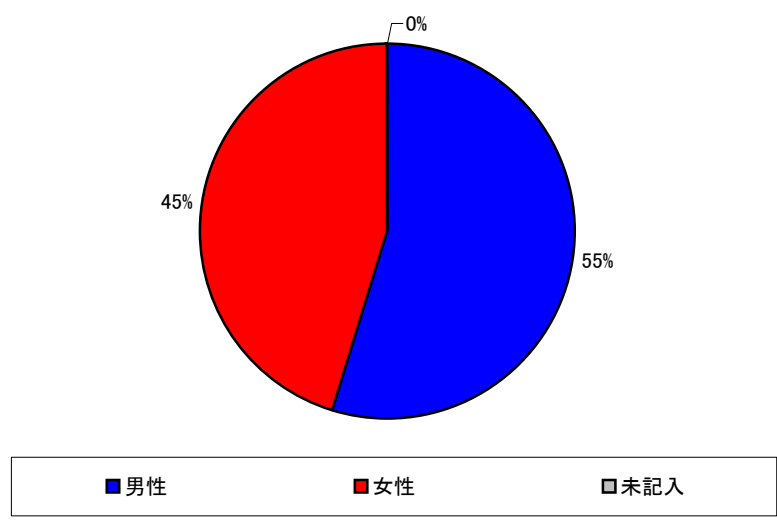
住まい【全体】



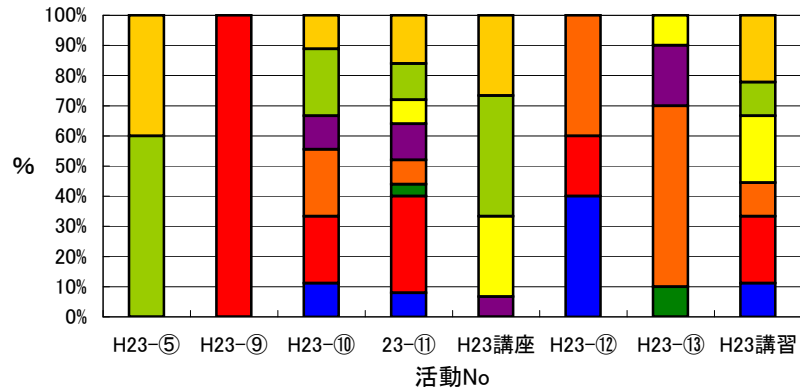
性別



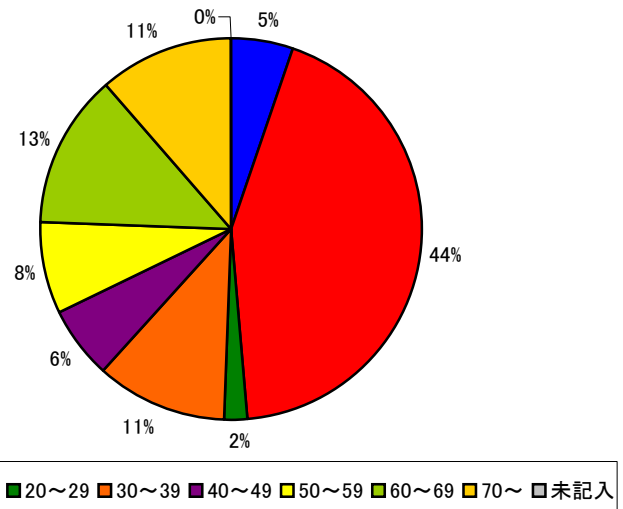
性別【全体】



年齢

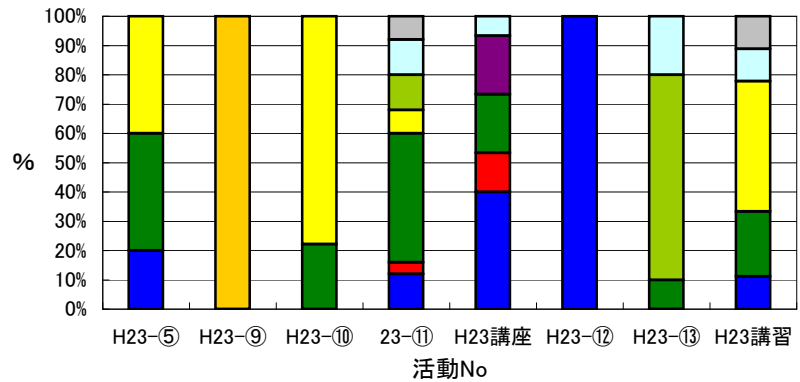


年齢【全体】

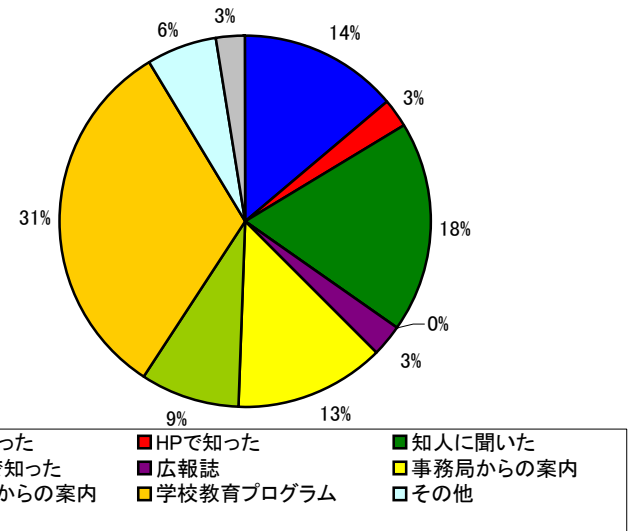


4

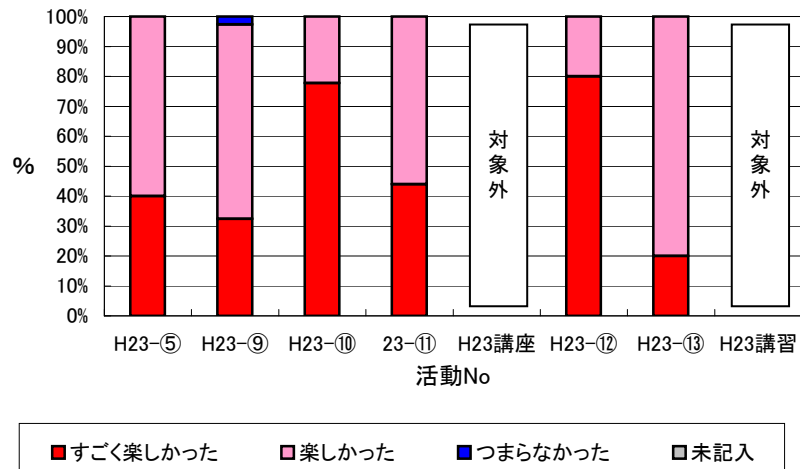
活動をどこで知ったか



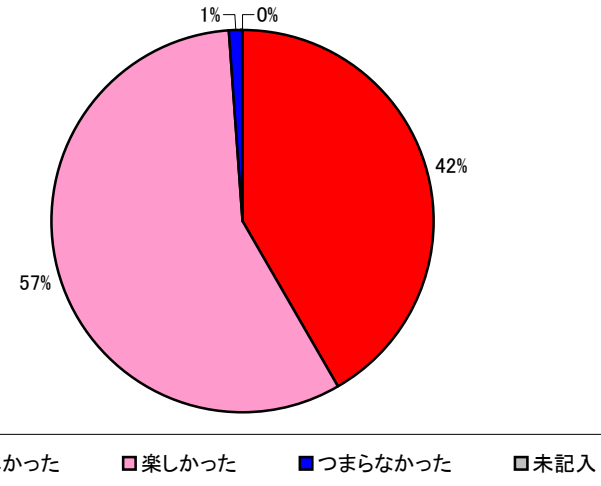
活動をどこで知ったか【全体】



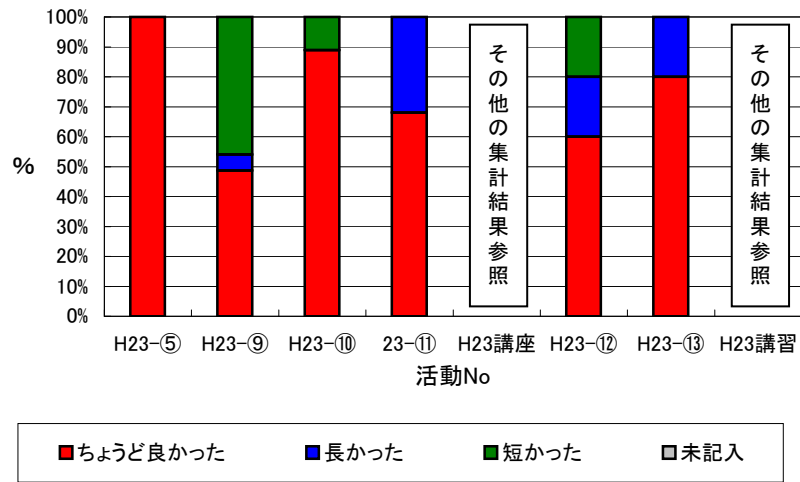
活動は楽しかったか



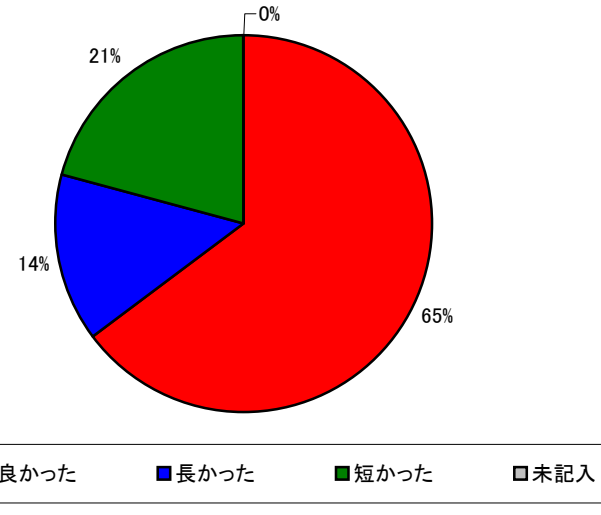
活動は楽しかったか【全体】



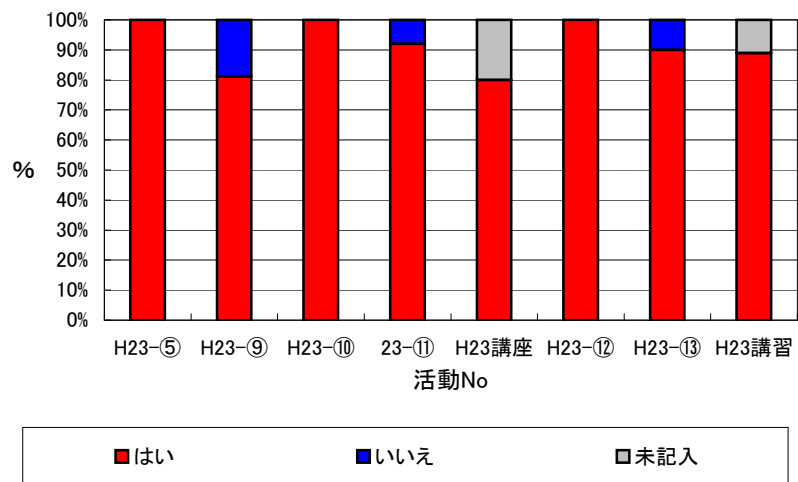
活動時間はどうか



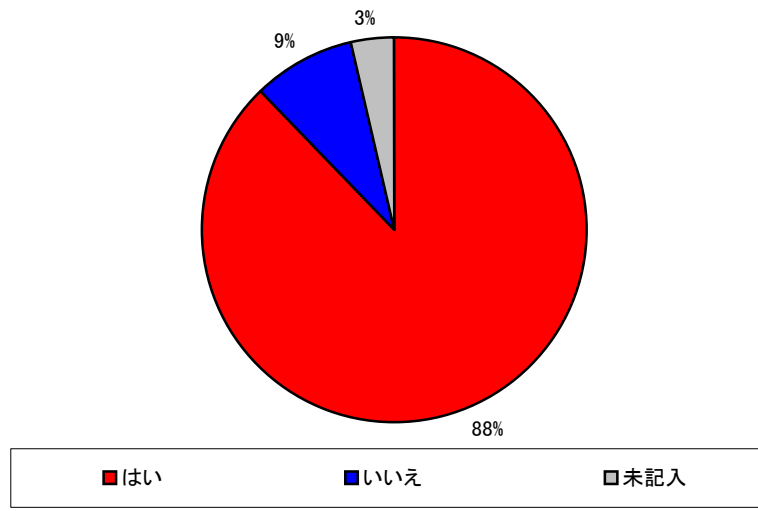
活動時間はどうか【全体】



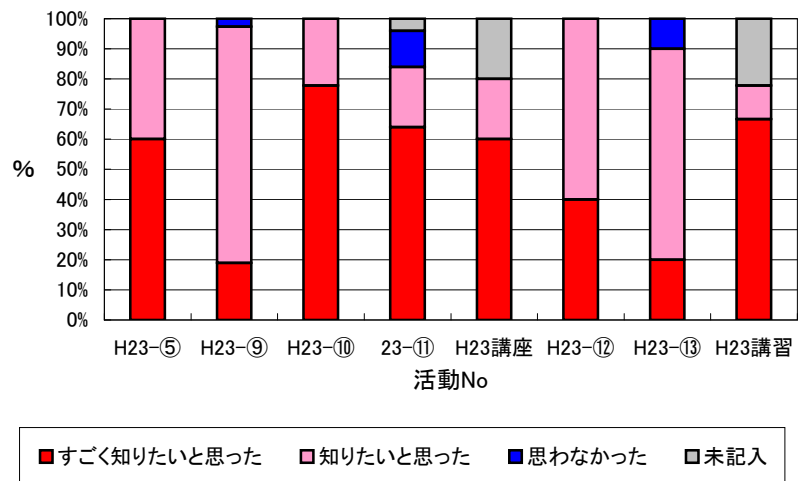
「川」に興味や関心を持ったか



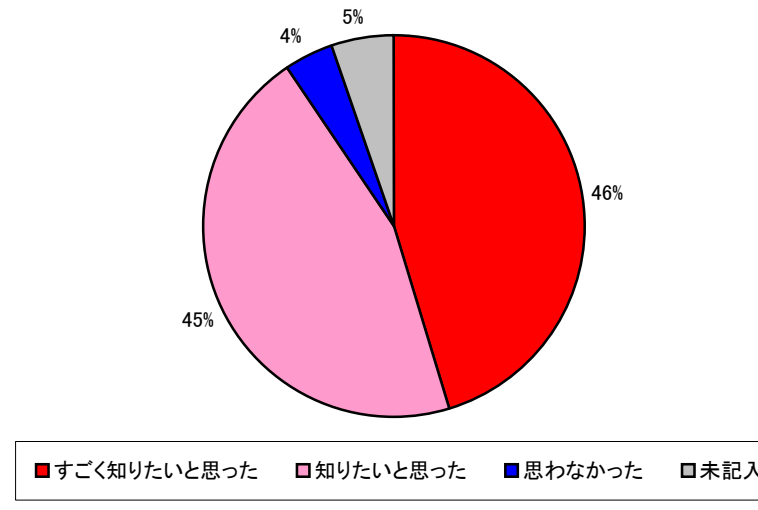
「川」に興味や関心を持ったか【全体】



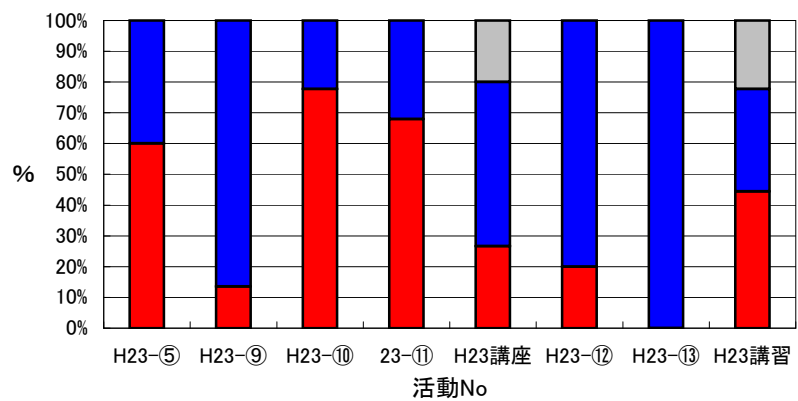
「川」についてもっと知りたいと思ったか



「川」についてもっと知りたいと思ったか【全体】

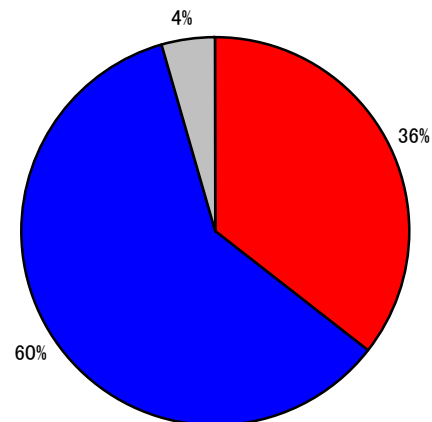


「川」に関する活動や学習会に参加したことがあるか



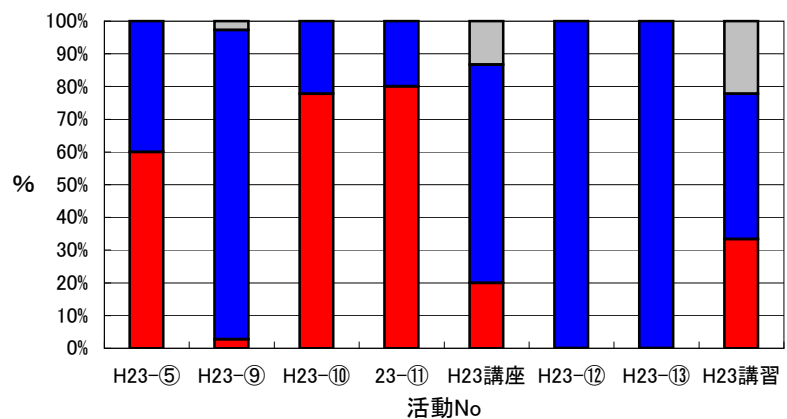
■ はい ■ いいえ □ 未記入

「川」に関する活動や学習会に参加したことがあるか【全体】



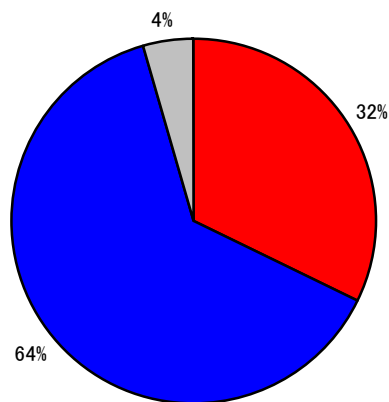
■ はい ■ いいえ □ 未記入

河川レンジャー活動に参加したことがあるか



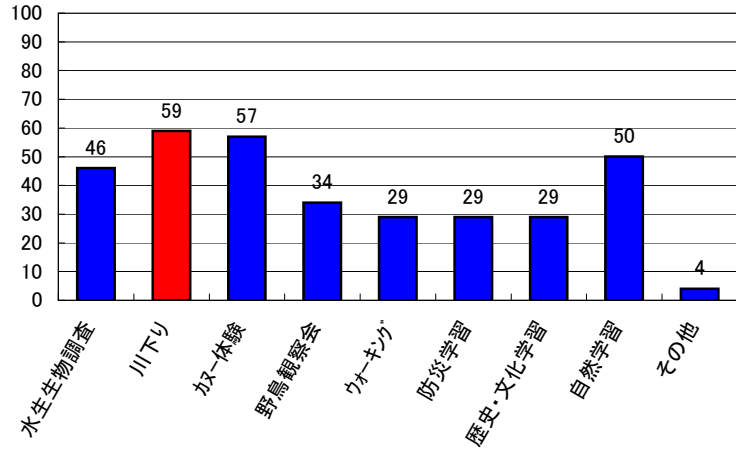
■ はい ■ いいえ □ 未記入

河川レンジャー活動に参加したことがあるか【全体】

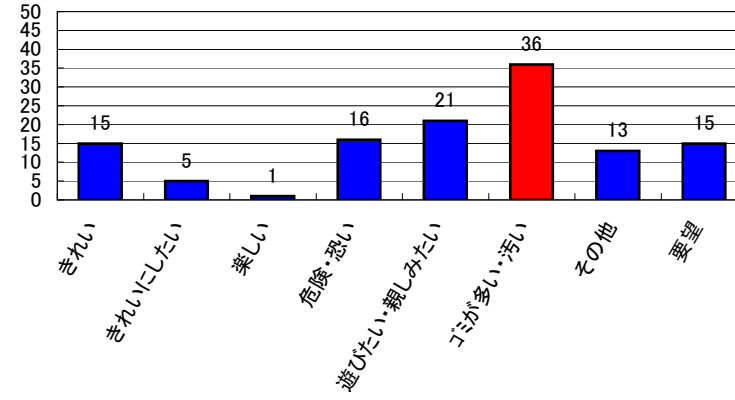


■ はい ■ いいえ □ 未記入

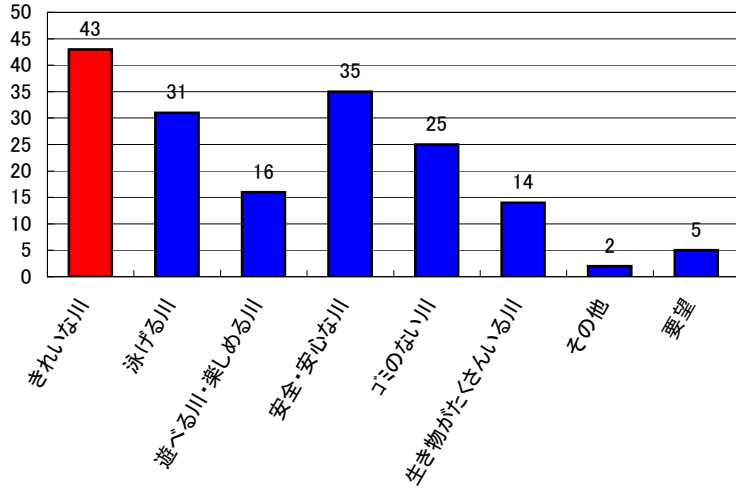
参加してみたい活動や学習会【全体】



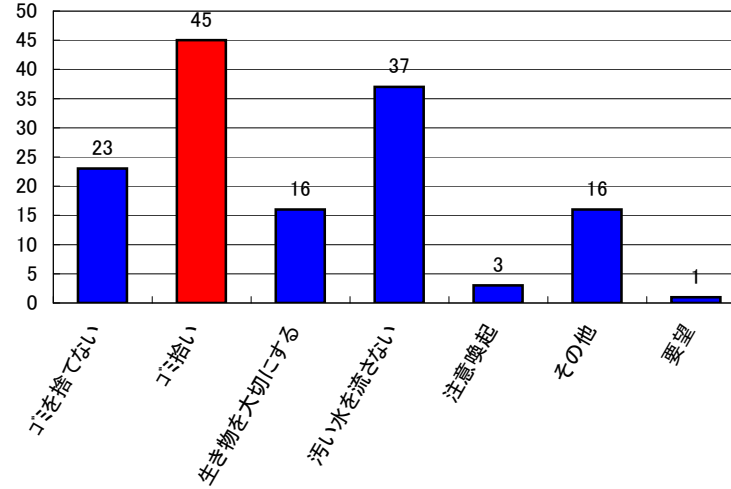
「川」について感じていることや思っていること【全体】



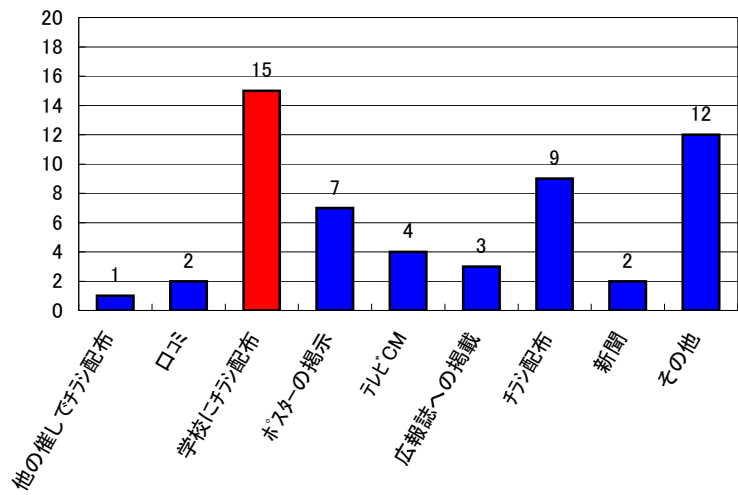
どんな「川」になったらいいと思うか【全体】



きれいな「川」にするためにみんなができること【全体】

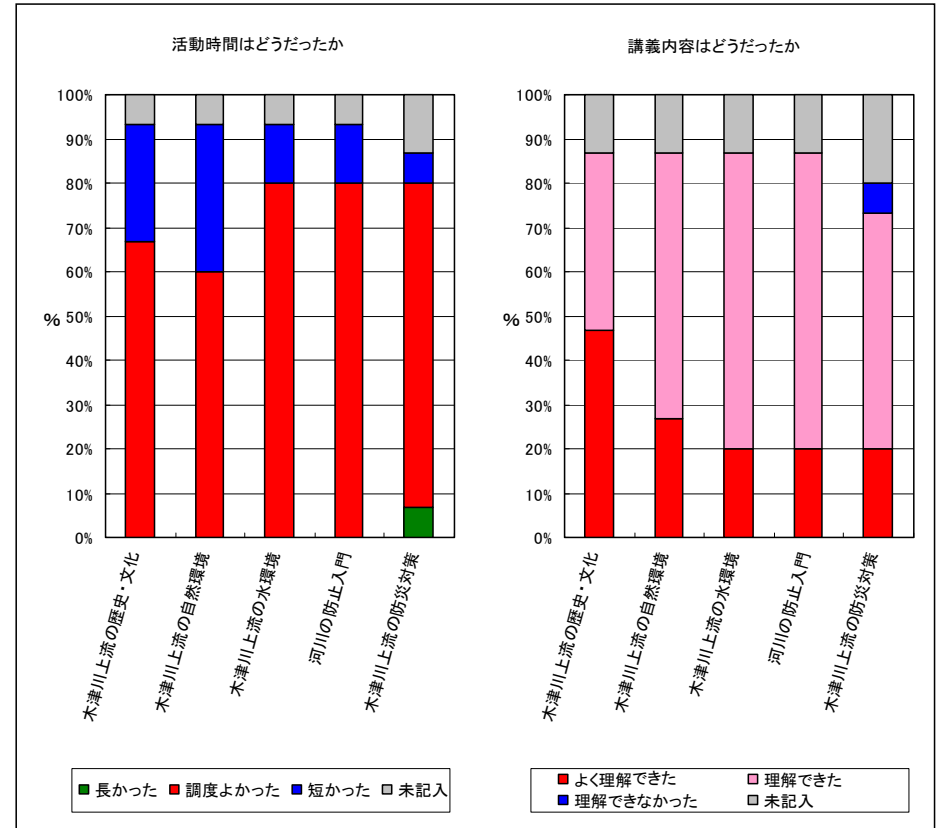
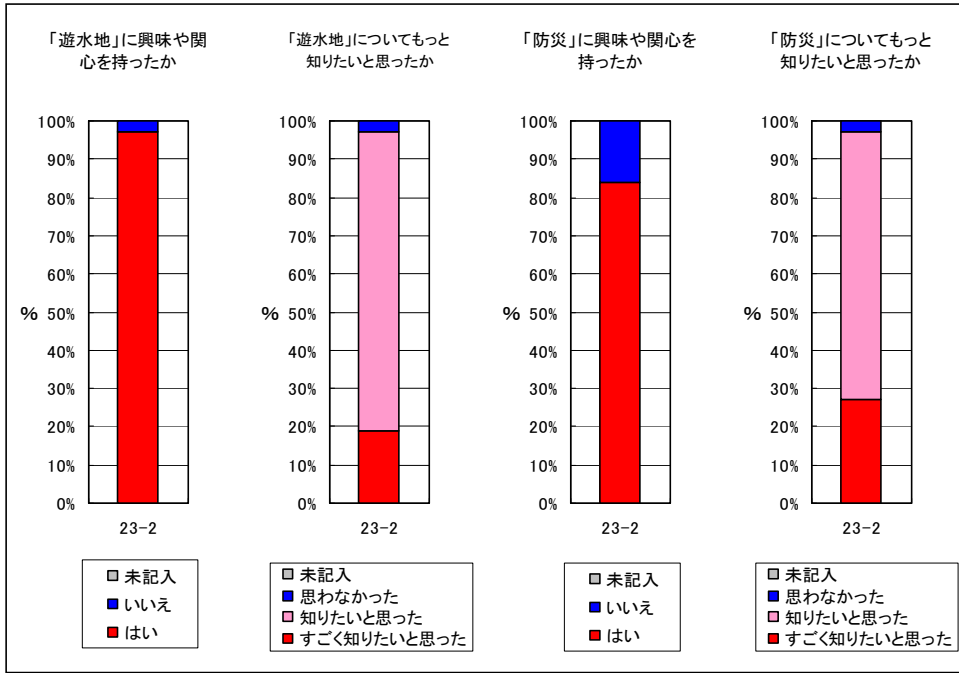


どのような広報を希望するか【全体】

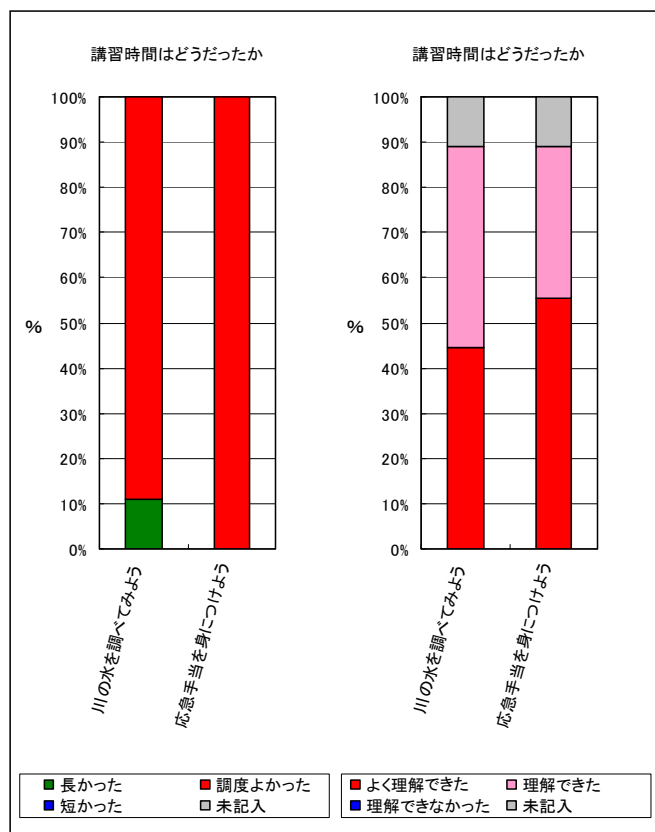


その他の集計結果①
(H23-⑨)「新居小学校における、遊水地・樋門見学と防災学習」

その他の集計結果②
(H23講座)「木津川上流発見講座」



その他の集計結果③
 (H23講習)「簡易水質調査と応急手当講習会」



活動No	回答No	活動に参加しての感想や意見
H23-⑤	1-1	いつも通っている所ですがよく見ると色々楽しく以外にびっくりすることが多かった。
H23-⑤	1-4	色々楽しかったです。
H23-⑤	1-6	時間帯をかんがえる、もうすこし早くてもよい
H23-⑨	2-1	ハットリやタカクラや水をつかって実験して、たのしかった。
H23-⑨	2-2	ぼくがしらないところがよくわかりました。
H23-⑨	2-3	もうちょっとしりたかった。だけどぼくがわからないことをして、たのしかった。
H23-⑨	2-4	大雨や洪水になったら遊水地の人は大変だと思いました。白いこな茶のこなで色が変わるのがおもしろかったです。
H23-⑨	2-5	遊水地について、パックテストをして、色が変わるとは、思ってなかったです。でもなかに、こなが入っていました。またいきたいです。
H23-⑨	2-6	小田陸圃は思ったよりすごく高かった。
H23-⑨	2-7	おもしろかった、たのしかった、パックテストの色が変わるのがおもしろかった
H23-⑨	2-8	川とかに興味をもたなかったけど、パックテストとかいろいろできて楽しかったです。またいろいろおしえてほしいです。
H23-⑨	2-9	こんどはバスの中で説明してもらったひ門を登りたいです。
H23-⑨	2-10	遊水地とかいろんなことをおしえてくれてべんきょうになりました。
H23-⑨	2-11	監視操作室に入ったらすごかったです。
H23-⑨	2-12	ぼくは、もうちょっとしりたかった
H23-⑨	2-13	川の水をパックテストしたらまだきれいだった
H23-⑨	2-14	パックテストがたのしかった。
H23-⑨	2-15	水門にのぼってたのしかった。
H23-⑨	2-16	川がきけんだということがわかった
H23-⑨	2-17	川はパックテストをしてきれいかよごれているかを見ているなんて知りませんでした。
H23-⑨	2-18	いつもは行けない所に行けたのがうれしかったです。説明も聞きやすかったです。パックテストも初めてやって、伊賀の水がきれいということがわかった。小田陸圃にのぼったのが特に楽しかったです。
H23-⑨	2-19	資料室でお話を聞いて、遊水地って？と思っていたけどとても分かりやすい説明でとても良かったです。今までなんだ？と思っていた水門の中に入ったり、説明を聞いて興味がわきました。
H23-⑨	2-20	PH・CODの白いこな、茶色のこなと水で色が変わるのに興味をもった。川にどんな生物がいるのか、教えてほしい。
H23-⑨	2-21	川のパックテストをもっと色々な川で調べたいと思った。いつもは入れない陸圃の中に入れてうれしかった。
H23-⑨	2-22	遊水地がなんであるのかわかって、とつてもたのしかった
H23-⑨	2-23	時間は短かったけどよくわかった。
H23-⑨	2-24	パックテストもやってくれたしふつうはいけない小田陸圃にも入らせてくれてよかった。
H23-⑨	2-25	パックテストで伊賀じゅうの川をしらべてみたいと思いました。
H23-⑨	2-26	とても楽しかったです。川の関心も大きくなつたし説明してくれた人の話もわかりやすかったです。また行きたいです。
H23-⑨	2-27	パックテストを使って川の水がきたないかどうかを調べて、川の水が、きれいな方だと分かったので、よかったです。
H23-⑨	2-28	遊水地のことなどがわかった。パックテストをしたとき川のきれいさがわかつたし、楽しかった。
H23-⑨	2-29	わたしは、川や、遊水地にはあまりきょうみがなかつたけれど少しきょうみ、関心を持ってました。
H23-⑨	2-30	まちがいがたくさんあつたけどみなさんがやさしく教えてくれてまたできるきかいがあればしたいです。
H23-⑨	2-31	樋門下げるところ見てみたい。
H23-⑨	2-32	水門を見て話を聞いていろいろなことがわかった。
H23-⑨	2-33	楽しかつたし、わからないのもよくわかつた。
H23-⑨	2-34	パックテストでの実験が楽しかつた。
H23-⑨	2-35	すごくわかりやすくて、いろいろなところに回つて楽しかつた。
H23-⑨	2-36	川とかあまり興味がなかつたけど、パックテストはものすごくおもしろかつたし、たのしかったです。
H23-⑨	2-37	パックテストで水の色がかわつてすごかつた。
H23-⑩	3-1	今後もボチボチ参加する。
H23-⑩	3-3	いろいろな形の石がみれて良かつたです。
H23-⑩	3-4	いろいろ岩にも種類があるんだな～と思いました。
H23-⑩	3-5	さすが上流だけあつて大きな石がごろごろあり、眺めが良かつたです。色々とお勉強させて頂きました。
H23-⑩	3-6	川と歴史や文化のつながりが学べてよかつた。
H23-⑩	3-7	どんぐりがひろえた。とつてもたのしかったです。
H23-⑩	3-8	気楽に楽しめました。川の現況に興味があつたので良かつたです。
H23-⑩	3-9	中平先生の楽しいお話を風景を見ながら歴史を学べた事 良かつたです。
H23-⑪	4-1	娘が本当に楽しそうで、その姿を見て、うれしかったです。
H23-⑪	4-2	遊水地についてよく分かつたし、昼に食べたナマズや魚のからあげや味するはすごくおいしかったです。ありがとうございます！！
H23-⑪	4-3	木津川下流の活動報告 大変すばらかつたです。(上流も頑張りましょう)
H23-⑪	4-5	大人のしつもんいみわからん、お話が長かつたです！
H23-⑪	4-6	水に入るのはたのしかったですし、いろいろな魚をみれてよかつたけど質問タイムのとき、大人の質問がでてよくわからなかつた。
H23-⑪	4-7	水をきれいにしないといけないと思いました。日々汚れた水を流さない様に気をつけたいと思います。
H23-⑪	4-8	大変勉強になりました

活動No	回答No	活動に参加しての感想や意見
H23-⑪	4-9	普段通っていた川を詳しく観察等した事がなかったので水生生物が沢山いるのにビックリした私達に出来る事はなにか?!何気なく流していた物についてとても反省しています。水生生物が住める環境を作っていかなければならないと思いました
H23-⑪	4-11	川の防災地震の歴史が知りたい。
H23-⑪	4-12	川の中の生き物が分かってよかった。
H23-⑪	4-13	川の深い所とかがあることが分かった。
H23-⑪	4-14	すごくおもしろかったです。
H23-⑪	4-15	淀川管内では、魚を食べる活動はできないのですが、ナマズ、モロコの天ぷらおいしかったです。「食べる」ということも大切。「遊水地」の役目、下流の洪水を防ぐ効果もあり、上流の人達の工夫・努力に感謝しています。上流の水は、とてもきれい。川らしいなあと思いました。
H23-⑪	4-17	子どもが遊べる川辺空間がもっと多いと幸せなのに。
H23-⑪	4-18	フィールドを中心とした活動にしては？
H23-⑪	4-19	遊水地について知れてよかった！
H23-⑪	4-21	たのしかった。
H23-⑪	4-23	今日は大変有意義な活動になった事、感謝いたします。遊水地の意義や上流下流間の思いやりの心を講義いただき、感動しました。私が上野へ下流の人たち(特に子供)を学習に連れて行きたいと思った原点です。ありがとうございました。
H23-⑪	4-25	漠然としか知らなかった上流のことが、見聞きしたことでよく伝わった。下流は上流に“してもらわないといけない”立場。共存について、今後考え、実行していきたいと思いました。おいしいものをたくさんいただきました。ごちそうさまでした。お世話して下さい皆様ありがとうございました。
H23-⑫	6-1	魚のかんさつするアクリル板をつくって水をいれて水がもれなくてよかった。すごくきれいにできてよかったです。
H23-⑫	6-3	初めての経験で、細かい作業が意外で楽しかった。
H23-⑫	6-4	よかったです。またたいけんしたい。
H23-⑫	6-5	子供と一緒にやらせてもらって、とても良い時間でした。
H23-⑬	7-2	つかれた
H23-⑬	7-5	もっと、久米川の流域をきれいにしていきたい。
H23-⑬	7-6	好天の中、時間をかけてゴミ拾いを行ない、有意義な時間が過ごせた。
H23-⑬	7-7	清掃したかいがあった。

活動No	回答No	(木津川上流発見講座)「木津川上流の歴史・文化」についての感想や意見
H23講座	5-1	歴史と文化は現在を知る為には大変必要
H23講座	5-5	古墳時代からの流れ
H23講座	5-9	大変興味深い内容でした。
H23講座	5-14	“人”文化の流れの認識。もう少し時間がほしかった。

活動No	回答No	(木津川上流発見講座)「木津川上流の自然環境」についての感想や意見
H23講座	5-3	魚の話は楽しかった。植物の話もして欲しかった。
H23講座	5-5	有機物汚染について
H23講座	5-9	もっと詳しく知りたかった。水質評価。スイセイ生物。
H23講座	5-14	水質、数値とグラフでイメージをつかむのがむずかしい。よく説明していただき、なんとか理解。

活動No	回答No	(木津川上流発見講座)「木津川上流の水環境」についての感想や意見
H23講座	5-5	河床上昇からの低下には出来ないのですか
H23講座	5-9	降水の行方について、表面流出以外にも占める割合が多いことに大変おどろきました。
H23講座	5-14	森林とダムの効果100%防災はできない事がわかった。

活動No	回答No	(木津川上流発見講座)「河川の防災入門」についての感想や意見
H23講座	5-1	専門的な部分多く少し消化不良
H23講座	5-5	普段から心がける様にする
H23講座	5-9	ダムの洪水調節機能についてもっと詳しく知りたいと思いました。勉強しておきます。
H23講座	5-14	降水量の増加によって、防災のあり方は固定でない。

活動No	回答No	(木津川上流発見講座)「木津川上流の防災対策」についての感想や意見
H23講座	5-9	P14遊水地の諸元としくみの絵の中に排水門の扉をしめるタイミングが記録されておれば理解しやすいと思います。

活動No	回答No	(簡易水質調査・応急手当講習)「川の水を調べてみよう」についての感想や意見
H23講習	8-5	おもしろかった
H23講習	8-6	河川を良くする為に水を流す際は、汚れた水を流さない様に気を付けたいと思いました。

活動No	回答No	(簡易水質調査・応急手当講習会)「応急手当を身につけよう」についての感想や意見
H23講習	8-5	はずかしかった
H23講習	8-6	AEDは始めて見たので勉強になりました。

活動No	回答No	「川」について感じていることや思っていること
H23-⑤	1-2	川ペリにトイレ・駐車場を設置してもらいたい
H23-⑤	1-4	川のせせらぎ、滝
H23-⑤	1-5	きれい
H23-⑨	2-1	きゆうに川があふれてくるのが怖い。
H23-⑨	2-2	きれいでゴミのない川にしてほしい
H23-⑨	2-3	きれい
H23-⑨	2-4	川を見たら遊びたい気持ちによくなります。
H23-⑨	2-5	川はきたない川があるところはあるけど、それでも遊ばない方がいい
H23-⑨	2-6	ゴミが多いきたないからもっときれいにしたほうがいい。
H23-⑨	2-7	遊びたい、水がきれい ゴミがある
H23-⑨	2-8	川をきれいにしたい
H23-⑨	2-9	上野の川はきれいだからカニとりなどができる。
H23-⑨	2-10	危険
H23-⑨	2-11	川がきたなくなっている。
H23-⑨	2-13	ゴミが多い川があるからきれいにしてほしい
H23-⑨	2-14	川はきけんな所がいっぱいあるんだなとわかった
H23-⑨	2-15	遊びたい
H23-⑨	2-16	たのしい
H23-⑨	2-17	台風などが近づいてきたら危険だけど、晴れている時は、きれいな川で遊びたい。
H23-⑨	2-18	みえないよこれをなくして、川でよこれを気にせずきけんでない限りおもいっきり遊びたい。
H23-⑨	2-19	伊賀の川は、けっこうきれいだなと思いました。でも水害のことを知ってすこし怖いと思った。
H23-⑨	2-20	外国の生物がいたりしているので怖い。
H23-⑨	2-21	川は流れがゆるくてみんなが楽しく遊べるような所だけど10分間で134cmもふえるなんてびっくりした。
H23-⑨	2-22	かえるときに川にくさがぼうぼうはいつたりしてゴミが多い。
H23-⑨	2-23	きれいやけどあぶないから怖い
H23-⑨	2-24	川で遊びたいけどでもこわいし安全に遊びたい
H23-⑨	2-25	ゴミが多くなって川がきたなくなっているから、ゴミを少しでもへらしてほしい。
H23-⑨	2-26	きれいな所もあるし、きたいない所もある。きけんだけ遊びたい。
H23-⑨	2-27	ふだんあさい川でも大雨がふると、こう水とかになるから、きけんだし、こわいと思う。
H23-⑨	2-28	安全できれいだったら遊びたい。
H23-⑨	2-29	きれいにしてから遊びたい。
H23-⑨	2-30	近くに大きな川があるので怖いと思った。でも川で遊びたい。
H23-⑨	2-32	きたない ゴミが多い
H23-⑨	2-33	きれいな川もあるけれど、きたいない川などもあるからもっときれいな川になってほしいと思う。
H23-⑨	2-34	川にはゴミが多い。
H23-⑨	2-35	昔より川がきたなくなっている。
H23-⑨	2-36	川をきれいにしてあそびたい。
H23-⑨	2-37	外来種がたくさんいるから、外来種をへらしてほしい。
H23-⑩	3-2	川下りなどで遊びたい
H23-⑩	3-3	海みたいに泳ぎたい。
H23-⑩	3-4	ゴミが多い。泳ぎたい。
H23-⑩	3-5	遊びたい所だけど、雨が降るたびちゅうちよしてしまう所。
H23-⑩	3-6	やすらぎ、いこい
H23-⑩	3-7	きれいだなー
H23-⑩	3-8	地域の防災は十分できているのか興味がある。
H23-⑩	3-9	ゴミが多い。個人個人のモラルが低下したのか 川だけでなくゴミが落ちてますね。
H23-⑪	4-1	魚をとりたい。
H23-⑪	4-2	川は楽しいから、きれいであってほしいです。泳いだり遊んだりしたいです。
H23-⑪	4-3	ゴミが多い
H23-⑪	4-4	治水を優先してきたところから、それ以外にも世間が動けば良いと思う。
H23-⑪	4-6	きれいやし、あそびたい。でも、たくさん人は川はきけんだと思っているからおじいちゃんたちがあそんでいた昔みたいにもっとあそびたい。いな古たいけん隊みたいに川にながされてみては？
H23-⑪	4-7	いま水質低下、子供達が水遊びの出来る安全な川に
H23-⑪	4-8	川は生きていることを実感しています。
H23-⑪	4-9	川=汚いと感じていました。ゴミが多く近づけないくらい足場が悪い所が多い
H23-⑪	4-10	下流の親子川の学校の活動に感動しました。上流でもこの様な親子の活動や勉強会が盛んになると良いと思いました。
H23-⑪	4-11	ゴミが多い

活動No	回答No	「川」について感じていることや思っていること
H23-⑪	4-12	きれい
H23-⑪	4-13	きれい。
H23-⑪	4-14	きれいになりたいと思います。
H23-⑪	4-15	ゴミが多い
H23-⑪	4-16	水に身近に接することが大事
H23-⑪	4-17	子どもが毎年川でなくなっている。痛ましいことだ。
H23-⑪	4-18	子どもたちのフィールドになるような場所に。
H23-⑪	4-19	ゴミが多い！
H23-⑪	4-21	遊び場
H23-⑪	4-22	下流にくらべてゴミが少なく、水もきれいだった
H23-⑪	4-23	上流の川に関して、非常にたくさん魚がとれそうな地点がいっぱいあるので、できればもっと川にアプローチできる場所が多くあれば、もっと川ガキが増えると思います。
H23-⑪	4-24	ゴミが多い、遊びたい
H23-⑪	4-25	生き物がいっぱい。もっと親してみたいけれど、親自身に経験がなく、お世話にして下さる方がいないと楽しめません。自信をもって川とつき合えるようになったらいいのに・・・(小学生の親のボヤキ)
H23講座	5-3	ゴミが多い。
H23講座	5-4	人がもっとふれあえる川であってほしい。それゆえ川の楽しさ恐ろしさを体験できる機会がふえればいいなと思っています。
H23講座	5-5	河床上昇の為に増水時にゴミが増え草が増え景観が良くない。
H23講座	5-6	いつときよりもきれいになったがまだ汚い。河川に親しむような教育も必要でないか。
H23講座	5-8	川及び周辺は基本的に立入自由であり、その利活用を制約する掲示看板等は極力排してほしい。河川工事はなるべく少なく。憲法をきびしくする。
H23講座	5-9	川は一部の人たちにより、管理されており、自分たちの生活に深くかかわっているという事について認識が少ないと思います。新興住宅地に住んでいる住民にとって川はあまり身近に感じられません。
H23講座	5-10	ゴミの投棄が多く、川原で遊びたいと思う気持を持ってないのが現状であると思う。
H23講座	5-11	川にかこまれている名張に住んで思っていることは他県の人達がこの地区にきてもらう友人に、名張の川は特にきれいなと思ってもらうことを普段願っている(透明度、透視度)然し本当の意味のきれいな川というのは今日始めて講義できたPH・DO・BOD等の数値が良好でなければならないということはある程度、理解出来た。それと川の周りの景観も大事な要素と思っている。
H23講座	5-14	人口減る方向にある為、給水確保のダムは増設しなくてもよいように思います。
H23-⑫	6-1	安全で危険がない川(滝)
H23-⑫	6-3	ゴミが多い
H23-⑫	6-4	きれいなときけん
H23-⑫	6-5	遊んでも危険でないところで遊びたいです。
H23-⑬	7-1	不法投棄が多い
H23-⑬	7-2	危険、ゴミが多い。
H23-⑬	7-3	橋の下にゴミが多い。
H23-⑬	7-5	ゴミが多く、草かり等も定期的に必要と思います。
H23-⑬	7-6	きれいな川と汚ない川の差が激しいと思う。
H23-⑬	7-7	釣りができる。
H23-⑬	7-8	ゴミが多い。
H23-⑬	7-9	ゴミが多い。
H23-⑬	7-10	ゴミが多い。
H23講習	8-1	ゴミが多い。
H23講習	8-5	ゴミが多い。
H23講習	8-8	怖い
H23講習	8-9	最近ゴミのポイ捨てが多い。町会等のそうじ参加をしているが特に食べ物の袋やタバコが目立つ。

活動No	回答No	どんな「川」になったらいいと思うか
H23-⑤	1-1	安全で楽しく談話できる場所作り。
H23-⑤	1-2	川に親しみやすい場所の設置
H23-⑤	1-4	泳げる川
H23-⑤	1-5	きれいな川
H23-⑨	2-1	安全な川。
H23-⑨	2-2	きれいで安全な川
H23-⑨	2-3	きれいな川
H23-⑨	2-4	ぼくは、きれいで泳げる川になったら楽しいと思います。
H23-⑨	2-5	きれいな川
H23-⑨	2-6	きれいなゴミのない川
H23-⑨	2-7	きれいな川 泳げる川 ゴミのない川 遊べる川
H23-⑨	2-8	魚がいっぱいいる川にしたい
H23-⑨	2-9	ゴミのない川、泳げる川！
H23-⑨	2-10	安全な川、泳げる川
H23-⑨	2-11	きれいな川になってほしい。
H23-⑨	2-13	安全できれいなかわ(釣りができる)
H23-⑨	2-14	泳げる川
H23-⑨	2-15	きれいな川で安全な川
H23-⑨	2-16	およげてつりができる川
H23-⑨	2-17	ゴミのない、安全できれいな川になっていきたい。
H23-⑨	2-18	きれいで、安心して泳げる川になったらいい。
H23-⑨	2-19	ゴミが0コになって、きれいになって、安全で遊べるような川になったらいいなと思います。
H23-⑨	2-20	急に深くなったりするのがない安全な川。ゴミがない川。
H23-⑨	2-21	きれいで安全な川にしてほしい
H23-⑨	2-22	ごみもなく、いつみてもきれいな川になったらいいと思う。
H23-⑨	2-23	泳げる川
H23-⑨	2-24	ゴミのない川で泳げる川になってほしい
H23-⑨	2-25	生き物がたくさんすめるきれいな川になってほしい。
H23-⑨	2-26	きれいでゴミのない安全で泳げる川。
H23-⑨	2-27	安全な川で、きれいな川。
H23-⑨	2-28	きれいでゴミのない安全な川
H23-⑨	2-29	きれいな川や泳げる川。(ゴミのない川)
H23-⑨	2-30	泳げてきれいな川
H23-⑨	2-31	足とかをつけても泳いでもいいような川
H23-⑨	2-32	きれいで泳げて安全な川
H23-⑨	2-33	きれいで安全な川。
H23-⑨	2-34	きれいでゴミのない川。
H23-⑨	2-35	ゴミがなくて、きれいな川になったらいい。
H23-⑨	2-36	川がきれいになって魚がたくさんくる川になってほしい。
H23-⑨	2-37	外来種がへって、自然のメダカやこいなどたくさんの生きものがある川。
H23-⑩	3-1	泳げる川、アユが生息する河川
H23-⑩	3-2	泳げるきれいな川がふえたらいいなと思います。
H23-⑩	3-3	生き物がいっぱいいる川。
H23-⑩	3-4	生き物がいっぱいいる川。
H23-⑩	3-5	泳げる川、みんなが近づける川
H23-⑩	3-6	安全に泳げる川
H23-⑩	3-7	およげるかは。あんぜんな川
H23-⑩	3-8	きれいな川、ゴミのない川、泳げる川、安全な川
H23-⑩	3-9	ゴミがなく川の両端にくずなどのつる性の植物がはえてないのがいいですね。
H23-⑪	4-1	安全な川
H23-⑪	4-2	ゴミのない、きれいで遊べる川になってほしいです。
H23-⑪	4-3	きれいな川、ゴミのない川、泳げる川、安全な川
H23-⑪	4-4	生物種が保全されている川
H23-⑪	4-5	きれいな川です
H23-⑪	4-6	ゴミのない川、(水にはいったときとか砂のところにはガラスのはへん、ちやわんのわれたものなどがおっていたから)
H23-⑪	4-7	きれいな水、生物の住める川に
H23-⑪	4-8	子供達が安心して泳げる川になったらいいと思います。

活動No	回答No	どんな「川」になったらいいと思うか
H23-⑪	4-9	昔は川で泳いでいた記憶があります。泳げる川にしたい、また安全性を考え勉強会(川に入る前の)があれば良いと思います。
H23-⑪	4-11	きれいな川
H23-⑪	4-12	きれいな川、ゴミのない川
H23-⑪	4-13	きれいな川、ゴミのない川
H23-⑪	4-14	きれいな川。
H23-⑪	4-15	親子が安心して川遊びができる川。
H23-⑪	4-16	きれいな川
H23-⑪	4-17	子どもがなくなることのない川と社会、家庭づくりが求められている。
H23-⑪	4-18	子どもたちのフィールドになるような場所に。
H23-⑪	4-19	ゴミのない川、泳げる川！
H23-⑪	4-21	安全で魚がたくさんすんでいる川
H23-⑪	4-22	泳げるくらい、川魚を食べても安心なくらいきれいな川になってほしい。
H23-⑪	4-23	遊べる川！！下流も遊べる場所がいっぱいです。(へってきましたが・・・)今も開拓中です。上流はいっぱいありますね！！うらやましい。
H23-⑪	4-24	ゴミのないきれいな川。
H23-⑪	4-25	安全第一ですが、とりつく島のない、コンクリートだらけでは、「大事にしよう」という意識が育たない。子供たちの心の原風景として残せる風景であってほしいと思う。
H23講座	5-3	楽しめる川
H23講座	5-4	子供たちだけでなく住民が楽しめる川
H23講座	5-5	子供の時代、川で泳いでいましたが今考えられません
H23講座	5-6	私は子供の頃(昭和25年～35年)夏場毎日水泳や魚とりに川へ行っていました。何の事故もなく遊び場でした。こうしたきれいな川を蘇らせたいと思います。
H23講座	5-8	季節・時間等に関係なく、利用でき、化学的安全性の高い川になってほしい。
H23講座	5-9	護岸にタイルをはったりするのではなく機能美と自然に(動植物と共存できる)調和した川になればよいと思います。
H23講座	5-10	小さな子供が安心して遊べる川
H23講座	5-11	すぐそこに川が流れていて、その場所に危険が感じられないところであればどこでも水遊びが出来て、子供達も大人も泳ぎが出来る、魚も豊富等の環境の良い川であってほしい。私は猪名川で泳ぎを始めた。
H23講座	5-14	生物を絶滅させない、生態豊富な川。
H23-⑫	6-1	きれいな川
H23-⑫	6-3	子供が安全に遊べる所がある川
H23-⑫	6-4	きれいな川とか安全な川
H23-⑫	6-5	生物、植物、野鳥、人が共存できる豊かな自然であって欲しいです。
H23-⑬	7-1	子供が遊べる川になって欲しい
H23-⑬	7-2	ゴミのない川
H23-⑬	7-3	ゴミ拾いの必要のない川
H23-⑬	7-4	チビたちが安全に遊べるような川
H23-⑬	7-5	ゴミのない川、安全な川
H23-⑬	7-6	僕らの世代から見て、小さい子供さんが安心して遊べる川になったらいいと思う。
H23-⑬	7-7	釣りができる川
H23-⑬	7-8	泳げる川
H23-⑬	7-9	泳げる川
H23-⑬	7-10	きれいな川
H23講習	8-1	きれいな川
H23講習	8-5	きれいな川
H23講習	8-8	安全な川
H23講習	8-9	子ども達が泳げる川。魚が沢山いる川

活動No	回答No	きれいな「川」にするためにみんなができること
H23-⑤	1-1	生活のゴミや水を流さない事
H23-⑤	1-4	ゴミ拾い
H23-⑤	1-5	ゴミ拾い
H23-⑨	2-1	ゴミを捨てたり、生き物を大切にすること。
H23-⑨	2-2	川にごみやいろいろなものをすてると魚がしぬから。
H23-⑨	2-3	川をきれいにしていきものたちをたいせつにしたい。
H23-⑨	2-4	きたない水を流さなければいいと思います。
H23-⑨	2-5	ゴミ拾い！
H23-⑨	2-6	ゴミ拾い
H23-⑨	2-7	川にゴミをすてない
H23-⑨	2-8	ゴミ拾をやっしていきたい。
H23-⑨	2-9	ゴミ拾い
H23-⑨	2-10	川に汚い水を流さない。ゴミをへらす。
H23-⑨	2-13	生き物を大切にしたい
H23-⑨	2-14	ゴミ拾い
H23-⑨	2-15	生き物を大切にすること
H23-⑨	2-16	ゴミひろい。
H23-⑨	2-17	ゴミ拾いや生き物を大切にすること。
H23-⑨	2-18	川にゴミをほかさずにきたない水を流さない。
H23-⑨	2-19	川の近くにゴミを落とさない。石を入れない。どろを入れない。
H23-⑨	2-20	せっきよくてきにゴミをひろう。ゴミをすてない。生物をむやみにとりすぎない。
H23-⑨	2-22	川に汚い水やゴミをほかさない。ほかしている人がいたら注意する。
H23-⑨	2-23	生き物をきれいな所へにがす
H23-⑨	2-24	ゴミ拾い、川にきたない水を流さない
H23-⑨	2-25	ゴミをとったり、川にきたない水を流さないようにしたい。
H23-⑨	2-26	ゴミ拾いや生き物を大切にすること。
H23-⑨	2-27	川によごれた水や、ゴミを流さない。生き物を大切にすること。
H23-⑨	2-28	ゴミを捨てたり、川にきたない水を流さない。
H23-⑨	2-29	ゴミ拾い。
H23-⑨	2-30	ゴミやきたない物がおちていたら拾う。
H23-⑨	2-32	みんなでゴミをひろったり、川にきたない水を流さないようにする。
H23-⑨	2-33	ゴミ拾いや、おかしなふくろなどをほかさないようにする。
H23-⑨	2-34	ゴミをすてない。
H23-⑨	2-35	ゴミがながれてきたら拾う。
H23-⑨	2-36	ゴミ拾いや川にきたない物や水をながさない。
H23-⑨	2-37	外来種をにがさないようにする。ゴミを川にすてない。生活はいい水がきたないからきれいに川へ流す。
H23-⑩	3-1	下水管理に各家庭への呼びかけ(油ものを流さない)
H23-⑩	3-2	ゴミ拾い。魚にえさをあげたり、ふれあいがあればいいと思います。
H23-⑩	3-3	ゴミ拾い。
H23-⑩	3-4	ゴミをすてない。
H23-⑩	3-5	自分がゴミを拾い、みんなにもゴミを捨てない様訴えかける(特に子どもに意識を高めてもらう)
H23-⑩	3-6	川の魚を食べる。
H23-⑩	3-7	あんましせんざいをつかわない
H23-⑩	3-8	ゴミ拾い、川に汚い水を流さない、生き物を大切にすること
H23-⑩	3-9	川の水をきれいにするには個人々の家庭における水に対して台所から汚れものは流さない。
H23-⑪	4-1	ゴミをすてない
H23-⑪	4-2	川をよごさない、外来生物を放さない
H23-⑪	4-3	ゴミ拾い、川に汚い水を流さない、生き物を大切にすること
H23-⑪	4-4	子供が常に遊んでいること
H23-⑪	4-5	ゴミすてるな
H23-⑪	4-6	ゴミをすてない(かんきょうを守る)
H23-⑪	4-7	汚水を川に流さない事に注意
H23-⑪	4-8	汚水を流さない様にしたいと思います
H23-⑪	4-9	家庭では汚れた食器等はまずふき取る。洗剤等は自然に近い物、不要に何でも流さない、ゴミを捨てない(持ち帰る)等をする。
H23-⑪	4-10	毎日の食器洗いのとき油汚れなどを拭きとってから洗うなど
H23-⑪	4-11	ゴミ拾い
H23-⑪	4-12	ゴミ拾い、汚い水を流さない、生き物を大切にすること。

活動No	回答No	きれいな「川」にするためにみんなができること
H23-⑪	4-13	ゴミ拾い、川に汚い水を流さない、生き物を大切にすること。
H23-⑪	4-14	みんなできょうりよくをする。
H23-⑪	4-15	ゴミをほかささない、ゴミを拾う、下水処理場の完備
H23-⑪	4-16	ゴミ拾い
H23-⑪	4-17	川の水を飲んでることを忘れない。
H23-⑪	4-18	みんなで川を知ること
H23-⑪	4-19	クリーンアップ
H23-⑪	4-21	ポイすてをやめる
H23-⑪	4-22	ひとりひとりが川をよごさない事が一番だと思います。
H23-⑪	4-23	川に興味を持つこと！
H23-⑪	4-24	ゴミ拾い、汚い水を流さない
H23-⑪	4-25	ゴミ拾い、川に汚い水を流さない。出来ることはこれです。でも、自分で意識していなくても間接的に汚しているかも。その辺りを具体的に知っていくことが大事かと思います。
H23講座	5-3	住民が意識すること
H23講座	5-4	ゴミ拾い
H23講座	5-5	川に汚い水を流さない。家庭用排水主婦として気配りしていきます
H23講座	5-6	ゴミを捨てない。汚水を流さない。川を愛する。
H23講座	5-9	汚水処理施設で、処理はできるもの、できないものをきちんと理解し生活排水を流す必要がある。
H23講座	5-10	川に雑排水を流さない様にする。定期的に川原の清掃を行う等。
H23講座	5-11	赤目地区では名張市の町づくり委員会中心でウォークラリーがある。年々参加者が増えみんなの楽しみになっている。子供達もゴミを拾い乍ら歩くので道路もきれいになっていく。住民の意識で、このウォークラリーのような川を楽しみ乍らきれいにする方法、企画が出来ないものかと思う。
H23講座	5-14	防災と生態保全が相愛する方法が大事だと思います。資金も増加しますが、次の世代の事を考えると二次災害発生しない様に考えたいものです。
H23-⑫	6-1	生き物をたいせつにする。
H23-⑫	6-3	ゴミ拾い
H23-⑫	6-4	ゴミ拾いと生き物を大切にすること。
H23-⑫	6-5	水を汚さない。水を大切にすること。
H23-⑬	7-1	ゴミ拾い。ゴミをほかささない。
H23-⑬	7-2	ゴミ拾い。
H23-⑬	7-3	定期的にゴミを拾う。
H23-⑬	7-5	ゴミをすてない。
H23-⑬	7-6	定期的がゴミ拾い。
H23-⑬	7-7	ゴミをすてない。油を流さない。
H23-⑬	7-8	ゴミを捨てない。
H23-⑬	7-9	川に汚い水を流さない。ゴミを捨てない。
H23-⑬	7-10	ゴミ拾いだけでなく伊賀市(上野)の下水整備なぜ進まないのか。市民への説明を求む。
H23講習	8-1	川に汚い水を流さない
H23講習	8-5	ゴミ拾い
H23講習	8-8	川に汚い水を流さない
H23講習	8-9	家庭から排水に気を付ける。汚れた皿は一度ふき取り洗う。

活動No	回答No	どのような広報を希望するか
H23-⑤	1-4	友人に話する
H23-⑤	1-5	名張コウホウにのせる事
H23-⑨	2-1	学校にチラシを配ふする。
H23-⑨	2-2	学校やいろんなばしょにちらしをくばる
H23-⑨	2-3	いろんなちらしをかいたらいいとおもう。
H23-⑨	2-4	みんなで遊水地にいったことをテレビにうつしてほしいです。
H23-⑨	2-5	学校にチラシを配布！
H23-⑨	2-6	ポスターをはる
H23-⑨	2-8	テレビでせんでんする。
H23-⑨	2-9	せんでんする。
H23-⑨	2-13	チラシ(できるだけ安く)
H23-⑨	2-15	チラシ
H23-⑨	2-16	たのしいように見せる。
H23-⑨	2-18	学校やいろんな所にチラシや申し込みなどをくばってほしい。
H23-⑨	2-19	チラシをはったり、わたしたらしいと思います。
H23-⑨	2-20	みんなが気持ちがよくなるような広報がいいと思う。
H23-⑨	2-21	学校に手紙をくばってほしいです！
H23-⑨	2-22	学校にチラシを出してほしい。
H23-⑨	2-23	スーパーにポスターをはる。
H23-⑨	2-24	チラシを出したらいい
H23-⑨	2-26	私は遊水かんに入れることがしらなかったので新聞やコンビニにはあったらいいと思います。
H23-⑨	2-27	チラシを配ふしてほしい。
H23-⑨	2-28	学校や各家などに広告をくばる
H23-⑨	2-29	チラシをまいて、せんでんする。
H23-⑨	2-32	ポスターをはる。
H23-⑨	2-34	学校にチラシを配布してほしい。
H23-⑨	2-35	ポスターを書く。
H23-⑨	2-36	テレビのコマーシャルにながせばいいと思う。
H23-⑨	2-37	ポスターを書いてはる。
H23-⑩	3-1	近鉄の駅、市内スーパー
H23-⑩	3-5	学校にチラシを配布する事が大切だと思います
H23-⑩	3-6	メール
H23-⑪	4-3	学校にチラシを配布してほしい
H23-⑪	4-4	口コミ
H23-⑪	4-6	新聞にのせることなどや、学校にチラシを配布してはどうでしょうか？(実際にわたしたら、いな古体験隊はしてるし)
H23-⑪	4-7	個々、広報でのPRが大
H23-⑪	4-9	この活動はあまり知られていないので、地域に河川レンジャーがいると思われるので、地域のフェスティバルや学校の文化祭等で紹介されてもと思います。
H23-⑪	4-12	学校にチラシ配り！！
H23-⑪	4-13	学校にチラシを配布してほしい
H23-⑪	4-16	上流に来ればますます身近な川だと感じました。上流の川の景色が大変良かった。交流のキカイが次に生きるようたのみます。
H23-⑪	4-18	多方面の情報発信
H23-⑪	4-21	いろいろな団たいをさそってみる。
H23-⑫	6-3	集合場所は名張市内であってほしい。
H23-⑫	6-4	学校にチラシを配布してほしいです。
H23-⑬	7-5	もっと久米川流域の人々にアピールして欲しい。
H23-⑬	7-6	市民センター等掲示板での活動内容の掲示。広報「いが市」でのPR。
H23-⑬	7-7	YOUIに載せる。
H23-⑬	7-8	企業の参加
H23-⑬	7-9	学校にチラシを配布

平成24年度河川レンジャー年間活動計画について

[次第に戻る](#)

平成24年度河川レンジャー年間活動計画(変更)

No	活動名 変更活動名	担当河川レンジャー	実施予定日時 変更実施予定日時	実施予定場所 変更実施予定場所	活動目的・主な活動内容	参加対象者	募集方法	活動に必要な支援 概算費用(日当除く)	備考
H24-①	水質調査	西田 【個人活動】	平成24年4月～平成25年3月 毎月1回実施予定 13:00～15:00 (作業各2時間)	久米川(4ヶ所) 往古川(3ヶ所)	(活動目的) 木津川支流の2河川の生活排水による汚染状況の観察。 ※平成23年度からの継続活動 (主な活動内容) ・1年を通じて下水路などから河川に流出される水質を観察する。 ・水質改善のため流域住民および地域小学校にデータや写真を配布して生活排水による「川の健康状態」冊子を配布し注意喚起を促す。 ・観察過程を自作HPにて閲覧可能にする。	(合同参加の場合) 50名程度 ・久米川流域排水対策連絡協議会会員	(合同参加の場合) ・久米川流域排水対策連絡協議会が年一度実施する水質検査に合同参加(7月～8月)	(活動に必要な支援) ・水質簡易測定機器(COD/pH) ・測定用備品、容器 ・水質検査方法の講義 (概算費用) ・1万円	
	変更なし ★継続実施中	変更なし	変更なし	変更なし					
H24-②	名張川ホテル再生に向けて (ほたる鑑賞会)	廣岡	平成24年6月 17:00～20:00 (3時間)	・名張市旧細川邸 やなせ宿 ・名張川河川敷	(活動目的) 名張川・町なかホテルの再生に向け、平成22年度から引き続いて名張市まちづくり推進協議会・まちなか交流部会との連携による活動として、現在の状況(ホテル飛翔等)の観測、今後の課題及び進行中のカワニナ・ホテルの飼育状況を説明することにより、今後の活動への理解協力を求める。 (主な活動内容) ・ホテルの生態・ホテル飼育状況の説明 ・ホテルの観察会	20名程度 ・一般参加者 (親子10組程度)	・木津川上流河川事務所HP ・旧町区内回覧板 ・名張市広報誌への掲載 ・チラシ配布 (名張市内小学校他) ・やなせ宿広報 ・個別案内	(活動に必要な支援) ・特になし (概算費用) ・3万円 (飼育施設製作費(ポンプ他))	
	変更なし	変更なし	平成24年6月16日(土) 19:00～21:00 (2時間)	変更なし					
H24-③	名張川自然観察ウォーキング	溝延	平成24年7月 13:00～17:00 (4時間)	名張川河川敷 (糸川橋～沖津藻大橋)	(活動目的) 名張川を川沿いにウォーキングし、名張川に生息する鳥、水生動物の観察、名張川の現況理解と川への関心をもってもらう。また、日常の散策コースとして利用してもらい、川からの癒し効果をうけて人生に彩りを与える。 (主な活動内容) ・名張川ウォーキング ・バードウォッチング ・ピオトープ内での水生生物観察	20名 ・一般参加者 (小中学生、大人)	・木津川上流河川事務所HP ・名張市広報誌への掲載 ・チラシ配布 (名張市内小学校他) ・子供会団体への働きかけ ・個別案内	(活動に必要な支援) ・水生生物調査器具の借用 (概算費用) ・2万円 (講師料・資料製作費他)	
	変更なし	変更なし	平成24年7月29日(日) 9:00～12:00 (3時間)	変更なし					
H24-④	遊んで学ぶ水の働き	溝延	平成24年8月 13:00～17:00 (4時間)	名張川河川敷 (糸川橋～沖津藻大橋)	(活動目的) 手作りの工作物(筏・模型船・水鉄砲)の製作を通して、水の働きを理解する。(水の循環(蒸発・雨・川)、身体の水分量、水(灌漑・飲水)、水圧、浮力)また、現場での台風被害記念碑やダム放流危険の表示板、ダムの概要表示板などを学習することにより、ダムの機能(治水・利水)の総合学習と、川遊びを行なう場合の安全確保を学習し、個人の対応能力の向上を図る。学習を通じて水の重要性を理解してもらい、川(水)を愛する気持ちをもってもらう。 (主な活動内容) ・模型ペトボトル風車ボート遊び、水鉄砲、筏船、ペトボトル筏試乗、水車模型による揚水実験、洪水記念碑見学、ダム学習など	20名 ・一般参加者 (小中学生と保護者)	・木津川上流河川事務所HP ・伊賀市広報誌への掲載 ・チラシ配布 (名張市内小学校他) ・子供会団体への働きかけ ・個別案内	(活動に必要な支援) ・ライフジャケットの借用 ・現場の整備 (概算費用) ・2万円 (製作物材料費・資料製作費他)	
	遊んで学ぼう！水のはたらき ～ペトボトルで水の力について 実験してみよう～	変更なし	平成24年8月5日(日) 9:00～12:00 (3時間)	変更なし					
H24-⑤	川下り・カヌー体験	西・廣岡 【合同活動】	平成24年7月28日(土) 10:00～15:00 (5時間)	伊賀市依那古地区 木津川河川敷	(活動目的) 参加者に川の中を歩いてもらい、川底が滑る事や急に深さが変わる事、流れの強さなどを体験してもらうとともに、その体験の中からどうすれば安全に川と付き合えるのか、川を楽しむ事ができるかを考えてもらう。また、川遊びとしてカヌー体験も行い、川と触れ合い、川の事や環境の事を考えるきっかけ作りを行う。 (主な活動内容) ・川下り体験 ・河川敷での昼食 ・カヌー体験と水際観察	100人程度 ・一般参加者 (小学生と保護者)	・木津川上流河川事務所HP ・伊賀市広報誌への掲載 ・チラシ配布 (伊賀市内小学校他) ・個別案内	(活動に必要な支援) ・移動用バス ・カヌー借用・運搬 ・協力スタッフ(安全管理要員) ※地元消防団等 ・水生生物調査器具の借用 (概算費用) ・20万円 (カヌー借用・運搬費、移動用バス、スタッフ報酬他)	
	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし					
H24-⑥	木津川源流探検と シャワークライミング体験 ※淀川管内河川レンジャー(木津川) との連携活動	西・廣岡・池田 【合同活動】	平成24年8月19日(日) 10:00～16:00 (6時間)	伊賀市大山田地区 奥馬野、馬野峽	(活動目的) 源流近くの清流でのシャワークライミング体験より、川の流れを体で感じて身を守るすべを体験しながら、川遊びの楽しさを体験する。また源流を訪ね、川の誕生を確認する事から、川の大切さを感じてもらう。 (主な活動内容) ・奥馬野の清流でのシャワークライミング体験を行う。 ・清流での川の様子を観察する。 ・現地での昼食・青山高原の源流を探索する。	50人程度 ・一般参加者 (小学生と保護者) ※淀川管内河川レンジャー (木津川)と合同	・木津川上流河川事務所HP ・伊賀市広報誌への掲載 ・チラシ配布 (伊賀市内小学校他) ・個別案内	(活動に必要な支援) ・移動用バス ・奥馬野地区との調整 ・魚協の協力要請 ・協力スタッフ(安全管理要員) ※大山田地区活動団体他 ・水生生物調査器具の借用 (概算費用) ・15万円 (安全管理用品、移動用バス、スタッフ報酬他)	
	変更なし	変更なし	平成24年8月19日(日) 8:30～16:30 (8時間)	変更なし					

平成24年度河川レンジャー年間活動計画(変更)

No	活動名 変更活動名	担当河川レンジャー	実施予定日時 変更実施予定日時	実施予定場所 変更実施予定場所	活動目的・主な活動内容	参加対象者	募集方法	活動に必要な支援 概算費用(日当除く)	備考
H24-⑦	名張川水生生物調査と川魚試食からの食文化学習	西	平成24年8月26日(日) 13:00～16:00 (3時間)	名張川河川敷 (やなせ宿周辺)	(活動目的) 夏休みの活動として、名張川の水生生物調査を行い、名張川の状況と環境に関する学習を行う。 また、川魚の試食から昔の人の食文化について学ぶ。	20人程度 ・一般参加者 (小学生と保護者)	・木津川上流河川事務所HP ・名張市広報誌への掲載 ・チラシ配布 (名張市内小学校他) ・個別案内	(活動に必要な支援) ・やなせ宿、漁協との調整 ※共同開催を検討 ・水生生物調査器具の借用 (概算費用) ・10万円 (材料費他)	
	名張川水生生物調査と食文化学習	変更なし	平成24年8月26日(日) 12:00～15:00 (3時間)	変更なし	(主な活動内容) ・水生生物調査と水質調査 ・アユ他の試食				
H24-⑧	水防技術講習会①(消防団員対象)	西田	平成24年9月上旬(日) 13:00～17:00 (4時間)	伊賀市 東高倉地内堤防	(活動目的) ・近年多発するゲリラ豪雨などによる突発的な水路などの増水に 応急対応する土のう積工法と法面補修の技術を習得してもらう。 ・水防工法技術を習得し、地元に戻り団員や地域の防災訓練時に 多くの人に指導できる知識を身につけてもらう。	100名程度 ・消防団幹部団員	・消防団事務局に年間計画 への組込依頼 ・チラシ・文章配布 ・幹部会議で説明(4/2予定) ・個別案内	(活動に必要な支援) ・講師(2名予定)の依頼・派遣 ・作業用具の借用、購入等 ・訓練会場使用許可 ・訓練会場の整備 (概算費用) ・15万円 (作業用具費、講師料、資料 製作費他)	
	変更なし	変更なし	※日程調整中	変更なし	(主な活動内容) ・素早く土のうを製作する方法 ・土のうの簡単で安全、効率のよい積み方(2種類) ・ブルーシートを使つての法面補修対策方法 ・日常生活に役立つロープワーク				
H24-⑨	水防技術講習会②(一般参加者対象)	西田	平成24年9月中旬(日) 13:00～17:00 (4時間)	伊賀市 東高倉地内堤防	(活動目的) ・近年多発するゲリラ豪雨などによる突発的な水路、河川などの増 水や堤防の亀裂崩壊などに応急対応する土のう積工法を習得し てもらう。 ・水防工法技術を習得して地元に戻り地域の防災訓練時に多くの 人に指導できる知識を身につけてもらう。	50名程度 ・一般参加者 ・防災コーディネーター	・木津川上流河川事務所HP ・伊賀市広報誌への掲載 ・チラシ配布 ・個別案内	(活動に必要な支援) ・講師(2名予定)の依頼・派遣 ・作業用具の借用、購入等 ・訓練会場使用許可 ・訓練会場の整備 (概算費用) ・8万円 (作業用具費、講師料、資料 製作費他)	
	変更なし	変更なし	平成24年10月13日(土) 13:30～16:00 (2.5時間)	変更なし	(主な活動内容) ・素早く土のうを製作する方法 ・土のうの簡単で安全、効率のよい積み方(2種類) ・ブルーシートを使つての法面補修対策方法 ・日常生活に役立つロープワーク ・水災害の危険例の説明				
H24-⑩	外来植物セイタカアワダチソウ 削減策の調査	溝延 【個人活動】	平成24年9月中旬・下旬 4日間予定 13:00～16:00 (計12時間)	名張川河川敷 (糸川橋～沖津藻大橋)	(活動目的) 外来植物セイタカアワダチソウが日本古来の植物を席捲しはびこ ることを防止できないか実験調査するとともに、景観の向上をはか る。	-	-	(活動に必要な支援) ・特になし (概算費用) ・0万円	
	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	(主な活動内容) ・セイタカアワダチソウの生育防止減量テスト (花の発生数確認と切除、茎の抜き取り(根より)、翌年度(6月頃) 発生数の確認) ・河川内遊歩道の環境改善				
H24-⑪	久米川(木津川)クリーンウォーキング	西田	平成25年3月第一土曜 9:00～12:00 (3時間)	久米川沿い 木津川本川樋門範囲	(活動目的) ・久米川(木津川)のゴミを減らし、川をきれいにして魚が住めるよ うな川にする。 ・減災を目的とした河川堤防の安全点検 ※平成23年度からの継続活動	20名程度 ・一般参加者 ・消防団員 ・(樋門点検者)	・木津川上流河川事務所HP ・伊賀市広報誌への掲載 ・チラシ配布 ・個別案内 ・幹部会議で説明(4/2予定)	(活動に必要な支援) ・木津川本川 (お茶、ゴミ袋、ゴミバサミ、 ゴミ回収車両) (概算費用) ・5万円 (清掃用具他)	
	変更なし	変更なし	平成25年3月2日(土) 9:00～12:00 (3時間)	変更なし	(主な活動内容) ・久米川流域生活排水対策推進協議会と合同で環境整備に参加 する。 ・消防団員に堤防欠陥箇所の発見作業と清掃を兼ねていただく。 ・樋門担当範囲の団員による樋門点検日に堤防の安全防災点検 と清掃を兼ねていただく。(日程調整により、別日での実施も検討)				

平成24年度河川レンジャー年間活動計画(変更)

No	活動名 変更活動名	担当河川レンジャー	実施予定日時 変更実施予定日時	実施予定場所 変更実施予定場所	活動目的・主な活動内容	参加対象者	募集方法	活動に必要な支援 概算費用(日当除く)	備考
H24-⑫	木津川上流植生調査& クルミサーチング ※子どもを対象とした活動と個人調査	池田	平成24年7月・10月 2回実施予定 13:00～17:00 (4時間)	伊賀管内	(活動目的) 地域住民に川の自然と愛着心を持ってもらうため、 木津川の植物調査報告書・マップの作成と、子どもたちと一緒にクルミサーチングを行う。また、川の地名とその歴史に興味関心を持ってもらうために、木津川上流を歩き、木津川の地名報告書の作成も行う。	20人程度 ・一般参加者 (小学生と保護者)	・木津川上流河川事務所HP ・伊賀市広報誌への掲載 ・チラシ配布 (伊賀市内小学校他) ・個別案内	(活動に必要な支援) ・特になし (概算費用) ・25万円 (図鑑購入費、報告書冊子製作費、 講師料他)	
H24-⑬	河川関係の地名研究 ※子どもを対象とした活動と個人調査	池田	平成24年8月・11月 2回実施予定 13:00～17:00 (4時間)	伊賀管内	(主な活動内容) ・植物調査・・・木津川各支流の主な植物をデジタルカメラで記録、 植物名を調査し、報告冊子を作成する。 ※枚方生き物の会と上野森林公園に協力をいただき実施する。				
H24-⑫ H24-⑬ 【統合】	木津川上流植生調査& クルミサーチングと河川関係地名研究 ※個人調査はなしとする。	変更なし	平成24年9月中旬 平成24年11月中旬 2回実施予定 13:00～17:00(4時間) ※日程調整中	変更なし	・河川地名研究・・・主な橋をデジタルカメラで記録、橋の名前を調査し、そのいわれを調べる。また、川沿いの地名も同時に調べて報告冊子を作成する。 ※伊賀の國地名研究会に協力をいただき実施する。				
H24-⑭	(検討事項) 学校教育プログラムへの組み込み	西・廣岡・溝延 西田・池田 【合同活動】	-	-					
H24-⑮	(検討事項) 自治体等が開催する行事への参加	西・廣岡・溝延 西田・池田 【合同活動】	-	-					

平成24年度実施スケジュールについて

[次第に戻る](#)

平成24年度 木津川上流管内河川レンジャー 実施スケジュール

年月	運営内容	現河川レンジャー(5名)	H25年度新規河川レンジャー
平成24年	3月 H24.3.14(水) 平成23年度 レンジャー会議 ●河川レンジャー年間活動計画(H24年度)の決定	平成24年度 年間活動計画(案) 作成	
	4月	活動実施 (H25.2まで)	
	5月		
	6月 H24.6中旬 平成24年度 懇談会 ●H23年度運営報告、募集要領の決定、審査要領(案)の改正等		
	7月		
	8月		
	9月 H24.9月上旬 新規河川レンジャーの募集開始(~H25.1中旬まで)		
平成25年	10月 ~ 12月 H24.10~12 平成24年度 第1回 レンジャー会議 ●河川レンジャー活動報告、(活動計画の変更)等	中間報告	
	1月 H25.1中旬 新規河川レンジャーの募集締切 H25.1下旬 木津川上流発見講座		
	2月 H25.2月上旬 プレゼンテーション 平成24年度 推薦委員会 ●河川レンジャー予定者の決定(新規・再任) H25.2月下旬 河川レンジャーの任命(事務所長)	活動報告 任命(再任)	プレゼンテーション 任命
	3月 H25.3月上旬 河川レンジャー養成講座 H25.3中旬 平成24年度 第2回 レンジャー会議 ●河川レンジャー年間活動計画(H25年度)の決定	平成25年度 年間活動計画(案) 作成 活動報告	講座受講 平成25年度 年間活動計画(案) 作成
		活動実施(H25.4~H26.2まで)	

運営要領(案)の改正について

[次第に戻る](#)

木津川上流管内河川レンジャー 運営要領(案)及び同細則(案)

改正案 新旧対照表

木津川上流管内河川レンジャー懇談会

運営要領(案) 現行	運営要領(案) 改正案	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) 改正理由
<p>木津川上流管内河川レンジャー運営要領(案)</p> <p>目次</p> <p>第1章 総則(第1条-第4条)</p> <p>第2章 木津川上流管内河川レンジャー(第5条-第21条)</p> <p>第3章 木津川上流管内河川レンジャー懇談会(第22条-第27条)</p> <p>第4章 木津川上流管内河川レンジャー会議(第28条-第33条)</p> <p>第5章 木津川上流管内河川レンジャー推薦委員会(第34条-第40条)</p> <p>第6章 木津川上流管内河川レンジャー講座(第41条-第44条)</p> <p>第7章 雑則(第45条・第46条)</p> <p>附則</p>	<p>木津川上流管内河川レンジャー運営要領(案)</p> <p>目次</p> <p>第1章 総則(第1条-第4条)</p> <p>第2章 木津川上流管内河川レンジャー(第5条-第21条)</p> <p>第3章 木津川上流管内河川レンジャー懇談会(第22条-第27条)</p> <p>第4章 木津川上流管内河川レンジャー会議(第28条-第33条)</p> <p>第5章 木津川上流管内河川レンジャー推薦委員会(第34条-第40条)</p> <p>第6章 木津川上流管内河川レンジャー講座(第41条-第44条)</p> <p>第7章 雑則(第45条・第46条)</p> <p>附則</p>		
<p>第1章 総則</p> <p>(趣旨)</p> <p>第1条 本運営要領(案)は、木津川上流管内河川レンジャー(以下「河川レンジャー」という。)活動の運営について定めるものである。</p>	<p>第1章 総則</p> <p>(趣旨)</p> <p>第1条 本運営要領(案)は、木津川上流管内河川レンジャー(以下「河川レンジャー」という。)活動の運営について定めるものである。</p>		
<p>(河川レンジャー活動を運営する組織)</p> <p>第2条 河川レンジャー活動を運営する組織は、次の各号に掲げる組織をもって構成する。</p>	<p>(河川レンジャー活動を運営する組織)</p> <p>第2条 河川レンジャー活動を運営する組織は、次の各号に掲げる組織をもって構成する。</p>		

運営要領(案) 現行	運営要領(案) 改正案	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) 改正理由
<p>(1) 木津川上流管内河川レンジャー懇談会(以下「懇談会」という。)</p> <p>(2) 木津川上流管内河川レンジャー会議(以下「レンジャー会議」という。)</p> <p>(3) 木津川上流管内河川レンジャー推薦委員会(以下「推薦委員会」という。)</p> <p>2 前項各号の組織は、木津川上流河川事務所長(以下「事務所長」という。)が設置する。</p> <p>3 第1項各号の組織間の関係は、木津川上流管内河川レンジャー機構図に示すとおりとする。</p>	<p>(1) 木津川上流管内河川レンジャー懇談会(以下「懇談会」という。)</p> <p>(2) 木津川上流管内河川レンジャー会議(以下「レンジャー会議」という。)</p> <p>(3) 木津川上流管内河川レンジャー推薦委員会(以下「推薦委員会」という。)</p> <p>2 前項各号の組織は、木津川上流河川事務所長(以下「事務所長」という。)が設置する。</p> <p>3 第1項各号の組織間の関係は、木津川上流管内河川レンジャー機構図に示すとおりとする。</p>		
<p>(事務局)</p> <p>第3条 事務所長は、河川レンジャー活動及び前条第1項各号の組織を運営するために、木津川上流管内河川レンジャー事務局(以下「事務局」という。)を設置する。</p> <p>2 事務局は、木津川上流河川事務所管理課並びに事務所長が指定した者とする。</p>	<p>(事務局)</p> <p>第3条 事務所長は、河川レンジャー活動及び前条第1項各号の組織を運営するために、木津川上流管内河川レンジャー事務局(以下「事務局」という。)を設置する。</p> <p>2 事務局は、木津川上流河川事務所管理課並びに事務所長が指定した者とする。</p>		
<p>(経費の負担)</p> <p>第4条 事務所長は、次の各号に掲げる経費等を実費負担する。</p> <p>(1) 河川レンジャーの活動に必要な経費及び備品の購入等費用</p>	<p>(経費の負担)</p> <p>第4条 事務所長は、次の各号に掲げる経費等を実費負担する。</p> <p>(1) 河川レンジャーの活動に必要な経費及び備品の購入等費用</p>	<p>第1条 「河川レンジャーの活動に必要な経費及び備品等の購入等費用」とは、次の各号に掲げる費用とする。</p>	

運営要領(案) 現行	運営要領(案) <u>改正案</u>	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) <u>改正理由</u>
<p>(2) 懇談会、レンジャー会議、推薦委員会及び講座の開催運営費用</p>	<p>(2) 懇談会、レンジャー会議、推薦委員会及び講座の開催運営費用</p>	<p>(1)河川レンジャーの報酬(交通費含む) (2)傷害保険等の加入費 (3)備品購入費 (4)その他事務所長が必要と認めた経費</p> <p>第2条 「懇談会、レンジャー会議、推薦委員会及び講座の開催運営費用」とは、次の各号に掲げる費用とする。</p> <p>(1)資料作成費 (2)会議運営費 (3)その他事務所長が必要と認めた経費</p>	
<p>第2章 木津川上流管内河川レンジャー (河川レンジャーの構成) 第5条 河川レンジャーは、個人をもって構成する。</p>	<p>第2章 木津川上流管内河川レンジャー (河川レンジャーの構成) 第5条 河川レンジャーは、個人をもって構成する。</p>		
<p>(河川レンジャーの役割) 第6条 河川レンジャーは、淀川水系河川整備計画で示している行政と住民等との連携や協働を必要とする事項を推進するため、行政と住民との間に立って、防災学習や水防活動等の防災・減災を推進する活動、河川にかかわる環境学習等の文化活動や動植物の保全等の活動を実施するとともに、比較的穏便で危険を伴わない範囲における河川管理上の役割を担い、河川と地域との良好な関係を</p>	<p>(河川レンジャーの役割) 第6条 河川レンジャーは、淀川水系河川整備計画で示している行政と住民等との連携や協働を必要とする事項を推進するため、行政と住民との間に立って、防災学習や水防活動等の防災・減災を推進する活動、河川にかかわる環境学習等の文化活動や動植物の保全等の活動を実施するとともに、比較的穏便で危険を伴わない範囲における河川管理上の役割を担い、河川と地域との良好な関係を</p>		

運営要領(案) 現行	運営要領(案) 改正案	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) 改正理由
構築することを役割とする。	構築することを役割とする。		
<p>(河川レンジャーの活動内容)</p> <p>第7条 河川レンジャーは、次の各号に掲げる活動を行うものとする。</p> <p>(1) 防災・減災、救援・救難の推進を図る活動 自分で守る・皆で守る・地域で守る取り組みの促進</p> <p>(2) 河川環境保全を図る活動</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 河川環境保全・再生の普及・啓発・学習・住民参加の促進</p> <p style="padding-left: 20px;">ロ 河川環境のモニタリング</p> <p style="padding-left: 20px;">ハ 水質改善のための啓発活動</p> <p>(3) 河川の適正な利用の推進を図る活動 河川環境の保全・再生の普及・啓発・学習</p> <p>(4) 節水意識の普及・啓発活動</p> <p>(5) 日常的な河川管理活動 河川管理についての理解・普及・啓発・学習・住民参加促進</p> <p>(6) 河川にかかわる歴史・文化の普及・啓発活動</p> <p>(7) 河川行政と地域・住民・住民団体のコーディネートを図る活動</p> <p>(8) 川づくり・まちづくりへの参画・支援活動</p> <p>(9) 木津川上流に関心を持ち愛護する人材を育成する活動</p>	<p>(河川レンジャーの活動内容)</p> <p>第7条 河川レンジャーは、次の各号に掲げる活動を行うものとする。</p> <p>(1) 防災・減災、救援・救難の推進を図る活動 自分で守る・皆で守る・地域で守る取り組みの促進</p> <p>(2) 河川環境保全を図る活動</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 河川環境保全・再生の普及・啓発・学習・住民参加の促進</p> <p style="padding-left: 20px;">ロ 河川環境のモニタリング</p> <p style="padding-left: 20px;">ハ 水質改善のための啓発活動</p> <p>(3) 河川の適正な利用の推進を図る活動 河川環境の保全・再生の普及・啓発・学習</p> <p>(4) 節水意識の普及・啓発活動</p> <p>(5) 日常的な河川管理活動 河川管理についての理解・普及・啓発・学習・住民参加促進</p> <p>(6) 河川にかかわる歴史・文化の普及・啓発活動</p> <p>(7) 河川行政と地域・住民・住民団体のコーディネートを図る活動</p> <p>(8) 川づくり・まちづくりへの参画・支援活動</p> <p>(9) 木津川上流に関心を持ち愛護する人材を育成する活動</p>		

運営要領(案) 現行	運営要領(案) 改正案	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) 改正理由
<p>(10) 河川レンジャー活動に関するニュースの発行等の情報の発信</p> <p>2 河川レンジャーは、活動を通して前項に規定する活動のほか、河川レンジャーの人材発掘や河川レンジャーとしてふさわしい活動をレンジャー会議に提案することができるものとする。</p> <p>3 河川レンジャーは、河川レンジャーとしての活動中において、宗教活動、政治活動及び営利活動並びにこれら行為と紛らわしい行為を行ってはならない。</p>	<p>(10) 河川レンジャー活動に関するニュースの発行等の情報の発信</p> <p>2 河川レンジャーは、活動を通して前項に規定する活動のほか、河川レンジャーの人材発掘や河川レンジャーとしてふさわしい活動をレンジャー会議に提案することができるものとする。</p> <p>3 河川レンジャーは、河川レンジャーとしての活動中において、宗教活動、政治活動及び営利活動並びにこれら行為と紛らわしい行為を行ってはならない。</p>		
<p>(河川レンジャーの活動範囲及び活動拠点)</p> <p>第8条 河川レンジャーの活動範囲は、木津川上流域とする。</p> <p>2 河川レンジャーの活動拠点は、伊賀上野出張所構内にある上野遊水地集中管理センター資料室内に置く。</p>	<p>(河川レンジャーの活動範囲及び活動拠点)</p> <p>第8条 河川レンジャーの活動範囲は、木津川上流域とする。</p> <p>2 河川レンジャーの活動拠点は、伊賀上野出張所構内にある上野遊水地集中管理センター資料室内に置く。</p>	<p>第3条 河川レンジャーは、上野遊水地集中管理センター資料室の使用にあたり、使用申請書を事務局に提出しなければならない。</p>	
<p>(河川レンジャーの定員)</p> <p>第9条 河川レンジャーの定員は、若干名とする。</p>	<p>(河川レンジャーの定員)</p> <p>第9条 河川レンジャーの定員は、若干名とする。</p>		
<p>(河川レンジャーの任期)</p> <p>第10条 河川レンジャーの任期は、任命された日から</p>	<p>(河川レンジャーの任期)</p> <p>第10条 河川レンジャーの任期は、任命された日から</p>	<p>第4条 事務局は、任命された河川レンジャ</p>	

運営要領(案) 現行	運営要領(案) 改正案	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) 改正理由
<p>当該年度の3月31日までとする。ただし、再任は妨げない。</p> <p>2 再任期間は再任された日から当該年度の3月31日までとする。</p>	<p>当該年度の3月31日までとする。ただし、再任は妨げない。</p> <p>2 再任期間は再任された日から当該年度の3月31日までとする。</p>	<p>一に対し、委嘱状を発行する。</p>	
<p>(河川レンジャーの応募要件)</p> <p>第11条 河川レンジャー応募者は、次の各号に掲げる要件を満たしていなければならない。</p> <p>(1) 木津川上流域で活動できる満18歳以上の者であること。</p> <p>(2) 過去2年以内に、木津川上流発見講座(以下「発見講座」という。)の受講を修了している者又は河川レンジャー活動に2回以上参加している者であること。</p> <p>(3) 地域固有の情報や知識に興味や関心があること。</p> <p>(4) 有能な河川レンジャーになれるよう日々熱意を持ち、自己研鑽や研修を惜しまないこと。</p> <p>(5) 公共施設の不正使用等の法令に違反する行為を行っていないこと。</p> <p>(6) 心身ともに健全で河川レンジャーとして活動できること。</p>	<p>(河川レンジャーの応募要件)</p> <p>第11条 河川レンジャー応募者は、次の各号に掲げる要件を満たしていなければならない。</p> <p>(1) 木津川上流域で活動できる満18歳以上の者であること。</p> <p>(2) 過去2年以内に、木津川上流発見講座(以下「発見講座」という。)の受講を修了している者又は河川レンジャー活動に2回以上参加している者であること。</p> <p>(3) 地域固有の情報や知識に興味や関心があること。</p> <p>(4) 有能な河川レンジャーになれるよう日々熱意を持ち、自己研鑽や研修を惜しまないこと。</p> <p>(5) 公共施設の不正使用等の法令に違反する行為を行っていないこと。</p> <p>(6) 心身ともに健全で河川レンジャーとして活動できること。</p>	<p>第5条 事務局は、河川レンジャー応募者に対し、居住地、勤務地および在学地ならびに資格証明等に必要な書類の提出を求めることができるものとする。</p>	

運営要領(案) 現行	運営要領(案) 改正案	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) 改正理由
<p>(7) 本運営要領(案)を遵守できること。</p> <p>2 河川レンジャー応募者は、前項各号に規定する要件を満たしているほか、次の各号に掲げる知識、経験及び資格等を有していることが望ましい。</p> <p>(1) 解説、通訳、啓発に関する技術(インタープリテーション技術)</p> <p>(2) コーディネートに関する知識と技術</p> <p>(3) 緊急時対応に関する知識</p> <p>(4) 危険予知及び回避などの安全確保や、安全教育に関する知識</p> <p>(5) 環境保全やまちづくりなどの豊富な市民活動の経験</p> <p>(6) 地域のスポーツ活動指導や青少年育成などの豊富な経験</p> <p>(7) 郷土史への精通</p> <p>(8) 川や水に関する豊富な知識や実務経験</p> <p>(9) 川の指導者(初・中・上級)としての経験</p> <p>(10) 自然観察指導員の資格</p> <p>(11) 救急・救命法受講の経験</p>	<p>(7) 本運営要領(案)を遵守できること。</p> <p>2 河川レンジャー応募者は、前項各号に規定する要件を満たしているほか、次の各号に掲げる知識、経験及び資格等を有していることが望ましい。</p> <p>(1) 解説、通訳、啓発に関する技術(インタープリテーション技術)</p> <p>(2) コーディネートに関する知識と技術</p> <p>(3) 緊急時対応に関する知識</p> <p>(4) 危険予知及び回避などの安全確保や、安全教育に関する知識</p> <p>(5) 環境保全やまちづくりなどの豊富な市民活動の経験</p> <p>(6) 地域のスポーツ活動指導や青少年育成などの豊富な経験</p> <p>(7) 郷土史への精通</p> <p>(8) 川や水に関する豊富な知識や実務経験</p> <p>(9) 川の指導者(初・中・上級)としての経験</p> <p>(10) 自然観察指導員の資格</p> <p>(11) 救急・救命法受講の経験</p>		
<p>(河川レンジャー予定者の選考及び推薦)</p> <p>第 12 条 推薦委員会は、河川レンジャー応募者並びに再任を希望する河川レンジャー(以下、「再任希望者」という。)の中から河川レンジャーとしてふ</p>	<p>(河川レンジャー予定者の選考及び推薦)</p> <p>第 12 条 推薦委員会は、河川レンジャー応募者並びに再任を希望する河川レンジャー(以下、「再任希望者」という。)の中から河川レンジャーとしてふ</p>		

運営要領(案) 現行	運営要領(案) 改正案	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) 改正理由
<p>さわしい者(以下「河川レンジャー予定者」という。)を选考し、事務所に推薦する。</p> <p>2 河川レンジャー応募者は、推薦委員会において河川レンジャーとして行いたい活動の発表(プレゼンテーション)を行わなければならない。</p> <p>3 再任希望者は、推薦委員会において当該年度に実施した活動の報告等を行わなければならない。</p>	<p>さわしい者(以下「河川レンジャー予定者」という。)を选考し、事務所に推薦する。</p> <p>2 河川レンジャー応募者は、推薦委員会において河川レンジャーとして行いたい活動の発表(プレゼンテーション)を行わなければならない。</p> <p>3 再任希望者は、推薦委員会において当該年度に実施した活動の報告等を行わなければならない。</p>		
<p>(河川レンジャーの任命)</p> <p>第 13 条 事務所長は、前条第 1 項の推薦を受けたときは、河川レンジャー予定者を河川レンジャーとして任命できるものとする。</p>	<p>(河川レンジャーの任命)</p> <p>第 13 条 事務所長は、前条第 1 項の推薦を受けたときは、河川レンジャー予定者を河川レンジャーとして任命できるものとする。</p>		
<p>(河川レンジャーの解任及び辞任)</p> <p>第 14 条 推薦委員会は、河川レンジャーが次の各号に掲げる内容のいずれかに該当するときは、当該河川レンジャーを解任するための提案を事務所長に対して行うことができるものとする。</p> <p>(1) 活動の意志がないと認められるとき</p> <p>(2) 心身故障のため、活動の執行に堪えないと認</p>	<p>(河川レンジャーの解任及び辞任)</p> <p>第 14 条 推薦委員会は、河川レンジャーが次の各号に掲げる内容のいずれかに該当するときは、当該河川レンジャーを解任するための提案を事務所長に対して行うことができるものとする。</p> <p>(1) 活動の意志がないと認められるとき</p> <p>(2) 心身故障のため、活動の執行に堪えないと認</p>	<p>第 6 条 「活動の意志がない」とは、例えば「数ヶ月間、活動実績がない」等、運営要領(案)第 15 条第 2 項及び第 3 項に規定する年間活動計画に基づく活動の遂行が不可能と判断された場合とする。</p>	

運営要領(案) 現行	運営要領(案) 改正案	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) 改正理由
<p>められるとき</p> <p>(3) 公序良俗に反し、河川レンジャーとしてふさわしくない行為があると認められるとき</p> <p>(4) 活動中において宗教活動、政治活動、営利活動及びこれら行為と紛らわしい行為があると認められるとき</p> <p>(5) 公共施設の不正使用等の法令に違反する行為があると認められるとき</p> <p>(6) その他、本運営要領(案)に違反したと認められるとき</p> <p>2 事務所長は、前項の提案を受け、解任の理由が妥当であると認められるときは、河川レンジャーを解任する。</p> <p>3 推薦委員会は、河川レンジャーから辞任の申し出を受けたときは事務所長に報告し、事務所長は当該河川レンジャーの辞任を了承する。</p> <p>4 事務所長は、第2項の解任又は第3項の辞任の了承を行ったときは、懇談会及びレンジャー会議に報告する。</p> <p>5 推薦委員会は、第1項の提案を行うときは、事前に当該河川レンジャーに対して不服申し立てによる弁明の機会を与えなければならない。</p>	<p>められるとき</p> <p>(3) 公序良俗に反し、河川レンジャーとしてふさわしくない行為があると認められるとき</p> <p>(4) 活動中において宗教活動、政治活動、営利活動及びこれら行為と紛らわしい行為があると認められるとき</p> <p>(5) 公共施設の不正使用等の法令に違反する行為があると認められるとき</p> <p>(6) その他、本運営要領(案)に違反したと認められるとき</p> <p>2 事務所長は、前項の提案を受け、解任の理由が妥当であると認められるときは、河川レンジャーを解任する。</p> <p>3 推薦委員会は、河川レンジャーから辞任の申し出を受けたときは事務所長に報告し、事務所長は当該河川レンジャーの辞任を了承する。</p> <p>4 事務所長は、第2項の解任又は第3項の辞任の了承を行ったときは、懇談会及びレンジャー会議に報告する。</p> <p>5 推薦委員会は、第1項の提案を行うときは、事前に当該河川レンジャーに対して不服申し立てによる弁明の機会を与えなければならない。</p>		
(年間活動計画の作成・提出・決定)	(年間活動計画の作成・提出・決定)		

運営要領(案) 現行	運営要領(案) 改正案	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) 改正理由
<p>第 15 条 河川レンジャーは、年度ごとの年間活動計画(案)を作成し、活動前年度中にレンジャー会議に提出しなければならない。</p> <p>2 レンジャー会議は、前項の年間活動計画(案)の内容を審議し、河川レンジャーの活動としてふさわしいと認められるときは、当該案を年間活動計画として事務所に報告する。</p> <p>3 河川レンジャーは、前項の年間活動計画を変更できるものとする。ただし、変更が軽微な場合は事務局の承諾によるものとし、著しい変更の場合はレンジャー会議の承諾を得なければならない。</p>	<p>第 15 条 河川レンジャーは、年度ごとの年間活動計画(案)を作成し、活動前年度中にレンジャー会議に提出しなければならない。</p> <p>2 レンジャー会議は、前項の年間活動計画(案)の内容を審議し、河川レンジャーの活動としてふさわしいと認められるときは、当該案を年間活動計画として事務所に報告する。</p> <p>3 河川レンジャーは、前項の年間活動計画を変更できるものとする。ただし、変更が軽微な場合は事務局の承諾によるものとし、著しい変更の場合はレンジャー会議の承諾を得なければならない。</p>		
<p>(活動報告)</p> <p>第 16 条 河川レンジャーは、活動日誌を事務局に提出するとともに、活動の内容、経過及び結果等をレンジャー会議において報告しなければならない。</p>	<p>(活動報告)</p> <p>第 16 条 河川レンジャーは、活動日誌を事務局に提出するとともに、活動の内容、経過及び結果等をレンジャー会議において報告しなければならない。</p>	<p>第 7 条 活動日誌の種類は、活動日誌(計画)、活動日誌(報告)、活動日誌(レポート)とする。</p> <p>2 活動日誌(計画)は、運営要領(案)第 15 条第 2 項及び第 3 項に規定する年間活動計画に基づく活動の具体的な計画について、活動 2 週間前までに事務局へ提出し、承諾を得なければならない。</p> <p>3 活動日誌(報告)は、活動日誌(計画)に基づき実施された活動について、活動翌月 10 日までに事務局に提出し、承</p>	

運営要領(案) 現行	運営要領(案) <u>改正案</u>	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) <u>改正理由</u>
		<p>諾を得なければならない。</p> <p>4 活動日誌(レポート)は、河川に関する日常的な発見や異常等について記録し、事務局に提出するものとする。</p>	
<p>(河川レンジャーの報酬等)</p> <p>第 17 条 河川レンジャーの報酬は月払いとし、河川レンジャーとしてふさわしい活動内容に対して支給するものとする。</p> <p>2 河川レンジャーの報酬月額は、別に定める細則の規定によるものとする。ただし、活動内容に応じて報酬月額の増減を行う場合がある。</p> <p>3 交通費等は、細則の規定によるものとする。</p>	<p>(河川レンジャーの報酬等)</p> <p>第 17 条 河川レンジャーの報酬は月払いとし、河川レンジャーとしてふさわしい活動内容に対して支給するものとする。</p> <p>2 河川レンジャーの報酬月額は、別に定める細則の規定によるものとする。ただし、活動内容に応じて報酬月額の増減を行う場合がある。</p> <p>3 交通費等は、細則の規定によるものとする。</p>	<p>第 8 条 事務局は、細則第 7 条第 3 項に規定する活動日誌(報告)により、報酬の支給の可否を決定する。</p> <p>2 報酬は活動全体を包括して月払いとし、月遅れ支給とする。</p> <p>第 9 条 報酬月額は、河川レンジャーを国土交通省が定める「技師 C=行政職(-)4~5 級相当(係長相当)」と位置付け、「設計業務委託等技術者単価」を基に、月 4 日間 1 日 4 時間を基本とする。</p> <p>2 活動時間に 0.5 時間未満の端数を生じた場合は切り捨てるものとし、報酬月額は予算の制約上、適宜見直せるものとする。</p> <p>第 10 条 交通費等は、国土交通省「設計業務等標準積算基準書(参考資料)」に準ず</p>	

運営要領(案) 現行	運営要領(案) <u>改正案</u>	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) <u>改正理由</u>
<p>4 河川レンジャーとしての活動が月間中にない場合は、報酬を支給しない。</p> <p>5 河川レンジャーは、第11条に規定する応募要件に関して虚偽の申告が認められるとき又は第14条第1項第3号から第6号までに規定する解任事項が認められるときは、その行為のあった月まで遡り、報酬を全額返却しなければならない。</p>	<p>4 河川レンジャーとしての活動が月間中にない場合は、報酬を支給しない。</p> <p>5 河川レンジャーは、第11条に規定する応募要件に関して虚偽の申告が認められるとき又は第14条第1項第3号から第6号までに規定する解任事項が認められるときは、その行為のあった月まで遡り、報酬を全額返却しなければならない。</p>	<p>るものとする。</p> <p>2 積算上の基地は、伊賀もしくは名張市役所とし、木津川上流管内以外で行動する場合は、事前に事務局の承諾を得なければならない。ただし、上記によりがたい場合は、事務局と協議のうえ決定するものとする。</p>	
<p>(経費及び報酬等の支払い)</p> <p>第18条 第4条第1項に規定する経費、前条第2項に規定する報酬及び前条第3項に規定する交通費等は、事務局が河川レンジャーに支払うものとする。</p> <p>2 河川レンジャーは、前項の支払いに当たっては、事務局が指定する様式に必要な事項を記載し、事務局に請求しなければならない。</p>	<p>(経費及び報酬等の支払い)</p> <p>第18条 第4条第1項に規定する経費、前条第2項に規定する報酬及び前条第3項に規定する交通費等は、事務局が河川レンジャーに支払うものとする。</p> <p>2 河川レンジャーは、前項の支払いに当たっては、事務局が指定する様式に必要な事項を記載し、事務局に請求しなければならない。</p>	<p>第11条 事務局は、請求内容の妥当性を確認し、報酬及び交通費等を支払うものとする。</p>	
<p>(保険の加入)</p>	<p>(保険の加入)</p>		

運営要領(案) 現行	運営要領(案) 改正案	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) 改正理由
<p>第 19 条 河川レンジャーは、河川レンジャーとしての活動並びに第 15 条第 2 項及び第 3 項に規定する年間活動計画に基づく活動を行うに当たっては、事前に、本人及び当該活動参加者を対象とした傷害保険等に加入しなければならない。</p> <p>2 前項の傷害保険等への加入手続きは、事務局が行うものとする。</p>	<p>第 19 条 河川レンジャーは、河川レンジャーとしての活動並びに第 15 条第 2 項及び第 3 項に規定する年間活動計画に基づく活動を行うに当たっては、事前に、本人及び当該活動参加者を対象とした傷害保険等に加入しなければならない。</p> <p>2 前項の傷害保険等への加入手続きは、事務局が行うものとする。</p>		
<p>(事故の責任)</p> <p>第 20 条 河川レンジャーが、河川レンジャーとしての活動並びに第 15 条第 2 項及び第 3 項に規定する年間活動計画に基づく活動中に起こした第三者及び本人に対する事故の責任は、法律上適正な責任の範囲内で事務局が負うものとする。</p>	<p>(事故の責任)</p> <p>第 20 条 河川レンジャーが、河川レンジャーとしての活動並びに第 15 条第 2 項及び第 3 項に規定する年間活動計画に基づく活動中に起こした第三者及び本人に対する事故の責任は、法律上適正な責任の範囲内で事務局が負うものとする。</p>		
<p>(河川レンジャーへの支援)</p> <p>第 21 条 事務所長は、河川レンジャーの活動範囲や機会の拡大、活動に必要な物的及び人的支援、資質向上のための講習等の参加支援、民間交流の拡大、施設の利用等、河川レンジャーを支援する。</p>	<p>(河川レンジャーへの支援)</p> <p>第 21 条 事務所長は、河川レンジャーの活動範囲や機会の拡大、活動に必要な物的及び人的支援、資質向上のための講習等の参加支援、民間交流の拡大、施設の利用等、河川レンジャーを支援する。</p>		
<p>第 3 章 木津川上流管内河川レンジャー懇談会</p> <p>(懇談会の役割)</p> <p>第 22 条 懇談会は、レンジャー会議及び事務局からの報告及び提案を受けた事項に関する審議を行い、河川レンジャーのよりよい活動に向けて、その制</p>	<p>第 3 章 木津川上流管内河川レンジャー懇談会</p> <p>(懇談会の役割)</p> <p>第 22 条 懇談会は、レンジャー会議及び事務局からの報告及び提案を受けた事項に関する審議を行い、河川レンジャーのよりよい活動に向けて、その制</p>		

運営要領(案) 現行	運営要領(案) 改正案	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) 改正理由
<p>度、支援のための方策、河川レンジャーのあり方、役割及び運営計画等について提言を行うことを役割とする。</p>	<p>度、支援のための方策、河川レンジャーのあり方、役割及び運営計画等について提言を行うことを役割とする。</p>		
<p>(懇談会の構成)</p> <p>第 23 条 懇談会は、会員及びオブザーバーをもって構成する。</p> <p>2 会員は次の各号のとおりとする。</p> <p>(1) 学識経験者及び見識者 若干名</p> <p>(2) レンジャー会議座長</p> <p>(3) 三重県 伊賀建設事務所長</p> <p>(4) 独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所長</p> <p>(5) 伊賀市 <u>産業建設部長</u></p> <p>(6) 名張市 都市整備部長</p> <p>(7) 国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所長</p> <p>3 オブザーバーは次の各号のとおりとする。</p> <p>(1) 河川レンジャー</p> <p>(2) 国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所 管理課長</p> <p>(3) 国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所 伊賀上野出張所長</p> <p>(4) 国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河</p>	<p>(懇談会の構成)</p> <p>第 23 条 懇談会は、会員及びオブザーバーをもって構成する。</p> <p>2 会員は次の各号のとおりとする。</p> <p>(1) 学識経験者及び見識者 若干名</p> <p>(2) レンジャー会議座長</p> <p>(3) 三重県 伊賀建設事務所長</p> <p>(4) 独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所長</p> <p>(5) 伊賀市 <u>建設部長</u></p> <p>(6) 名張市 都市整備部長</p> <p>(7) 国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所長</p> <p>3 オブザーバーは次の各号のとおりとする。</p> <p>(1) 河川レンジャー</p> <p>(2) 国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所 管理課長</p> <p>(3) 国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所 伊賀上野出張所長</p> <p>(4) 国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河</p>		<p>組織変更に伴う改訂</p>

運営要領(案) 現行	運営要領(案) 改正案	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) 改正理由
川事務所 名張川出張所長	川事務所 名張川出張所長		
<p>(懇談会の組織)</p> <p>第 24 条 懇談会の会員の委嘱は、前条第 2 項各号の会員に対して、事務局が行うものとする。</p> <p>2 会員の任期は、委嘱された日から当該年度の 3 月 31 日までとする。ただし、再任は妨げない。</p> <p>3 補欠のため又は増員によって委嘱する会員の任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。</p> <p>4 懇談会に会務を総務する会長を置き、会員の互選によりこれを定める。</p> <p>5 懇談会に副会長を置き、会長の指名によりこれを定める。</p>	<p>(懇談会の組織)</p> <p>第 24 条 懇談会の会員の委嘱は、前条第 2 項各号の会員に対して、事務局が行うものとする。</p> <p>2 会員の任期は、委嘱された日から当該年度の 3 月 31 日までとする。ただし、再任は妨げない。</p> <p>3 補欠のため又は増員によって委嘱する会員の任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。</p> <p>4 懇談会に会務を総務する会長を置き、会員の互選によりこれを定める。</p> <p>5 懇談会に副会長を置き、会長の指名によりこれを定める。</p>	<p>第 12 条 事務局は、各会員に対し、委嘱状を発行する。</p>	
<p>(懇談会の運営)</p> <p>第 25 条 懇談会は、年 2 回以上必要に応じて開催する。</p> <p>2 懇談会は、会員総数の過半数の出席をもって成立し、出席会員の過半数をもって議決する。</p> <p>3 会長に事故があるときは、副会長がその職務を代行する。</p> <p>4 第 23 条第 2 項第 1 号を除く会員については、懇談会への代理出席を認めるものとする。</p> <p>5 会長は、必要があると認めるときは、懇談会に関係者の出席を求め、審議に参考となる説明又は意見</p>	<p>(懇談会の運営)</p> <p>第 25 条 懇談会は、必要に応じて開催する。</p> <p>2 懇談会は、会員総数の過半数の出席をもって成立し、出席会員の過半数をもって議決する。</p> <p>3 会長に事故があるときは、副会長がその職務を代行する。</p> <p>4 第 23 条第 2 項第 1 号を除く会員については、懇談会への代理出席を認めるものとする。</p> <p>5 会長は、必要があると認めるときは、懇談会に関係者の出席を求め、審議に参考となる説明又は意見</p>		<p>円滑な運営を図るための一部改正</p>

運営要領(案) 現行	運営要領(案) 改正案	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) 改正理由
を聴くことができるものとする。	を聴くことができるものとする。		
<p>(懇談会の情報公開)</p> <p>第26条 懇談会は、原則として、公開で行う。</p> <p>2 事務所長は、懇談会を開催するに当たっては、事前に木津川上流河川事務所のホームページ等に掲載の案内を掲示するものとし、懇談会の開催後には、先のホームページに議事要旨を掲載する。</p>	<p>(懇談会の情報公開)</p> <p>第26条 懇談会は、原則として、公開で行う。</p> <p>2 事務所長は、懇談会を開催するに当たっては、事前に木津川上流河川事務所のホームページ等に掲載の案内を掲示するものとし、懇談会の開催後には、先のホームページに議事要旨を掲載する。</p>		
<p>(懇談会の開催)</p> <p>第27条 懇談会の開催は、事務所長が招集する。</p> <p>2 事務局は、原則として、懇談会を開催する日の2週間前までに、各会員に対し、開催日時、開催場所及び議事内容を記載した懇談会開催の通知をしなければならない。</p> <p>3 事務局は、原則として、懇談会資料を懇談会の開催日までに、各会員に対し、送付しなければならない。</p>	<p>(懇談会の開催)</p> <p>第27条 懇談会の開催は、事務所長が招集する。</p> <p>2 事務局は、原則として、懇談会を開催する日の2週間前までに、各会員に対し、開催日時、開催場所及び議事内容を記載した懇談会開催の通知をしなければならない。</p> <p>3 事務局は、原則として、懇談会資料を懇談会の開催日までに、各会員に対し、送付しなければならない。</p>		
<p>第4章 木津川上流管内河川レンジャー会議</p> <p>(レンジャー会議の役割)</p> <p>第28条 レンジャー会議は、河川レンジャーを運営する機関として、地域の特性に応じた河川レンジャーのあり方の検討や、河川レンジャーの年間活動計画、運営計画並びに懇談会への報告事項について審議するほか、河川レンジャーに対して助言や</p>	<p>第4章 木津川上流管内河川レンジャー会議</p> <p>(レンジャー会議の役割)</p> <p>第28条 レンジャー会議は、河川レンジャーを運営する機関として、地域の特性に応じた河川レンジャーのあり方の検討や、河川レンジャーの年間活動計画、運営計画並びに懇談会への報告事項について審議するほか、河川レンジャーに対して助言や</p>		

運営要領(案) 現行	運営要領(案) 改正案	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) 改正理由
支援等を行うことを役割とする。	支援等を行うことを役割とする。		
<p>(レンジャー会議の構成)</p> <p>第 29 条 レンジャ－会議は、次の各号の委員をもって構成する。</p> <p>(1) 河川レンジャ－ 全員</p> <p>(2) 三重県 伊賀建設事務所 事業推進室 流域課長</p> <p>(3) 独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所 管理課長</p> <p>(4) 伊賀市 <u>産業建設部</u> 公共事業対策室長</p> <p>(5) 名張市 都市整備部 都市整備政策室長</p> <p>(6) 国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所 管理課長</p> <p>(7) 国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所 伊賀上野出張所長</p> <p>(8) 国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所 名張川出張所長</p> <p>(9) その他必要に応じて 若干名</p>	<p>(レンジャ－会議の構成)</p> <p>第 29 条 レンジャ－会議は、次の各号の委員をもって構成する。</p> <p>(1) 河川レンジャ－ 全員</p> <p>(2) 三重県 伊賀建設事務所 事業推進室 流域課長</p> <p>(3) 独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所 管理課長</p> <p>(4) 伊賀市 <u>建設部</u> 公共事業対策室長</p> <p>(5) 名張市 都市整備部 都市整備政策室長</p> <p>(6) 国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所 管理課長</p> <p>(7) 国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所 伊賀上野出張所長</p> <p>(8) 国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所 名張川出張所長</p> <p>(9) その他必要に応じて 若干名</p>		<p>組織変更に伴う改訂</p>
<p>(レンジャ－会議の組織)</p> <p>第 30 条 レンジャ－会議の委員の委嘱は、前条第 1 項各号の委員に対して、事務局が行うものとする。</p> <p>2 委員の任期は、委嘱された日から当該年度の 3 月 31 日までとする。ただし、再任は妨げない。</p>	<p>(レンジャ－会議の組織)</p> <p>第 30 条 レンジャ－会議の委員の委嘱は、前条第 1 項各号の委員に対して、事務局が行うものとする。</p> <p>2 委員の任期は、委嘱された日から当該年度の 3 月 31 日までとする。ただし、再任は妨げない。</p>	<p>第 13 条 事務局は、各委員に対し、委嘱状を発行する。</p>	

運営要領(案) 現行	運営要領(案) 改正案	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) 改正理由
<p>3 補欠のため又は増員によって委嘱する委員の任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。</p> <p>4 レンジャー会議に会務を総務する議長を置き、委員の互選によりこれを定める。</p> <p>5 レンジャー会議の議事進行のため、河川レンジャーの中から座長を選任できるものとし、委員の互選によりこれを定める。</p>	<p>3 補欠のため又は増員によって委嘱する委員の任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。</p> <p>4 レンジャー会議に会務を総務する議長を置き、委員の互選によりこれを定める。</p> <p>5 レンジャー会議の議事進行のため、河川レンジャーの中から座長を選任できるものとし、委員の互選によりこれを定める。</p>		
<p>(レンジャー会議の運営)</p> <p>第 31 条 レンジャー会議は、<u>年 2 回以上</u>必要に応じて開催する。</p> <p>2 レンジャー会議は、委員総数の過半数の出席をもって成立し、出席委員の過半数をもって議決する。</p> <p>3 議長に事故があるときは、議長があらかじめ指名する者がその職務を代行する。</p> <p>4 第 29 条第 1 項第 1 号及び第 9 号を除く委員については、レンジャー会議への代理出席を認めるものとする。</p> <p>5 座長は、懇談会に出席するものとする。ただし、出席が困難なときは、座長があらかじめ指名する河川レンジャーが代理出席するものとする。</p> <p>6 議長並びに座長は、推薦委員会及び第 37 条第 5 項に規定する推薦委員会が設置する意見を聴取す</p>	<p>(レンジャー会議の運営)</p> <p>第 31 条 レンジャー会議は、必要に応じて開催する。</p> <p>2 レンジャー会議は、委員総数の過半数の出席をもって成立し、出席委員の過半数をもって議決する。</p> <p>3 議長に事故があるときは、議長があらかじめ指名する者がその職務を代行する。</p> <p>4 第 29 条第 1 項第 1 号及び第 9 号を除く委員については、レンジャー会議への代理出席を認めるものとする。</p> <p>5 座長は、懇談会に出席するものとする。ただし、出席が困難なときは、座長があらかじめ指名する河川レンジャーが代理出席するものとする。</p> <p>6 議長並びに座長は、推薦委員会及び第 37 条第 5 項に規定する推薦委員会が設置する意見を聴取す</p>		<p>円滑な運営を図るための一部改正</p>

運営要領(案) 現行	運営要領(案) 改正案	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) 改正理由
<p>る場に出席するものとする。ただし、出席が困難なときは、議長並びに座長があらかじめ指名する委員が代理出席するものとする。</p>	<p>る場に出席するものとする。ただし、出席が困難なときは、議長並びに座長があらかじめ指名する委員が代理出席するものとする。</p>		
<p>(レンジャー会議の情報公開)</p> <p>第32条 レンジャーマ会議は、原則として、公開で行う。</p> <p>2 事務所長は、レンジャーマ会議を開催するに当たっては、事前に木津川上流河川事務所のホームページ等で開催の案内を掲示するものとし、レンジャーマ会議の開催後には、先のホームページに議事要旨を掲載する。</p>	<p>(レンジャーマ会議の情報公開)</p> <p>第32条 レンジャーマ会議は、原則として、公開で行う。</p> <p>2 事務所長は、レンジャーマ会議を開催するに当たっては、事前に木津川上流河川事務所のホームページ等で開催の案内を掲示するものとし、レンジャーマ会議の開催後には、先のホームページに議事要旨を掲載する。</p>		
<p>(レンジャーマ会議の開催)</p> <p>第33条 レンジャーマ会議の開催は、議長が招集する。</p> <p>2 事務局は、原則として、レンジャーマ会議を開催する日の2週間前までに、各委員に対し、開催日時、開催場所及び議事内容を記載したレンジャーマ会議開催の通知をしなければならない。</p> <p>3 事務局は、原則として、レンジャーマ会議資料を懇談会の開催日までに、各委員に対し、送付しなければならない。</p>	<p>(レンジャーマ会議の開催)</p> <p>第33条 レンジャーマ会議の開催は、議長が招集する。</p> <p>2 事務局は、原則として、レンジャーマ会議を開催する日の2週間前までに、各委員に対し、開催日時、開催場所及び議事内容を記載したレンジャーマ会議開催の通知をしなければならない。</p> <p>3 事務局は、原則として、レンジャーマ会議資料を懇談会の開催日までに、各委員に対し、送付しなければならない。</p>		
<p>第5章 木津川上流管内河川レンジャーマ推薦委員会 (推薦委員会の役割)</p> <p>第34条 推薦委員会は、第12条に規定する河川レンジャーマ予定者の選考及び推薦、第14条第1項に規</p>	<p>第5章 木津川上流管内河川レンジャーマ推薦委員会 (推薦委員会の役割)</p> <p>第34条 推薦委員会は、第12条に規定する河川レンジャーマ予定者の選考及び推薦、第14条第1項に規</p>		

運営要領(案) 現行	運営要領(案) <u>改正案</u>	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) <u>改正理由</u>
<p>定する河川レンジャーの解任に関する提案並びに第 14 条第 3 項に規定する河川レンジャーの辞任に関する報告を行うことを役割とする。</p> <p>2 河川レンジャー予定者の選考に当たっては、別に定める「木津川上流管内河川レンジャー審査要領(案)」(以下、「審査要領(案)」という。)に基づき、公平中立な立場で審査を行う。</p>	<p>定する河川レンジャーの解任に関する提案並びに第 14 条第 3 項に規定する河川レンジャーの辞任に関する報告を行うことを役割とする。</p> <p>2 河川レンジャー予定者の選考に当たっては、別に定める「木津川上流管内河川レンジャー審査要領(案)」(以下、「審査要領(案)」という。)に基づき、公平中立な立場で審査を行う。</p>		
<p>(推薦委員会の構成)</p> <p>第 35 条 推薦委員会は、委員及びオブザーバーをもって構成する。</p> <p>2 委員は次の各号のとおりとする。</p> <p>(1) 学識経験者及び見識者 若干名</p> <p>(2) 三重県 伊賀建設事務所 副所長</p> <p>(3) 独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所 副所長</p> <p>3 オブザーバーは次の各号のとおりとする。</p> <p>(1) 伊賀市 <u>産業建設部</u> 公共事業対策室長</p> <p>(2) 名張市 都市整備部 都市整備政策室長</p> <p>(3) 国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所長</p> <p>(4) レンジャー会議議長</p> <p><u>(5) レンジャー会議座長</u></p>	<p>(推薦委員会の構成)</p> <p>第 35 条 推薦委員会は、委員及びオブザーバーをもって構成する。</p> <p>2 委員は次の各号のとおりとする。</p> <p>(1) 学識経験者及び見識者 若干名</p> <p>(2) 三重県 伊賀建設事務所 副所長</p> <p>(3) 独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所 副所長</p> <p>3 オブザーバーは次の各号のとおりとする。</p> <p>(1) 伊賀市 <u>建設部</u> 公共事業対策室長</p> <p>(2) 名張市 都市整備部 都市整備政策室長</p> <p>(3) 国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所長</p> <p>(4) レンジャー会議議長</p> <p><u>(5) (削除)</u></p>		<p>組織変更に伴う改訂</p> <p>円滑な運営を図るための一部改正</p>
<p>(推薦委員会の組織)</p>	<p>(推薦委員会の組織)</p>		

運営要領(案) 現行	運営要領(案) 改正案	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) 改正理由
<p>第 36 条 推薦委員会の委員の委嘱は、前条第 2 項各号の委員に対して、事務局が行うものとする。</p> <p>2 委員の任期は、委嘱された日から当該年度の 3 月 31 日までとする。ただし、再任は妨げない。</p> <p>3 補欠のため又は増員によって委嘱する委員の任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。</p> <p>4 推薦委員会に会務を総務する委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。</p> <p>5 推薦委員会に副委員長を置き、委員長の指名によりこれを定める。</p>	<p>第 36 条 推薦委員会の委員の委嘱は、前条第 2 項各号の委員に対して、事務局が行うものとする。</p> <p>2 委員の任期は、委嘱された日から当該年度の 3 月 31 日までとする。ただし、再任は妨げない。</p> <p>3 補欠のため又は増員によって委嘱する委員の任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。</p> <p>4 推薦委員会に会務を総務する委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。</p> <p>5 推薦委員会に副委員長を置き、委員長の指名によりこれを定める。</p>	<p>第 14 条 事務局は、各委員に対し、委嘱状を発行する。</p>	
<p>(推薦委員会の運営)</p> <p>第 37 条 推薦委員会は、<u>原則として、年 1 回の開催</u>とする。</p> <p>2 推薦委員会は、委員総数の過半数の出席をもって成立し、出席委員の過半数をもって議決する。</p> <p>3 委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代行する。</p> <p>4 第 35 条第 2 項第 1 号を除く委員については、推薦委員会への代理出席を認めるものとする。</p> <p>5 推薦委員会は、審査のために参考となる意見を聴取する場を設置することができるものとする。</p>	<p>(推薦委員会の運営)</p> <p>第 37 条 推薦委員会は、<u>必要に応じて</u>開催する。</p> <p>2 推薦委員会は、委員総数の過半数の出席をもって成立し、出席委員の過半数をもって議決する。</p> <p>3 委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代行する。</p> <p>4 第 35 条第 2 項第 1 号を除く委員については、推薦委員会への代理出席を認めるものとする。</p> <p>5 推薦委員会は、審査のために参考となる意見を聴取する場を設置することができるものとする。</p>		<p>円滑な運営を図るための一部改正</p>
<p>(推薦委員会の情報公開及び守秘義務)</p>	<p>(推薦委員会の情報公開及び守秘義務)</p>		

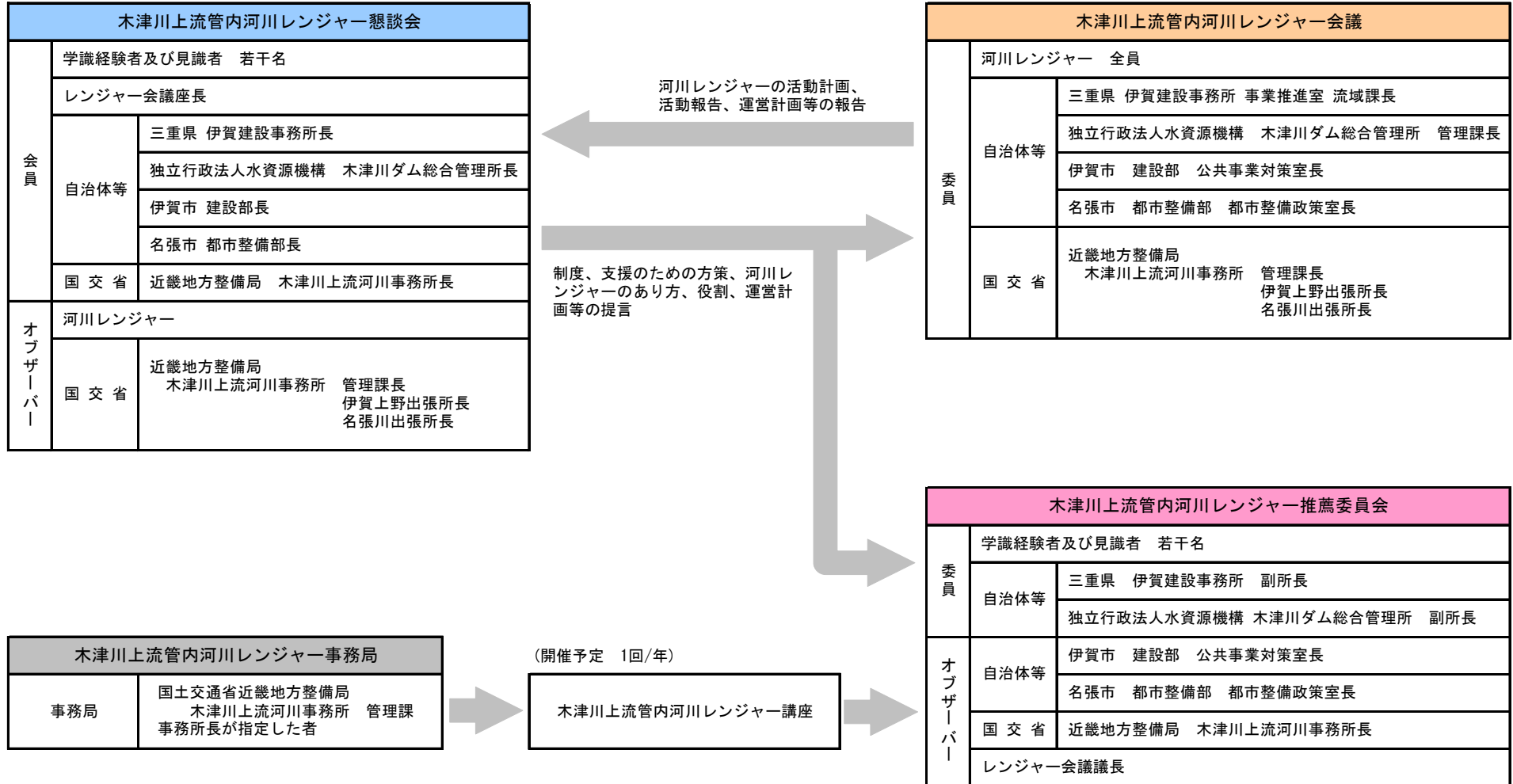
運営要領(案) 現行	運営要領(案) 改正案	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) 改正理由
<p>第 38 条 推薦委員会は、非公開で行う。ただし、審査要領(案)に基づき、河川レンジャー応募者並びに再任希望者のプライバシーを害する恐れのある情報を除き、審査結果の要旨を木津川上流河川事務所ホームページ等で公開する。</p> <p>2 推薦委員会は、河川レンジャー応募者並びに再任希望者に対し、審査結果を文書で通知する。</p> <p>3 委員、オブザーバー及び事務局は、推薦委員会に関する情報について、守秘義務を負うものとする。</p> <p>4 前条第 5 項に規定する意見を聴取する場の公開は、推薦委員会において決定する。</p>	<p>第 38 条 推薦委員会は、非公開で行う。ただし、審査要領(案)に基づき、河川レンジャー応募者並びに再任希望者のプライバシーを害する恐れのある情報を除き、審査結果の要旨を木津川上流河川事務所ホームページ等で公開する。</p> <p>2 推薦委員会は、河川レンジャー応募者並びに再任希望者に対し、審査結果を文書で通知する。</p> <p>3 委員、オブザーバー及び事務局は、推薦委員会に関する情報について、守秘義務を負うものとする。</p> <p>4 前条第 5 項に規定する意見を聴取する場の公開は、推薦委員会において決定する。</p>		
<p>(推薦委員会にかかわる情報開示)</p> <p>第 39 条 推薦委員会の河川レンジャー予定者の選考に関する情報の開示を請求されたときは、「国土交通省所管分野における個人情報保護に関するガイドライン」に基づき、近畿地方整備局木津川上流河川事務所より開示する。</p>	<p>(推薦委員会にかかわる情報開示)</p> <p>第 39 条 推薦委員会の河川レンジャー予定者の選考に関する情報の開示を請求されたときは、「国土交通省所管分野における個人情報保護に関するガイドライン」に基づき、近畿地方整備局木津川上流河川事務所より開示する。</p>		
<p>(推薦委員会の開催)</p> <p>第 40 条 推薦委員会の開催は、委員長が招集する。</p> <p>2 事務局は、原則として、推薦委員会を開催する日の 2 週間前までに、各委員に対し、開催日時及び開催場所を通知しなければならない。</p>	<p>(推薦委員会の開催)</p> <p>第 40 条 推薦委員会の開催は、委員長が招集する。</p> <p>2 事務局は、原則として、推薦委員会を開催する日の 2 週間前までに、各委員に対し、開催日時及び開催場所を通知しなければならない。</p>		

運営要領(案) 現行	運営要領(案) 改正案	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) 改正理由
<p>第6章 木津川上流管内河川レンジャー講座 (講座の構成)</p> <p>第41条 講座は、発見講座及び河川レンジャー養成講座(以下、「養成講座」という。)で構成する。</p> <p>2 発見講座は、木津川上流と河川レンジャーに関する基礎的知識及び共通認識を得るための講座とする。</p> <p>3 養成講座は、木津川上流に関する高度な知識及び河川レンジャーの活動技術を得るための講座とする。</p>	<p>第6章 木津川上流管内河川レンジャー講座 (講座の構成)</p> <p>第41条 講座は、発見講座及び河川レンジャー養成講座(以下、「養成講座」という。)で構成する。</p> <p>2 発見講座は、木津川上流と河川レンジャーに関する基礎的知識及び共通認識を得るための講座とする。</p> <p>3 養成講座は、木津川上流に関する高度な知識及び河川レンジャーの活動技術を得るための講座とする。</p>		
<p>(講座の受講要件)</p> <p>第42条 発見講座の受講者は、満18歳以上の者であつて、講座開催の公募により受講を受け付けた者又は地元行政機関、自治会及び河川管理者からの紹介を受けた者とする。</p> <p>2 養成講座の受講者は、第13条により河川レンジャーとして任命された者とする。ただし、再任者は除く。</p>	<p>(講座の受講要件)</p> <p>第42条 発見講座の受講者は、満18歳以上の者であつて、講座開催の公募により受講を受け付けた者又は地元行政機関、自治会及び河川管理者からの紹介を受けた者とする。</p> <p>2 養成講座の受講者は、第13条により河川レンジャーとして任命された者とする。ただし、再任者は除く。</p>		
<p>(講座の運営)</p> <p>第43条 講座は、原則として、年1回の開催とする。ただし、受講希望者数等により回数を増減できるものとする。</p> <p>2 講座の講師は、講義内容及び実習内容に応じて事</p>	<p>(講座の運営)</p> <p>第43条 講座は、原則として、年1回の開催とする。ただし、受講希望者数等により回数を増減できるものとする。</p> <p>2 講座の講師は、講義内容及び実習内容に応じて事</p>		

運営要領(案) 現行	運営要領(案) 改正案	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) 改正理由
務局が選任するものとする。	務局が選任するものとする。		
<p>(講座の開催)</p> <p>第 44 条 講座は、事務局が開催するものとする。</p> <p>2 事務局は、講座の開催に当たっては、開催日時、開催場所及び講座内容の広報を行わなければならない。</p>	<p>(講座の開催)</p> <p>第 44 条 講座は、事務局が開催するものとする。</p> <p>2 事務局は、講座の開催に当たっては、開催日時、開催場所及び講座内容の広報を行わなければならない。</p>		
<p>第 7 章 雑則</p> <p>(細則)</p> <p>第 45 条 事務所長は、本要領(案)に基づき、次の各号に掲げる細則等を定めることができるものとする。</p> <p>(1) 木津川上流管内河川レンジャー運営要領(案)細則</p> <p>(2) 木津川上流管内河川レンジャー審査要領(案)</p>	<p>第 7 章 雑則</p> <p>(細則)</p> <p>第 45 条 事務所長は、本要領(案)に基づき、次の各号に掲げる細則等を定めることができるものとする。</p> <p>(1) 木津川上流管内河川レンジャー運営要領(案)細則</p> <p>(2) 木津川上流管内河川レンジャー審査要領(案)</p>		
<p>(運営要領(案)の改正)</p> <p>第 46 条 本運営要領(案)を改正するときは、懇談会からの提案を受けて事務所長が行う。</p>	<p>(運営要領(案)の改正)</p> <p>第 46 条 本運営要領(案)を改正するときは、懇談会からの提案を受けて事務所長が行う。</p>	<p>(細則(案)の改正)</p> <p>第 15 条 この細則(案)を改正するときは、事務局が行う。</p> <p>(用語の意義)</p> <p>第 16 条 この運営要領(案)において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。</p>	

運営要領(案) 現行	運営要領(案) <u>改正案</u>	細則(案) 現行	運営要領(案)及び細則(案) <u>改正理由</u>
		(1)公共施設 国、県、市の管理する施設をいう。 (2)川の指導者(初・中・上級) 「特定非営利活動法人川に学ぶ体験活動協議会で認定された者」等をいう。 (3)川づくり 例えば「本来の河川環境を活かす川づくり」等をいう。 (4)まちづくり 例えば「地域で育てて地域を育てる活動」等をいう。	
附則 1. 本運営要領(案)は、平成 20 年 3 月 4 日から施行する。 改正 平成 20 年 9 月 5 日 平成 21 年 7 月 8 日 平成 23 年 2 月 28 日 平成 23 年 8 月 22 日	附則 1. 本運営要領(案)は、平成 20 年 3 月 4 日から施行する。 改正 平成 20 年 9 月 5 日 平成 21 年 7 月 8 日 平成 23 年 2 月 28 日 平成 23 年 8 月 22 日 <u>平成 24 年 6 月 ●日</u>	附則 1. この細則(案)は、平成 21 年 7 月 17 日から施行する。 改正 平成 23 年 2 月 28 日 平成 23 年 8 月 22 日	

木津川上流管内河川レンジャー機構図



審査要領(案)の改正について

[次第に戻る](#)

木津川上流管内河川レンジャー

審査要領(案)

木津川上流管内河川レンジャー懇談会

目 次

1. 趣旨	1
2. 審査方法	1
3. 審査結果の公表.....	3
4. その他	3
5. 附則	3
補足	

1. 趣旨

本要領は「木津川上流管内河川レンジャー運営要領(案)」(以下、「運営要領(案)」という。)に基づき、河川レンジャー予定者の選考について必要な事項を定めるものとする。

2. 審査方法

審査は、河川レンジャー応募者並びに再任を希望する河川レンジャー(以下、「再任希望者」という。)に対して、以下の方法により事務局と推薦委員会が行うものとする。

なお、推薦委員会は委員及びオブザーバーで構成し、河川レンジャー予定者の採択決定は委員により行う。

(1)河川レンジャー応募者の審査

1)予備審査

- ①予備審査は、応募書類の審査とし、事務局が行う。
- ②事務局は、河川レンジャー応募者から提出された応募書類について、運営要領(案)に基づく応募要件の充足を確認し、その有資格・欠格結果を推薦委員会に報告する。

2)本審査

- ①本審査は、予備審査を終えた河川レンジャー応募者による「河川レンジャーとして行いたい活動の発表(プレゼンテーション)」の内容審査とし、推薦委員会が行う。
なお、河川レンジャー応募者は、本審査までに河川レンジャーとして行いたい活動を記載した「活動企画書」を推薦委員会に提出しなければならない。
- ②プレゼンテーションの実施手順は、はじめに河川レンジャー応募者により河川レンジャーとして行いたい活動の発表を行い、その後推薦委員会委員及びオブザーバーによる質疑を行う。発表時間は一人10分、質疑応答時間は5分とし、発表(表現)方法は河川レンジャー応募者の自由とする。
ただし、事務局は、河川レンジャー応募者数等により1人あたりの発表時間を変更できるものとする。
- ③委員及びオブザーバーは、プレゼンテーション及び活動企画書等の内容について以下の審査項目に基づき審査を行い、採点する。

審査項目
(Ⅰ)河川レンジャーに対する考えと意欲
(Ⅱ)河川と地域との良好な関係を構築する意欲
(Ⅲ)周囲との調和や良好な関係を構築する能力
(Ⅳ)河川レンジャーとして行いたい活動内容の地域での必要性

- ④採点は、以下の5段階評価(優れている度合い)により行い、委員及びオブザーバーは採点結果を「プレゼンテーション採点表」に記録する。
なお、オブザーバーの採点結果は、委員による総合評価時の参考資料として取り扱うものとする。

評価点	5	4	3	2	1
評価	優れている	やや優れている	普通	やや劣る	劣る

⑤事務局は、各委員の「プレゼンテーション採点表」に基づき、河川レンジャー応募者の「最終評価点」を算出する。

3)採択

委員は、採点結果を基に総合評価を行い、原則として最終評価点が12.00点以上の者の中から上位〇〇名を河川レンジャー予定者として事務所に推薦する。

(2)再任希望者の審査

1)審査

- ①審査は、再任希望者による当該年度に実施した活動報告等の内容審査とし、推薦委員会が行う。
- ②活動報告の実施手順は、はじめに再任希望者により当該年度に実施した活動の報告等を行い、その後推薦委員会委員及びオブザーバーによる質疑を行う。
発表(報告)時間は一人10分、質疑応答時間は5分とし、報告(表現)方法は再任希望者の自由とする。
ただし、事務局は、再任希望者数等により1人あたりの報告時間を変更できるものとする。
- ③委員及びオブザーバーは、活動報告等の内容について以下の評価項目に基づき審査を行い、採点する。

評価項目
(Ⅰ)河川レンジャーを継続する意欲が見られるか。
(Ⅱ)実施した河川レンジャー活動は、自身等の趣味や利益を目的とせず、地域住民の河川へのかかわりを活発にする活動となっているか。
(Ⅲ)実施した河川レンジャー活動は、河川および地域の課題に対する具体的な解決策となっているか。
(Ⅳ)実施した河川レンジャー活動に対して適切な自己評価が行われ、改善策が提案されているか。

- ④採点は、以下の5段階評価(優れている度合い)により行い、委員及びオブザーバーは採点結果を「活動報告採点表」に記録する。
なお、オブザーバーの採点結果は、委員による総合評価時の参考資料として取り扱うものとする。

評価点	5	4	3	2	1
評価	優れている	やや優れている	普通	やや劣る	劣る

- ⑤事務局は、各委員の「活動報告採点表」に基づき、再任希望者の「最終評価点」を算出する。

2)採択

委員は、採点結果を基に総合評価を行い、原則として最終評価点が12.00点以上の者の中から再任希望者を河川レンジャー予定者として事務所に推薦する。

3. 審査結果の公表

推薦委員会における審査結果は、河川レンジャーの任命後(任命者がいない場合は推薦委員会での審査後)に、以下の内容を木津川上流河川事務所ホームページで公表する。

- (1)「河川レンジャー応募者」数
- (2)「河川レンジャー予定者」数
- (3)「河川レンジャー任命者」氏名

個々の河川レンジャー応募者には、推薦委員会が文書で通知を行う。

なお、河川レンジャー予定者の選考に関する情報の開示を請求されたときは、「国土交通省所管分野における個人情報保護に関するガイドライン」に基づき近畿地方整備局木津川上流河川事務所より開示する。

4. その他

本要領を改正するときは、懇談会からの提案を受けて事務所長が行う。

5. 附則

本要領は、平成 23 年 8 月 22 日から施行する。

改正 平成 24 年 6 月●日

平成24年度募集要領について

[次第に戻る](#)

木津川上流管内河川レンジャーの募集

『河川レンジャー』になって川で活動していただける方を支援します！！

1. 活動内容	<p>●河川レンジャーは、住民の方々が河川に関心を持つような活動を行うことを役割としており、主な活動内容は以下のとおりです。</p> <p>◆主な活動内容(事例) 『水防・防災学習』『野鳥観察会』『歴史・食文化学習』『川下り・カヌー体験』 『ダム見学会』『水生生物調査』『源流探検』『特定外来生物調査』『情報交換会』 等</p> <p>※現在は、三重県伊賀市・名張市内を中心として活動しています。</p> <p>◆活動範囲 木津川上流域</p> <p>※活動の実施にあたっては、ご自身で活動内容を計画していただき、内容審査による承認を受けて実施していただきます。</p>
2. 活動期間	平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで
3. 支援の内容	●実施した活動に対して、日当、交通費、備品購入費等、活動経費の一部を支援します。
4. 応募資格	<p>●河川レンジャーとして木津川上流域で活動していただける満 18 歳以上の方(H24. 4. 1 現在)で、</p> <ul style="list-style-type: none">・平成22年度以降に、木津川上流発見講座の受講を修了している方(今年度受講予定者含む)または、木津川上流管内河川レンジャーの活動に2回以上参加している方(今年度参加予定者含む)・地域固有の情報や知識に興味や関心がある方・有能な河川レンジャーになれるよう日々熱意を持ち、自己研鑽や研修を惜しまない方・公共施設の不正使用等の法令に違反する行為を行っていない方・心身ともに健全で河川レンジャーとして活動できる方・木津川上流管内河川レンジャー運営要領(案)を遵守できる方
5. 募集人数	●若干名
6. 選考方法	<p>●後日開催される推薦委員会において、河川レンジャーとして行いたい活動を発表(プレゼンテーション)していただき、委員会による審査により選考します。</p> <p>※プレゼンテーションは平成25年2月上旬に開催を予定しております。 ※開催日程等の詳細は、応募された方に後日ご案内いたします。</p>
7. 応募方法	●「木津川上流管内河川レンジャー応募書」に必要事項をご記入の上、事務局まで郵送またはFAXにて応募して下さい。
8. 応募締切日	●平成 25 年 1 月 10 日(木)まで
9. 選考結果の通知	●選考結果は、本人にお知らせします。(平成 25 年 2 月上旬予定)

<p>10. 応募先、 お問合せ先</p>	<p>●木津川上流管内河川レンジャー事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務担当 社団法人近畿建設協会名張支所内 〒518-0713 名張市平尾 2980-26 名張不動産ビル3階 TEL 0595-62-0476 (平日 AM10:00~PM5:00) FAX 0595-62-0477 ・国土交通省木津川上流河川事務所管理課 TEL 0595-63-1611(代表) <p>※土日祝日の電話・窓口対応は行っておりません。ご了承下さい。</p>
<p>11. その他</p>	<p>●推薦委員会による選考の結果、河川レンジャーに任命された方は、以下の「河川レンジャー養成講座」を受講していただきます。</p> <p>【平成24年度 河川レンジャー養成講座】</p> <p>[開催日時] 平成25年3月上旬開催予定 10:00~17:00</p> <p>[開催場所] 伊賀市小田町242 上野遊水地集中管理センター (国土交通省木津川上流河川事務所伊賀上野出張所構内)</p> <p>※開催日程等の詳細は、河川レンジャーに任命された方に後日ご案内いたします。</p>
<p>12. 主催</p>	<p>●国土交通省木津川上流河川事務所</p>

木津川上流管内河川レンジャー応募書

★氏名・年齢・性別・ご職業					
ふりがな		年齢	満 _____ 才 (H24. 4. 1 現在)	性別	男 ・ 女
氏 名	印				
ご職業	会社員 ・ 自営業 ・ 学生 ・ その他()				
★住所・連絡先等					
住 所	〒 _____				
住 所	TEL : (_____) _____ (自宅 ・ 携帯)				
連絡先	FAX : (_____) _____ (自宅)				
	E-mail: _____ @ _____ (自宅 ・ 携帯)				
★講座の受講経歴等					
①木津川上流発見講座の受講経歴	平成 22 年度以降に「木津川上流発見講座」の受講を修了している方は、該当する年度にチェックを入れてください。 <input type="checkbox"/> 平成 22 年度 <input type="checkbox"/> 平成 23 年度 <input type="checkbox"/> 平成 24 年度(受講予定)				
②河川レンジャー活動参加状況	平成 22 年度以降に「木津川上流管内河川レンジャー活動」に参加された方は、活動名にチェックを入れてください。 (平成 22 年度活動) <input type="checkbox"/> 川下り・カヌー体験 <input type="checkbox"/> 名張川ウォーキングとピオトープづくり <input type="checkbox"/> 名張川ホテルの再生と食文化学習 <input type="checkbox"/> 木津川野鳥観察会と歴史・文化学習 <input type="checkbox"/> 木津川『いい川』づくり交流会議 (平成 23 年度活動) <input type="checkbox"/> 名張川ホテル再生に向けて「ほたる鑑賞会」 <input type="checkbox"/> 名張川ウォーキング・バードウォッチング & ピオトープ生物確認 <input type="checkbox"/> 岩倉峡散策と歴史文化学習 <input type="checkbox"/> 上野遊水地見学と食文化学習 <input type="checkbox"/> 河川レンジャー活動写真展と川遊び学習会 <input type="checkbox"/> 久米川(木津川)クリーンウォーキング (平成 24 年度活動) <input type="checkbox"/> 名張川ホテル再生に向けて「ほたる鑑賞会」 <input type="checkbox"/> 川下り・カヌー体験 <input type="checkbox"/> 名張川自然観察ウォーキング <input type="checkbox"/> 遊んで学ぼう!水のはたらき～ペットボトルで水の力について実験してみよう～ <input type="checkbox"/> 木津川源流探検とシャワークライミング体験 <input type="checkbox"/> 平成 24 年度活動参加予定				

裏面もご記入下さい。

★応募理由等

(河川レンジャーに応募した理由や、川にかかわる活動を行ったことがある場合はその活動内容や団体名等をご記入下さい。)

★河川レンジャー応募書 送付先

木津川上流管内河川レンジャー事務局

・事務担当 社団法人近畿建設協会名張支所内

(住所) 〒518-0713 名張市平尾 2980-26 名張不動産ビル 3階

(TEL) 0595-62-0476 (AM10:00~PM5:00) (FAX) 0595-62-0477

※ご記入いただいた個人情報は、木津川上流管内河川レンジャーの運営以外の目的には使用致しません。